

## 2010年業績目録

(2010年1月~2010年12月)

## 松本歯科大学

## 生物学

## 論文発表

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (2010) Possibility of odontoblasts activity up-regulation due to orthodontic mechanical stress in mice. *J Hard Tissue Biol* **19**: 13-6.

Nakano K, Siar CH, Tomida M, Matsuura S, Tsujigiwa H, Nagatsuka H and Kawakami T (2010) Immunohistochemical observation of Notch signaling in a case of calcifying cystic odontogenic tumor. *J Hard Tissue Biol* **19**: 147-52.

## 学会発表

日本解剖学会学術集会(第115回)2010年3月

ラット有郭乳頭の形態形成過程での舌粘膜における type III コラーゲンの分布: 岩崎信一, 吉澤英樹, 青柳秀一 (*Acta Anatomica Nipponica* **85** Suppl: 180, 2010)

形態形成過程のマウス顎下腺終末部での Aquaporin 5 の発現変化: 松浦幸子, 田所 治, 宇都野 創, 菊田彰夫 (*Acta Anatomica Nipponica* **85** Suppl: 180, 2010)

平成22年度 教育改革 ICT 戦略大会 2010年9月

自己学習を促す学力強化システムの確立: 富田美穂子, 倉澤郁文, 岡藤範正, 古川洋和, 増田裕次, 瀬村江里子, 吉澤英樹, 長谷川博雅

日本動物学会大会(第81回)2010年9月

岩礁性両生魚ヨダレカケの窒素代謝と尿素ならびにアンモニア輸送体: 小宮山牧子, 吉澤英樹, 清水則雄, 今野紀文, 松田恒平, 内山 実 (大会予稿集: 132, 2010)

クロサンショウウオの個体発生に伴う Na<sup>+</sup>輸送関連膜タンパクの発現動態: 内山 実, 熊野智子, 吉澤英樹 (予稿集: 132, 2010)

歯科基礎医学会学術大会(第52回)2010年9月

マウス発生過程のマイクロCTによる3D観察-三叉神経節の一例: 青柳秀一, 土川幸三, 岩崎信一, 吉澤英樹 (*J Oral Biosci* **52** Suppl: 162, 2010)

ウシガエル舌及び頸静脈神経節におけるニューロンの免疫組織化学的特徴: 田所 治, 安藤 宏, 井上

勝博, 川原一郎, 松浦幸子, 富田美穂子, 浅沼直和, 宇都野 創, 金銅英二 (*J Oral Biosci* **52** Suppl: 163, 2010)

## 松本歯科大学推進研究費による研究

松浦幸子, 奥村雅代, 深沢加典子: 唾液腺の形態形成における腺上皮細胞の極性形成機構の解明-上皮細胞接着関連分子 ZO-2 の発現動態

## 化学

## 論文発表

Osawa M, Yamakura F, Mihara M, Okubo Y, Yamada K and Hiraoka BY (2010) Conversion of the metal-specific activity of *Escherichia coli* Mn-SOD by site-directed mutagenesis of Gly 165 Thr. *Biochim Biophys Acta* **1804**: 1775-9.

Osawa M, Mihara M, Kikuchi Y, Okubo Y, Yamada K, Hirai K and Hiraoka BY (2010) Immunoassay based on a polyclonal antibody for the quantification of *Porphyromonas gingivalis* SOD: a preliminary report. *松本歯学* **36**: 1-6.

## その他の学術著作物

山下照仁 (2010) *Bone Journal Club*: PGC 1 $\beta$  は, 破骨細胞分化において PPAR $\gamma$  の活性化を介し, rosiglitazone による骨減少を誘導する. *骨粗鬆症治療* **9**: 85.

山下照仁 (2010) *Bone Journal Club*: 腸由来セロトニン合成の阻害薬は, 骨形成促進(骨アナボリック作用)による骨粗鬆症治療の可能性がある. *骨粗鬆症治療* **9**: 87.

## 学会発表

松本歯科大学学会(第71回)2010年7月

黄色ブドウ球菌 V8 プロテアーゼの A549 細胞への影響-IL-8 の誘導を中心として: 平井 要, 菊池有一郎, 上田青海, 柴田幸永, 木曾有紀子, 大石真太郎, 宮下みどり, 大久保裕一郎, 平岡行博, 加藤哲男, 石原和幸, 藤村節夫

破骨細胞の分化と機能を抑制する天然化合物アルクチゲニンの作用機序の解明: 山下照仁, 李 峰, 上原俊介, 小林泰浩, 宇田川信之, 門田重利, 高橋直之

日本骨代謝学会学術集会(第28回)2010年7月

漢方牛蒡子由来のアルクチゲニンは破骨細胞の分化と機能を抑制する: 山下照仁, 上原俊介, 小林

泰浩, 宇田川信之, 高橋直之 (第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p227, P1-37)

簡便な破骨細胞の極性化解析法の確立: 中山貴裕, 川原一郎, 上原俊介, 山下照仁, 溝口利英, 小林泰浩, 小澤英浩, 宇田川信之, 高橋直之 (第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p212, P1-8)

歯科基礎医学学会学術大会 (第52回) 2010年9月

空気曝露による *P. gingivalis* SOD の発現量の変化: 小町谷美帆, 平井 要, 三原正志, 大澤雅樹, 菊池有一郎, 黒岩昭弘, 山田一尋, 平岡行博 (J Oral Biosci 第52巻 抄録集 p.185)

日本分子生物学会年会 (第32回), 日本生化学会大会 (第83回) 合同年会 2010年12月

歯周病原菌 SOD 発現量の酸化ストレスによる変化: 三原正志, 小町谷美帆, 大澤雅樹, 山倉文幸, 平井 要, 菊池有一郎, 茂木眞希雄, 山田一尋, 黒岩昭弘, 平岡行博 (学会プログラム p.329)

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

平岡行博, 大澤雅樹, 小町谷美帆, 三原正志: *P. gingivalis* スーパーオキシドジスムターゼの金属寛容性を発現するアミノ酸残基の検討

洞澤功子, 宇田川信之, 山下照仁, 上原俊介: 細胞接着性タンパク質にて修飾した純チタン板上での骨芽細胞の分化メカニズムについて

#### 日本学術振興会科学研究費による研究

山下照仁, 高橋直之, 二宮 禎: 抗癌剤アクチゲニンの新しい骨吸収抑制機構の解明 (基盤研究 C)

小林泰浩, 平賀 徹, 高橋直之, 山下照仁, 溝口利英: 矯正治療への応用を目指した Wnt5a による歯槽骨-骨代謝回転制御機構の解明 (基盤研究 B)

宇田川信之, 中道裕子, 小林泰浩, 上原俊介, 山下照仁: 破骨細胞が分泌する新規骨形成誘導因子の同定 (挑戦的萌芽研究)

中村浩志, 山下照仁, 中村美どり, 小出雅則, 宇田川信之, 宮沢裕夫: LPS シグナルを用いた口腔粘膜疾患モデルの開発 (挑戦的萌芽研究)

溝口利英, 中道裕子, 山下照仁, 細矢明宏, 二宮 禎, 小出雅則: 骨代謝を調節するカーボンナノチューブの分子機構の解明 (新学術領域研究・研究課題提案型)

#### その他の研究補助金による研究

山下照仁: NFATc1 を標的とした新しい作用機序の骨吸収抑制薬の開発 (科学技術振興機構研究成果最適展開支援事業 (A-STEP))

## 物理学

### 著 書

江尻有郷, 北原和夫, 杉山忠男, 鈴木 亨, 田中忠芳, 田中良樹, 谷崎佑弥, 並木雅俊, 二宮正夫, 野添 崇, 長谷川修司, 波田野 彰, 原田 勲, 村下湧音 (分担執筆) (2010) オリンピック問題で学ぶ世界水準の物理入門. 丸善, 東京.

### その他の学術著作物

有山正孝, 江尻有郷, 大嶋孝吉, 興治文子, 北原和夫, 毛塚博史, 近藤泰洋, 杉山忠男, 鈴木 亨, 田中忠芳, 並木雅俊, 野添 崇, 長谷川修司, 波田野 彰, 原田 勲, 光岡 薫, 向田昌志 (分担執筆) (2010), 物理チャレンジ国際物理オリンピック2010年度報告書. 物理チャレンジ・オリンピック日本委員会, 東京.

田中忠芳, 興治文子, 中野公世 (2010) 領域 13 物理教育シンポジウム報告「定量的方法による物理教育研究の現状と展望」. 大学の物理教育 **16**: 178-83.

田中忠芳, 大島和成, 増田裕次 (2010) 第70回松本歯科大学学会 (総会) 一般講演要旨 5. 歯学部初年次数物系教養科目における授業改善の試み. 松本歯学 **36**: 181.

### 学会発表

日本物理学会年次大会 (第65回) 2010年3月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築 II: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次

大学初年次物理系教育のための e-Learning コンテンツの開発 II: 鍵山茂徳, 田中忠芳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次

第41回国際物理オリンピック日本代表訓練研修・理論問題: 中屋敷 勉, 江尻有郷, 興治文子, 北原和夫, 杉山忠男, 鈴木 亨, 田中忠芳, 田中良樹, 谷崎佑弥, 並木雅俊, 野添 崇, 原田 勲, 山田達之輔

松本歯科大学学会総会 (第70回) 2010年7月

歯学部初年次数物系教養科目における授業改善の試み: 田中忠芳, 大島和成, 増田裕次

日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (第29回) 2010年7月

初年次数物系教養教育における授業改善とその評価: 田中忠芳, 宮沢裕夫, 王 宝禮

松本歯科大学大学院研究科発表会 (第27回)・中間発表会 (第41回) 2010年7月

歯学部初年次数物系教養科目における教育効果の評価方法に関する一考察：田中忠芳

日本リメディアル教育学会全国大会（第6回）2010年8月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築とe-Learningコンテンツの開発Ⅱ：田中忠芳，鍵山茂徳，江尻有郷，並木雅俊，大島和成，増田裕次

日本物理学会2010年秋季大会 2010年9月

第41回国際物理オリンピック・クロアチア大会報告：杉山忠男，江尻有郷，毛塚博史，光岡 薫，向田昌志，長谷川修司，興治文子，中屋敷 勉，真梶克彦，鈴木 亨，田中忠芳，山田達之輔，野添 嵩，田中良樹，谷崎佑弥，並木雅俊，浅井吉蔵，北原和夫，原田 勲

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築Ⅲ：田中忠芳，鍵山茂徳，江尻有郷，並木雅俊，大島和成，増田裕次

大学初年次物理系教育のためのe-Learningコンテンツの開発Ⅲ：鍵山茂徳，田中忠芳，江尻有郷，並木雅俊，大島和成，増田裕次

大学初年次物理系教養科目における教育効果の評価方法に関する一考察：田中忠芳

松本歯科大学大学院研究科発表会（第32回）・中間発表会（第45回）2010年12月

大学初年次数物系教養科目における授業改善とその評価に関する基礎的研究：田中忠芳

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

田中忠芳，鍵山茂徳，並木雅俊，江尻有郷，大島和成，増田裕次：大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュール構築とe-Learningコンテンツ開発（基盤研究C）

#### 言語表現

#### 学会発表

日本歯科医学教育学会総会・学術大会 2010年7月

歯学部初年次教育におけるリテラシー教育の実践-「学ぶ」ためのレポート作成-：瀬村江里子，赤羽仁，金井 優，志村美智子，田村愛結子，松下雅衣，岡藤範正（プログラム・抄録集p105）

社団法人私立大学情報教育協会 平成22年度 教育改革 ICT 戦略大会 2010年9月

自己学習を促す学力強化システムの確立：富田美穂子，音琴淳一，倉澤郁文，岡藤範正，古川洋和，増田裕次，瀬村江里子，吉澤英樹，長谷川博雅

日本リメディアル教育学会第6回全国大会 2010

年9月

「大学での学び」と「専門科目の学び」（2年生の学びの実際から）：瀬村江里子（発表予稿集 p216-7）

初年次教育学会第3回大会 2010年9月

学生の学びの質を変容させる授業テクニックとは：たなかよしこ，馬場真知子，国府田秀行，小山義徳，河住有希子，瀬村江里子（発表要旨集 p28-9）

日本リメディアル教育学会 九州・沖縄支部会支部大会・総会 2010年11月

日本語の「読み」「書き」能力向上のためのきっかけ作り：瀬村江里子（支部大会講演論文集 p27-8）

#### 特別講演

第71回松本歯科大学学会（例会）2010年11月

学生は変わっているか-第2学年主要科目における06年度入学者（現5年生）から09年度入学者（現2年生）までの成績分析から-：瀬村江里子

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

瀬村江里子，平岡行博，宇田川信之：「専門科目の学び」に関する研究～歯学部における「主体的な学び」とは～

#### 入門歯科医学

#### 論文発表

黒岩昭弘，酒匂充夫，宇田 剛，谷内秀寿（2010）総義歯の立場からみた咬合 -無歯顎の患者にどのように咬合を与えるか。日本歯科評論 **70**（1）：61-72。

秋山麻沙子，黒岩昭弘，松山雄喜，内山真紀子，溝上真也，谷内秀寿，山本昭夫，音琴淳一，藤森茂治，笠原悦男（2010）審美修復におけるレジンセメントの色調の研究 -試験片の厚さが色調に及ぼす影響-。日本顎咬合学会誌 **30**：196-201。

谷内秀寿，黒岩昭弘，松山雄喜，内山真紀子，秋山麻沙子，溝上真也，音琴淳一，山本昭夫，藤森茂治，笠原悦男（2010）各種人工歯が口蓋の容積に及ぼす影響。日本顎咬合学会誌 **30**：206-12。

#### 学会発表

日本補綴歯科学会（119回）平成22年6月

パウンドラインにおける前方基準点が臼歯部人工歯の位置に及ぼす影響：松山雄喜，黒岩昭弘，酒匂充夫，宇田 剛，高村貴仁，山口育子，加藤智行，才田真吾，中村雄貴，眞野富士子，宮原大地，谷内秀寿，緒方 彰（プログラム・抄録集 p126）

## 口腔解剖学第1講座

## 論文発表

Okumura M and Kondo E (2010) The effect of Gabapentin on the expression of genes in the trigeminal ganglia of inferior alveolar nerve-transected neuropathic pain model rats. *Pain Res* **25** : 171-8.

Okumura M, Iwata K, Yasuda K, Inoue K, Shinoda M, Honda K, Shibuta K, Yasuda M and Kondo E (2010) Alternation of Gene Expression in Trigeminal Ganglion Neurons Following Complete Freund's Adjuvant or Capsaicin Injection into the Rat Face. *J Mol Neurosci* **42** : 200-9.

Utsuno H, Kageyama T, Uchida K, Yoshino M, Oohigashi S, Miyazawa H and Inoue K (2010) Pilot study of facial soft tissue thickness differences among three skeletal classes in Japanese females. *Forensic Sci Int* **195** : 165 e1-e5.

Utsuno H, Kageyama T, Uchida K, Yoshino M, Miyazawa H and Inoue K (2010) Facial soft tissue thickness in Japanese Children. *Forensic Sci Int* **199** : 109 e1-e6.

時崎匡史, 奥村雅代, 大木絵美, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 宇都野 創, 田所 治, 金銅英二 (2010) 下歯槽神経切断モデルラットにおける三叉神経節非損傷神経の遺伝子発現動態解析-感覚異常発生との関連-. *松本歯学* **36** : 93-106.

安藤 宏, 田所 治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二 (2010) カエル舌の茸状乳頭におけるサブスタンス P 免疫陽性神経線維(その起源と神経化学マーカー物質との共存関係) 味と匂 **17** : 243-6.

内山真紀子, 安西正明, 山本昭夫, 内田啓一, 河瀬雄治, 佐藤将洋, 宇都野 創, 笠原悦男 (2010) 下顎犬歯236歯の根管形態についての検討. *松本歯学* **36** : 107-14.

## その他の学術著書

内田啓一, 黒岩博子, 内山真紀子, 宇都野 創, 藤木知一, 杉野紀幸, 長内 秀, 望月慎恭, 山田真一郎, 山本昭夫, 笠原悦男, 田口 明 (2010) 上顎右側過剰歯と第三大臼歯の融合歯の一例 *松本歯学* **36** : 134-8.

## 特別講演

富山嚙下研究会 特別講演 2010年7月  
口腔顔面の機能と構造 -基礎編- : 金銅英二

富山嚙下研究会 特別講演 2010年11月  
口腔顔面の機能と構造 -実践編- : 金銅英二

## 学会発表

日本解剖学会学術集会(第115回)2010年3月  
形態形成過程のマウス顎下腺終末部でのAquaporin 5の発現変化: 松浦幸子, 田所 治, 宇都野 創, 菊田彰夫 (*Acta Anatomica Nipponica* **85** Suppl : 180, 2010)

日本味と匂学会(第44回)2010年8月  
カエル舌の茸状乳頭におけるサブスタンス P 免疫陽性神経線維(その起源と神経化学マーカー物質との共存関係): 安藤 宏, 田所 治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二 (日本味と匂学会第44回大会 プログラム・予稿集 p67)

International Association for Study of Pain (IASP) 13th World Congress on Pain, Montréal, Canada, August & September, 2010

Gene expression in rat trigeminal ganglion neurons after inferior alveolar nerve injury : Okumura M and Kondo E

第12回 ORIGIN 夏の神経科学ワークショップ(奈良)2010年9月

下歯槽神経切断モデルラットの三叉神経節における遺伝子発現動態: 奥村雅代, 金銅英二

歯科基礎医学会学術大会・総会(第52回)2010年9月

ウシガエル舌におけるニューロンの免疫組織化学的特徴: 田所 治, 安藤 宏, 川原一郎, 松浦幸子, 富田美穂子, 浅沼直和, 宇都野 創, 金銅英二 (*歯基礎雑誌* **52**(Suppl) : 163)

The 14th Biennial Scientific Meeting of International Association for Craniofacial Identification (IACI) Concepcion, Chile, September, 2010

Pilot study of facial soft tissue thickness differences among three skeletal classes in Japanese females : Utsuno H, Kageyama T, Oohigashi S, Uchida K, Yoshino M, Miyazawa H and Inoue K

松本歯科大学学会(第71回)2010年11月  
カエル舌の茸状乳頭に分布する神経の免疫組織化学的研究

安藤 宏, 田所 治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二 (*松本歯学* **36**(3) : 295-6)

松本歯科大学学会(第71回)2010年11月  
抜歯を余儀なくされた非定型歯痛の一例: 金銅英二, 山下秀一郎, 丹羽 萌, 澁谷 徹, 前島信也, 窪田裕一 (*松本歯学* **36**(3) : 293-4)

平成22年度一般社団法人日本小児歯科学会秋季大会 2010年12月

骨格型の異なる日本人小児の顔面部軟組織厚に関

する研究：大東史奈，宇都野 創，影山徹，内田啓一，岩崎 浩，宮沢裕夫

### そ の 他

松本歯科大学推進研究発表会 2010年 8月

三叉神経節神経細胞の侵害刺激に伴うマイクロRNAの発現上昇の解析：金銅英二，奥村雅代，澁谷 徹，山田一尋

### 口腔解剖学第2講座

### 論文発表

Nakamura H, Yukita A, Ninomiya T, Hosoya A, Hiraga T and Ozawa H (2010) Localization of Thy-1-positive cells in the perichondrium during endochondral ossification. *J Histochem Cytochem* **58** : 455-62.

Hiraga T, Ninomiya T, Hosoya A and Nakamura H (2010) Administration of the bisphosphonate zoledronic acid during tooth development inhibits tooth eruption and formation, and induces dental abnormalities in rats. *Calcif Tissue Int* **86** : 502-10.

Hosoya A, Kwak S, Kim EJ, Lunny DP, Lane EB, Cho SW and Jung HS (2010) Immunohistochemical localization of cytokeratins in the junctional region of ectoderm and endoderm. *Anat Rec (Hoboken)* **293** : 1864-72.

Hosoya A, Ninomiya T, Hiraga T, Yoshida K, Yoshida N, Kasahara E, Ozawa H and Nakamura H (2010) Potential of periodontal ligament cells to regenerate alveolar bone. *J Oral Biosci* **52** : 72-80.

Lee KS, Lee YS, Lee JM, Ito K, Cinghu S, Kim JH, Jang JW, Li YH, Goh YM, Chi XZ, Wee H, Lee HW, Hosoya A, Chung JH, Jang JJ, Kundu JK, Surh YJ, Kim WJ, Ito Y, Jung HS and Bae SC (2010) Runx 3 is required for the differentiation of lung epithelial cells and suppression of lung cancer. *Oncogene* **29** : 3349-61.

Kobayashi Y, Hiraga T, Ueda A, Wang L, Matsu-moto-Nakano M, Hata K, Yatani H and Yoneda T (2010) Zoledronic acid delays wound healing of the tooth extraction socket in mice : Insights into the pathogenesis of bisphosphonate-related osteone-crosis of the jaw. *J Bone Miner Metab* **28** : 165-75.

Nakanishi M, Hata K, Nagayama T, Sakurai T, Nishisho T, Wakabayashi H, Hiraga T, Ebisu S and Yoneda T (2010) Acid activation of Trpv 1 leads to an up-regulation of calcitonin gene related peptide

expression in dorsal root ganglion neurons via the CaMK-CREB cascade : A potential mechanism of inflammatory pain. *Mol Biol Cell* **21** : 2568-77.

Zhao C, Kurita H, Kurashina K, Hosoya A, Arai Y and Nakamura H (2010) Temporomandibular joint response to mandibular deviation in rabbits detected by 3D micro-CT imaging. *Arch Oral Biol* **55** : 929-37.

### その他の学術著作物

中村浩彰, 雪田 聡, 平賀 徹, 細矢明宏, 二宮 禎, 小澤英浩 (2010) 軟骨内骨化過程における Thy-1 (CD 90) 陽性細胞の役割. *The BONE* **24** : 205-8.

平賀 徹 (2010) 癌の骨転移. *骨粗鬆症治療* **9** : 197-200.

Hirata A, Tsuji, T, Imura H, Yamada T, Ueno T, Mishima K, Natsume N, Sugahara T, Koga Y, Takano K and Nakamura H (2010) Localization of the HOXC homeobox gene family during palate formation in mice. Selected papers from the XX Congres of the European Association of Cranio-Maxillo-Facial Surgery, 415-20.

### 学会発表

日本骨形態計測学会 (第30回) 2010年 5月  
ラクトフェリンは細胞分化を抑制し，卵巣摘出ラットの骨量減少を抑制する：二宮 禎，陳彦呈，細矢明宏，平賀 徹，中村浩彰，小澤英浩 (*日骨形態誌* **20** : S 51, 2010)

日本歯科保存学会・春季学会 (第132回) 2010年 6月

ヒト歯髄創傷治癒過程で生じる Fibrillin-1 の分解は細胞分化と石灰化を誘導する：吉羽永子，吉羽邦彦，大倉直人，細矢明宏，重谷佳見，興地隆史 (*プログラムおよび講演抄録集* : 117, 2010)

88th General Session & Exhibition of International Association for Dental Research 2010年 7月  
Expressional alterations of fibrillin-1 during wound healing of dental pulps : Yoshida N, Yoshida K, Ohkura N, Hosoya A, Shigetani Y and Okiji T (演題番号562)

Tissue Alteration of Rat Dental Pulp in Whole Tooth Culture : Yoshida K, Yoshida N, Shigetani Y, Hosoya A and Okiji T (演題番号1278)

日本骨代謝学会学術集会 (第28回) 2010年 7月  
乳癌 side population 細胞は高い骨転移能を有するか? : 平賀 徹，中村浩彰 (*プログラム抄録集* : p 238, 2010)

骨芽細胞分化における SUMO 化修飾の役割 :

雪田 聡, 細矢明宏, 片桐岳信, 中村浩彰 (プログラム抄録集: p 255, 2010)

歯科基礎医学会学術大会 (第52回) 2010年 9月

サテライトシンポジウム SS6 基質からみた硬組織の調節機構 骨芽細胞分化における膜結合性細胞外基質の役割: 中村浩彰 (J Oral Biosci 52 Suppl: 89, 2010)

BMPによる分化制御機構におけるSUMO化修飾の役割: 雪田 聡, 細矢明宏, 片桐岳信, 中村浩彰 (J Oral Biosci 52 Suppl: 103, 2010)

Thy-1陽性歯髄細胞の硬組織形成能に関する形態学的研究: 細矢明宏, 平賀 徹, 二宮 禎, 雪田 聡, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 中村浩彰 (J Oral Biosci 52 Suppl: 122, 2010)

歯根膜におけるビタミンDレセプターの局在とビタミンD<sub>3</sub>の作用について: 陳 彦呈, 二宮 禎, 平賀 徹, 細矢明宏, 宮沢裕夫, 中村浩彰 (J Oral Biosci 52 Suppl: 122, 2010)

ヒト歯髄組織においてFibrillin-1はMMP-3により分解され細胞分化と石灰化を誘導する: 吉羽永子, 吉羽邦彦, 重谷佳見, 興地隆史, 細矢明宏, 中村浩彰 (J Oral Biosci 52 Suppl: 152, 2010)

日本癌学会総会 (第69回) 2010年 9月

乳癌 side population 細胞の骨転移能: 平賀 徹 (抄録集: p. 488, 2010)

32nd Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research 2010年10月

Side population in human breast cancer cells exhibits cancer stem cell-like properties but does not have higher bone-metastatic potential: Hiraga T, Ito S and Nakamura H (J Bone Miner Res 25: S 263, 2010)

Osteogenic potential of side population cells in periodontal ligament: Ninomiya T, Hiraga T, Hosoya A and Nakamura H (J Bone Miner Res 25: S 295, 2010)

日本歯科保存学会・秋季学会 (第133回) 2010年10月

Thy-1陽性歯髄細胞の局在および硬組織形成能: 細矢明宏, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 笠原悦男, 中村浩彰 (プログラムおよび講演抄録集: 54, 2010)

ラット炎症歯髄に対する薬物輸送担体の遺伝子発現解析: 大倉直人, 重谷佳見, 細矢明宏, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 興地隆史 (プログラムおよび講演抄録集: 96, 2010)

半導体レーザー照射後のラット臼歯における非コラーゲンタンパクの遺伝子発現: 重谷佳見, 大倉直人, 吉羽邦彦, 細矢明宏, 吉羽永子, 興地隆史 (プログラムおよび講演抄録集: 161, 2010)

ラット臼歯培養系における歯髄組織の変化に関する免疫組織化学的観察: 吉羽邦彦, 吉羽永子, 重谷佳見, 金子友厚, 細矢明宏, 興地隆史 (プログラム

および講演抄録集: 165, 2010)

## 講演会

校友会滋賀県支部 学術講演 2010年 7月

歯の発生機構と再生歯科応用への可能性: 中村浩彰

明海大学大学院総合セミナー 2010年 9月

歯・歯周組織の発生と再生の可能性: 中村浩彰

## 松本歯科大学推進研究費による研究

中村浩彰, 二宮 禎, 陳 彦呈: 歯根膜細胞におけるビタミンDレセプター発現とビタミンDの作用について

細矢明宏, 中村浩彰, 笠原悦男, 平賀 徹, 二宮 禎, 雪田 聡: 幼弱象牙芽細胞に発現するSUMOタンパク質の機能解析

二宮 禎, 中村浩彰, 陳 彦呈: ラクトフェリンによる破骨細胞分化制御メカニズムの解明

## 日本学術振興科学研究費補助金による研究

中村浩彰, 細矢明宏, 雪田 聡, 二宮 禎: 歯根膜組織幹細胞の誘導と再生歯科医療の可能性 (挑戦的萌芽研究)

平賀 徹, 細矢明宏, 二宮 禎, 小林泰浩: 骨髄癌幹細胞を核とする癌骨転移の成立・進展メカニズムの解析 (基盤研究B)

細矢明宏: Thy-1陽性歯髄細胞による象牙質再生 (若手研究B)

雪田 聡: SUMO化修飾の阻害による骨芽細胞分化促進機構の解明 (若手研究B)

溝口利英, 二宮 禎, 小出雅則, 中道裕子, 細矢明宏, 山下照仁: 骨代謝を調節するカーボンナノチューブの分子機構の解明 (新学術領域研究 (研究課題提案型))

小林泰浩, 高橋直之, 平賀 徹, 山下照仁, 溝口利英: 矯正治療への応用を目指したWnt5aによる歯槽骨-骨代謝回転制御機構の解明 (基盤研究B)

二宮 禎, 平賀 徹, 小出雅則, 中村浩彰: 硬組織形成における組織幹細胞微小環境の解明 (基盤研究C)

山下秀一郎, 平賀 徹, 二宮 禎: 骨折治癒メカニズムを応用した歯科インプラントにおける新規骨誘導法の開発 (基盤研究C)

## 口腔生理学講座

## 論文発表

Siar CH, Nakano K, Ng KH, Tomida M, Nagatsuka H and Kawakami T (2010) Squamous odontogenic tumor of the mandible : a case report demonstrating immunoexpression of Notch 1, 3, 4, Jagged 1 and delta 1. *Eur J Med Res* **15** : 180-4.

Hirai K, Tomida M, Kikuchi Y, Ueda O, Ando H and Asanuma N (2010) Effects of deuterium oxide on *Streptococcus mutans* and *Pseudomonas aeruginosa*. *Bull Tokyo Dent Coll* **51** : 175-83.

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (2010) Possibility of odontoblasts activity up-regulation due to orthodontic mechanical stress in mice. *J Hard Tissue Biol* **19** : 13-6.

Nakano K, Siar C, Tomida M, Matsuura S, Tsujigiwa H, Nagatsuka H and Kawakami T (2010) Immunohistochemical observation of Notch signaling in a case of calcifying cystic odontogenic tumor. *J Hard Tissue Biol* **19** : 147-52.

Toiyama Y, Miki C, Inoue Y, Minobe S, Urano H and Kusunoki M (2010) Loss of tissue expression of interleukin-10 promotes the disease progression of colorectal carcinoma. *Surg Today* **2010** **40** : 46-53.

鷹股哲也, 橋井公三郎, 山木貴子, 中村貴美, 加藤優美子, 安西正明, 正村正仁, 岡田芳幸 (2010) マウスガード材の粘弾性特性と衝撃減衰能に関する基礎的研究. *スポーツ歯学* **13** : 60-9.

安藤 宏, 田所 治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二 (2010) カエル舌の茸状乳頭におけるサブスタンス P 免疫陽性神経線維(その起源と神経化学マーカー物質との共存関係). *味と匂* **17** : 243-6.

中村貴美, 富田美穂子, 山下秀一郎, 中村浩二, 浦野浩子, 安藤 宏, 浅沼直和 (2010) 歯科医療費に関する意識調査-第1報: 外来患者, 歯科医師, 各学年の学生との比較-. *松本歯学* **36** : 199-208.

## 学会発表

88th General Session of International Association for Dental Research 2010年2月

Newly Designed gustatory test based on progress of mastication : Kasahara T, Yamashita S, Tomida M and Asanuma N

教育改革 ICT 戦略大会 2010年9月

自己学習を促す学力強化システムの確立: 富田

美穂子, 音琴淳一, 倉澤郁文, 岡藤範正, 古川洋和, 増田裕次, 瀬村江里子, 吉澤英樹, 長谷川博雅

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会 (第16回) 2010年9月

顎変形症手術患者における退院後の栄養摂取に関する問題点の抽出: 小城明子, 竹内由里, 中久木康一, 黒原一人, 富田美穂子, 上松隆司, 天笠光雄, 植松 宏

日本栄養改善学会学術大会 (第57回) 2010年9月

顎変形症患者における手術後の食品摂取の傾向: 竹内由里, 小城明子, 富田美穂子, 中久木康一, 黒原一人, 天笠光雄, 植松 宏, 上松隆司

10th European Association of oral medicine 2010年9月

Use of gamma knife radiosurgery for trigeminal neuralgia : Tomida M, Hayashi M, Kouyama N, Katayama Y, Kawakami Y, Nakamura T and Asanuma N

Effect of Oral function on pain perception : Nakamura T, Tomida M, Yamashita S, Otsuka T, Onozuka M, Ando H and Asanuma N

Immunohistochemical expression of notch signaling in calcifying cystic odontogenic tumor : Kawakami T, Siar CH, Nakano K, Tomida M, Matsuura S, Tsujigiwa H and Nagatsuka H

Expression of Runx2 in dental root pulp cells due to orthodontic Mechanical stress : Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N and Siar CH

日本味と匂学会 2010年9月

ウシガエル舌の茸状乳頭におけるサブスタンス P 陽性線維: 安藤 宏, 田所 治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二

歯科基礎医学会 2010年9月

ウシガエル舌及び頸静脈神経節におけるニューロンの免疫組織化学的特徴: 田所 治, 安藤 宏, 井上勝博, 川原一郎, 松浦幸子, 富田美穂子, 浅沼直和, 宇津野 創, 金銅英二

松本歯科大学学会 2010年11月

カエル舌の茸状乳頭に分布する神経の免疫組織化学的研究: 安藤 宏, 田所 治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二

## 松本歯科大学推進研究費による研究

中村貴美, 鷹股哲也, 浅沼直和, 富田美穂子, 安藤 宏, 浦野浩子: 「痛み」に対する扁桃体の関与  
浦野浩子, 浅沼直和, 富田美穂子, 荒 敏昭: 歯髄炎にみられる痛覚過敏における ATP 受容体の役割  
安藤 宏, 田所 治, 浅沼直和, 富田美穂子, 金銅英二: カエル味覚円盤の神経支配の解明

笠原隼男, 山下秀一郎, 浅沼直和, 富田美穂子:

咀嚼を指標とした新たな味覚検査法の検討

川上敏行, 中野敬介, 富田美穂子, 村木英司, 前田初彦, Chong Huat Siar: 歯原性腫瘍の細胞分化における形態形成調節因子の解析

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小野塚実, 兼松雅之, 富田美穂子, 久保金弥: 口腔ケアによる高齢者の認知脳機能回復の賦活と再生 (基盤研究 (B))

富田美穂子, 中村貴美, 小野塚 実: 外的環境が疼痛閾値に及ぼす影響 (基盤研究 (C))

岡藤範正, 中野敬介, 富田美穂子, 川上敏行, 辻極秀次: 骨髄幹細胞を用いた歯科矯正学的リモデリングの促進とその分子制御機構の解明 (基盤研究(C))

浦野浩子: 三叉神経因性疼痛治療の新たな分子基盤の開発 (若手研究 (B))

## 口腔生化学講座

### 論文発表

Aoki S, Honma M, Kariya Y, Nakamichi Y, Ninomiya T, Takahashi N, Udagawa N and Suzuki H (2010) Function of OPG as a traffic regulator for RANKL is crucial for controlled osteoclastogenesis. *J Bone Miner Res* **25**: 1907-21.

Lee JW, Kobayashi Y, Nakamichi Y, Udagawa N, Takahashi N, Im NK, Seo HJ, Jeon WB, Yonezawa T, Cha BY and Woo JT (2010) Alisol-B, a novel phyto-steroid, suppresses the RANKL-induced osteoclast formation and prevents bone loss in mice. *Biochem Pharmacol* **80**: 352-61.

Koide M, Kinugawa S, Takahashi N and Udagawa N (2010) Osteoclastic bone resorption induced by innate immune responses. *Periodontology* 2000 **54**: 235-46.

Hashiguchi D, Fukushima H, Nakamura M, Morikawa K, Yasuda H, Udagawa N, Maki K and Jimi E (2010) Mineral trioxide aggregate solution inhibits osteoclast differentiation through the maintenance of osteoprotegerin expression in osteoblasts. *J Biomed Mater Res A. Wiley Online Library* DOI: 10.1002/jbm.a.32990.

Naruse K, Fukuda M, Hasegawa H, Yagami K and Udagawa N (2010) Advanced alveolar bone resorption treated with implants, guided bone regeneration, and synthetic grafting: a case report. *Implant Dent* **19**: 460-7.

Fukasawa KM, Hirose J, Hata T and Ono Y (2010) In rat dipeptidyl peptidase III, His 568 is es-

sential for catalysis, and Glu 507 or Glu 512 stabilizes the coordination bond between His 455 or His 450 and zinc ion. *Biochim. Biophys. Acta* **1804**: 2063-9.

その他学術著作物

中村美どり, 中道裕子, 宇田川信之 (2010) 骨吸収と骨形成の調節機構の解明を目指す. *日本歯科評論* **70**: 9-11.

小出雅則, 高橋直之, 小澤英浩, 宇田川信之 (2010) カルシウムシグナルを介する骨吸収の制御. *THE BONE* **24**: 97-101.

廣瀬順造, 秦 季之, 深澤加與子 (2010) 酵素反応速度論と計算化学の相補の利用による酵素反応機構の解析 福山大学. *薬学部研究年報* **28**: 1-22.

### 特別講演

第26回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」2010年1月

歯髄細胞を用いた骨再生医療に関する橋渡し研究: 宇田川信之

第11回東葛リウマチ医会 2010年1月

破骨細胞による骨吸収の分子機構: 宇田川信之

奥羽大学歯学部歯科保存学講座医局総会講演会 2010年1月

歯槽骨の再生を目指した破骨細胞・骨芽細胞・歯髄細胞に関する基礎的研究: 宇田川信之

Korean Society of Osteoporosis 2010 Osteoporosis Expert Meeting 2010年2月

Osteoclasts. Role of osteoblasts in hormonal control of osteoclastic bone resorption: Udagawa N

第327回脂溶性ビタミン総合研究委員会 2010年3月

活性型ビタミンD<sub>3</sub>による破骨細胞形成機構-M-CSF 非依存的な破骨細胞形成における IL-34の役割 - : 宇田川信之

第45回骨 Ca 代謝研究会 2010年6月

骨の再生を目指した破骨細胞・骨芽細胞・歯髄細胞に関する基礎研究: 宇田川信之

第1回歯髄細胞バンク学術フォーラム 2010年7月

再生医療の基礎と歯科領域の応用: 宇田川信之  
信州産学官連携機構新技術説明会 2010年8月

骨量増加作用を有する RXR 受容体関連化合物の開発: 宇田川信之

岡山大学大学院セミナー 2010年9月

骨の再生を目指した破骨細胞・歯髄細胞・骨髄細胞に関する研究: 宇田川信之

九州歯科大学分子情報生化学セミナー 2010年11月



骨芽細胞・歯髄細胞に関する基礎研究：宇田川信之

第10回 Dentistry, Quo Vadis? 2010年12月

ヒト骨髄・歯髄由来細胞の骨再生への応用に関する課題：宇田川信之

日本私立歯科大学協会第8回教務研修会（シンポジウム）2010年12月

ゆとり教育世代の歯学部教育改善を考える-専門教育への橋渡しを探る-：宇田川信之

### 学会発表

日本再生医療学会総会（第9回）2010年3月18-19日

Cell Processing center を利用した骨再生療法の確立：寺本祐二，上松隆司，堂東亮輔，高橋美穂，丹羽 崇，高田匡基，丸川和也，下平滋隆，脇谷滋之，中村美どり，八上公利，宇田川信之，古澤清文（日本再生医療学会雑誌増刊号：p232, 2010）

日本小児歯科学会大会（第48回）2010年5月19日

BMP 誘導性異所性骨形成に関する大理石骨病マウスを用いた解析：中村美どり，中村浩志，宇田川信之，宮沢裕夫（小児歯科学雑誌 p48：211, 2010）

3<sup>rd</sup> International Conference on Osteoimmunology: Interactions of the Immune and Skeletal systems 2010年6月20-25日

Ror2-mediated noncanonical Wnt signaling enhances RANKL-induced osteoclast formation in physiological and pathological conditions: Kobayashi Y, Maeda K, Ishihara A, Uehara S, Takada I, Kato S, Nishita M, Minami Y, Marumo K, Udagawa N and Takahashi N

第20回金属の関与する生体関連反応シンポジウム 2010年6月

In Rat Dipeptidyl Peptidase III, Glu 507 or Glu 512 Stabilizes the Coordination Bond between His 455 or His 450 and Zinc Ion: Hirose J, Fukasawa KM, Hata T and Ono Y（プログラム：p35, 2010）

松本歯科大学学会例会（第70回）2010年7月10日

破骨細胞の分化と機能を抑制する天然化合物アルクテゲニンの作用機序の解明：山下照仁，李 峰，上原俊介，小林泰浩，宇田川信之，門田重利，高橋直之

歯髄細胞の高い骨再生能力は，Annexin A8 ロングフォームを介して発揮される：中道裕子，萩原貴寛，中村美どり，今岡 朝代，安孫子宜光，中村浩志，高橋直之，宇田川信之

日本骨代謝学会学術集会（第28回）2010年7月21-23日

Wnt5a は RANK の発現を亢進し，破骨細胞分化を促進する：小林泰浩，前田和洋，上原俊介，高田伊知郎，加藤茂明，丸毛啓史，宇田川信之，高橋直之

（第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p168, 2010）

漢方牛蒡子由来のアルクテゲニンは破骨細胞の分化と機能を抑制する：山下照仁，上原俊介，小林泰浩，宇田川信之，高橋直之（第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p227, 2010）

簡便な破骨細胞の極性解析法の確立：中山貴裕，川原一郎，上原俊介，山下照仁，溝口利英，小林泰浩，小澤英浩，宇田川信之，高橋直之（第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p212, 2010）

OPG による RANKL 細胞内選別輸送制御機構の解析：青木茂樹，本間 雅，苅谷嘉顕，中道裕子，二宮 禎，高橋直之，宇田川信之，鈴木洋史（第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p216, 2010）

骨芽細胞における Rab27a および Rab27b を介した RANKL 放出制御：苅谷嘉顕，本間 雅，青木茂樹，二宮 禎，中道裕子，宇田川信之，鈴木洋史（第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p244, 2010）

BMP 研究会（第17回）2010年7月24日

大理石骨病マウスを用いた BMP 誘導性異所性骨形成の解析：宇田川信之，中村美どり，溝口利英，高橋直之（抄録集：p5, 2010）

松本歯科大学推進研究報告会 2010年8月17日

歯髄細胞の有する石灰化機能のメカニズム解明：中道裕子，萩原貴寛，中村美どり，細矢明宏，山田一尋，宮沢裕夫，宇田川信之

純チタン板上における新バイオ界面の形成-各種足場材料の検討とその固定法-：洞澤功子，山下照仁，上原俊介

第2回 in vivo Micro CT Forum 2010年8月27日

骨吸収亢進マウスにおける歯槽骨吸収のマイクロCT解析：小出雅則，二宮 禎，中村美どり，新井嘉則，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之

32<sup>nd</sup> American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) Annual Meeting 2010年10月15-19日

OPG rather than RANKL regulates alveolar bone loss: Koide M, Ninomiya T, Nakamura M, Kobayashi Y, Yasuda H, Takahashi N and Udagawa N（演題番号 MO 0151）

Function of OPG as a traffic regulator for RANKL is crucial for controlled osteoclastogenesis: Aoki S, Honma M, Kariya Y, Nakamichi Y, Ninomiya T, Takahashi N, Udagawa N and Suzuki H（演題番号 MO 0201）

Rab27a and Rab27b are involved in stimulation-dependent RANKL release from secretory lysosomes in osteoblastic cells: Kariya Y, Honma M, Hanamura A, Aoki S, Ninomiya T, Nakamichi Y, Udagawa N and Suzuki H（演題番号 SU 0208）

松本歯科大学学会例会（第71回）2010年11月13日

Wnt シグナルによる破骨細胞分化調節機構の解析：小林泰浩，溝口利英，高橋直之，上原俊介，宇田川信之

日本分子生物学会年会（第33回）・日本生化学会大会（第83回）合同大会 2010年12月7日～10日

In rat dipeptidyl peptidase III, His568 is essential for catalysis, and Glu507 or Glu512 stabilizes the coordination bond between His455 or His450 and zinc ion: Fukasawa KM, Hirose J, Hata T and Ono Y (学会プログラム：P 399)

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

宇田川信之，小出雅則，中村美どり，中道裕子，上原俊介：歯槽骨破壊を阻止するための新規治療法開発の基礎研究（基盤研究 B）

宮沢裕夫，中村浩志，中村美どり，中道裕子，宇田川信之：歯髓細胞による硬組織再生機構の解明（基盤研究 B）

中村美どり，宮沢裕夫，中村浩志，中道裕子，宇田川信之：歯髓・歯根膜細胞を用いた顎骨再生医療を目指した基礎研究（基盤研究 C）

深澤加與子，中道裕子，上原俊介，中村美どり，宇田川信之：歯髓細胞を用いた硬組織再生の試み（基盤研究 C）

高橋直之，小林泰浩，上原俊介，宇田川信之：破骨細胞の波状縁形成を誘導する Wnt-Ror2 シグナル（挑戦的萌芽研究）

宇田川信之，中道裕子，小林泰浩，上原俊介，山下照仁：破骨細胞が分泌する新規骨形成誘導因子の同定（挑戦的萌芽研究）

中村浩志，山下照仁，中村美どり，小出雅則，宇田川信之，宮沢裕夫：LPS シグナルを用いた口腔粘膜疾患モデルの開発（挑戦的萌芽研究）

上原俊介：破骨細胞が分泌する Wnt による骨代謝制御機構の解明（若手研究 B）

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

宇田川信之，宮沢裕夫，山田一尋，細矢明宏，中道裕子，中村美どり：歯髓細胞の有する石灰化機構のメカニズム解明

洞澤功子，宇田川信之，山下照仁，上原俊介：細胞接着性タンパク質にて修飾した純チタン板上での骨芽細胞の分化メカニズムについて

#### その他の研究助成

宇田川信之：株式会社ヨシオカとの協同研究（医療用インプラントに関する研究）

#### 歯科薬理学講座

#### 論文発表

Ara T，Hattori T，Imamura Y，and Wang PL (2010) Development of the novel therapy for oral diseases using Kampo medicines. *J Oral Biosci* **52**：100-6.

Ara T，Honjo K，Fujinami Y，Hattori T，Imamura Y and Wang PL (2010) Preventive effects of a Kampo medicine, orento on inflammatory responses in lipopolysaccharide-treated human gingival fibroblasts. *Biol Pharm Bull* **33**：611-6.

Aoki H，Imamura Y，Ouryouji K，Miyazawa H and Wang PL (2010) Genetic polymorphism of the salivary mucin gene *MUC7* in severe caries in Japanese pediatric patients. *Pediatr Dent J* **20**：152-7.

Nakazono Y，Ara T，Fujinami Y，Hattori T and Wang PL (2010) Preventive effects of a Kampo medicine, hangeshashinto on inflammatory responses in lipopolysaccharide-treated human gingival fibroblasts. *J Hard Tissue Biol* **19**：43-50.

瀧澤 努，藤波義明，荒 敏昭，今村泰弘，宮沢裕夫，王 宝禮 (2010) 高速液体クロマトグラフィーによる漢方エキス製剤と煎薬の成分比較研究. *日本歯科東洋医学会誌* **29**：24-7.

王 宝禮，荒 敏昭，伊藤公一，高橋裕子 (2010) 歯学部・歯科衛生士学校における喫煙・禁煙教育の調査. *禁煙科学* **3**：41-53.

#### 学会発表

日本薬理学会年会（第83回）2010年3月

歯肉線維芽細胞におけるニフェジピンとカルシウム感知受容体との関係：服部敏己，王 宝禮 (*J Pharmacol Sci* **112**(Suppl. I)：157, 2010)

歯肉線維芽細胞を用いた歯周病モデルに対する漢方薬の基礎医学的研究：荒 敏昭，藤波義明，今村泰弘，服部敏己，王 宝禮 (*J Pharmacol Sci* **112**(Suppl. I)：169, 2010)

モデル動物を用いたタバコ煙曝露が及ぼす齲蝕への影響：藤波義明，中野敬介，上田青海，福井達也，荒 敏昭，今村泰弘，服部敏己，川上敏行，王 宝禮 (*J Pharmacol Sci* **112**(Suppl. I)：157, 2010)

日本小児歯科学会大会（第48回）2010年5月

乳歯列期重度齲蝕症における *MUC7* の遺伝子型解析：青木伯永，押領司 謙，今村泰弘，岩崎 浩，宮沢裕夫，王 宝禮

歯科基礎医学会学術大会ならびに総会（第52回）2010年9月

歯肉線維芽細胞におけるニフェジピンの $[Ca^{2+}]_i$ 上昇作用へのカルシウム感受受容体の関与：服部敏己，荒 敏昭 (J Oral Biosci 52(Suppl) : 149, 2010)

熱ショック蛋白質を介したTLR4シグナルにおける唾液ヒスタチンの抑制効果：今村泰弘，青木伯永，宮沢裕夫，王 宝禮

歯肉線維芽細胞を用いた *in vitro* 実験系に対する黄連湯の抗炎症作用の検討：荒 敏昭，服部敏己，王 宝禮：(J Oral Biosci 52(Suppl) : 172, 2010)

Down症候群歯周炎患者におけるMBLの遺伝子解析：青木伯永，今村泰弘，宮沢裕夫，王 宝禮

The 10th Biennial Congress of the European Association of Oral Medicine incorporating the World Workshop on Oral Medicine, September, 2010

Changes of Salivary Glands and Components due to Cigarette Smoke : Fujinami Y, Nakano K, Ara T, Fukui T, Imamura Y, Hattori T, Kawakami T and Wang PL (Oral Dis 16 : 523-4, 2010)

日本矯正歯科学会大会 (第69回) 2010年9月

慢性歯周炎患者におけるインターロイキン13遺伝子の一塩基多型解析：駒崎佑介，今村泰弘，王 宝禮，山田一尋

日本禁煙科学会学術総会2010年11月

タバコ煙による齶蝕進行の可能性：藤波義明，福井達也，王 宝禮 (禁煙科学 5 : 2010)

平成22年度日本小児歯科学会秋季大会 2010年12月

Down症候群歯周炎患者とMBLとの関係：青木伯永，今村泰弘，岩崎 浩，王 宝禮，宮沢裕夫

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

荒 敏昭：漢方薬による口腔疾患治療法の開発

#### 日本学術振興会科学研究費による研究

服部敏己，荒 敏昭：薬物誘発性歯肉増殖症の発症メカニズムの解明および治療薬の探索 (基盤研究C)

今村泰弘：抗炎症薬開発に向けた唾液蛋白質ヒスタチンの機能解明 (基盤研究C)

藤波義明：受動喫煙モデルを用いた齶蝕増加メカニズムの解明 (若手研究B)

#### 口腔細菌学講座

#### 論文発表

Osawa M, Mihara M, Kikuchi Y, Okubo Y, Yamada K, Hirai K and Hiraoka BY (2010) Immunoassay based on a polyclonal antibody for the

quantification of *Porphyromonas gingivalis* SOD : a preliminary report. 松本歯学 36 : 1-6.

Miyashita M, Oishi S, Kiso A, Kikuchi Y, Ueda O, Hirai K, Shibata Y and Fujimura S (2010) Hemoglobin binding activity and hemoglobin-binding protein of *Prevotella nigrescens*. Eur Med Res 15 : 314-8.

Oishi S, Miyashita M, Kiso A, Kikuchi Y, Ueda O, Hirai K, Shibata Y and Fujimura S (2010) Cellular locations of proteinases and association with vesicles in *Porphyromonas gingivalis*. Eur Med Res 15 : 397-402.

Hirai K, Tomida M, Kikuchi Y, Ueda O, Ando H and Asanuma N (2010) Effects of deuterium oxide on *Streptococcus mutans* and *Pseudomonas aeruginosa*. Bull Tokyo Dent Coll 51 : 175-83.

#### 学会発表

日本薬理学会年会 (第83回) 2010年3月

The effect of cigarette smoke exposure on dental caries in animal model : Fujinami Y, Nakano K, Ueda O, Fukui T, Ara T, Imamura Y, Hattori T, Fujimura S, Kawakami T and Wang PL (J Pharmacol Sci 112 : 157, 2010)

日本細菌学会総会 (第83回) 2010年3月

*P. nigrescens* におけるヘモグロビンからの鉄獲得の可能性：宮下みどり，大石真太郎，藤村節夫 (日細菌誌 65 : 121, 2010)

*Porphyromonas gingivalis* におけるアルギニンジンジパインとベジクルの結合：大石真太郎，宮下みどり，藤村節夫 (日細菌誌 65 : 121, 2010)

ポルフィロモナス・ジンジパリスのECFシグマ因子PG1318はミューター形質を示す：菊池有一郎，大原直也，上田青海，平井 要，柴田幸永，中山浩次，藤村節夫 (日細菌誌 65 : 168, 2010)

黄色ブドウ球菌V8プロテアーゼによるA549細胞からのIL-8の誘導：平井 要，菊池有一郎，上田青海，柴田幸永，大久保裕一郎，平岡行博，加藤哲男，石原和幸，藤村節夫 (日本細菌学雑誌 65 : 194, 2010)

20th European Congress of Clinical Microbiology and Infectious Diseases, April, 2010

Locations of proteases in cellular fractions and association with vesicles in *Porphyromonas gingivalis* : Oishi S, Miyashita M, Kiso A, Kikuchi Y, Ueda O, Hirai K, Shibata Y and Fujimura S (抄録：CD-ROM)

松本歯科大学学会総会 (第70回) 2010年7月

黄色ブドウ球菌V8プロテアーゼのA549細胞への影響-IL-8の誘導を中心として-：平井 要，菊池有一郎，上田青海，柴田幸永，木曾有紀子，大石

真太郎, 宮下みどり, 大久保裕一郎, 平岡行博, 加藤哲男, 石原和幸, 藤村節夫 (第70回松本歯科大学学会講演要旨集 6)

歯科基礎医学会学術大会 (第52回) 2010年9月

黄色ブドウ球菌V8プロテアーゼ刺激によるA549細胞のIL-8産生: 平井 要, 菊池有一郎, 上田青海, 柴田幸永, 平岡行博, 加藤哲男, 石原和幸, 藤村節夫 (J Oral Biosci 52 Suppl: 183, 2010)

空気曝露による *Porphyromonas gingivalis* SODの発現量の変化: 小町谷美帆, 平井 要, 三原正志, 大澤雅樹, 菊池有一郎, 黒岩昭弘, 山田一尋, 平岡行博 (J Oral Biosci 52 Suppl: 185, 2010)

10th European Association of Oral Medicine, September, 2010

The ECF sigma factor regulates transport/maturation of gingipain in *P. gingivalis*: Kikuchi Y, Miyashita M, Oishi S, Kiso A, Onozawa S, Ueda O, Hirai K, Shibata Y and Fujimura S (Oral Dis 16: 516, 2010)

Association of proteinases of *Porphyromonas gingivalis* with endogenous vesicles: Oishi S, Miyashita M, Kiso A, Onozawa S, Kikuchi Y, Ueda O, Hirai K, Shibata Y and Fujimura S (Oral Dis 16: 516, 2010)

日本生化学会大会合同大会 (第83回) 2010年12月

歯周病原菌 SOD 発現量の酸化ストレスによる変化: 三原正志, 小町谷美帆, 大澤雅樹, 山倉文幸, 平井 要, 菊池有一郎, 茂木眞希雄, 山田一尋, 黒岩昭弘, 平岡行博 (プログラム・抄録集: 329, 2010)

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

藤村節夫: 口腔レンサ球菌のタンパク分解酵素とペプチダーゼの研究

菊池有一郎: *P. gingivalis* ECF シグマ因子群の解析

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

上田青海: ポリリン酸の歯周病原細菌に対する抗菌活性とその影響 (若手研究 B)

#### 口腔病理学講座

#### 著 書

Kawakami T, Nakano K, Shimizu T, Watanabe T, Muraoka R, Kimura A and Hasegawa H (2010) Chapter 6: Immunohistochemical basis for orthodontic treatment. In Fuchs S and Auer M Ed: Biochemistry and Histochemistry Research Devel-

opment. p 117-41, Nova Science Publishers, New York, USA; Hardcover, ISBN: 978-1-60876-283-5; ebook, ISBN: 978-1-61668-932-2

#### 論文発表

Siar CH, Nakano K, Chelvanayagam PI, Ng KH, Nagatsuka H and Kawakami T (2010) An unsuspected ameloblastoma in the subpontic region of the mandible with consideration of pathogenesis from the radiographic course. Eur J Med Res 15: 153-8.

Siar CH, Nakano K, Ng KH, Tomida M, Nagatsuka H and Kawakami T (2010) Squamous odontogenic tumor of the mandible: A case report demonstrating immunoreexpression of Notch 1, 3, 4, Jagged 1, 2 and Delta 1. Eur J Med Res 15: 180-4.

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (2010) Possibility of odontoblasts activity up-regulation due to orthodontic mechanical stress in mice. J Hard Tissue Biol 19: 13-6.

Ochiai T, Shibukawa Y, Nagayama M, Mundy C, Yasuda T, Okabe T, Shimono K, Kanyama M, Hasegawa H, Maeda Y, Lanske B, Pacifici M and Koyama E (2010) Indian Hedgehog roles in post-natal TMJ development and organization. J Dent Res 89: 349-54.

Otsuka N, Okafuji N, Ochiai T, Kimura A, Hasegawa H and Kurihara S (2010) Measurement of enamel width diameter as basis of stripping in orthodontic treatment. J Hard Tissue Biol 19: 51-6.

Siar CH, Nagatsuka H, Chuah KS, Rivera RS, Nakano K, Ng KH and Kawakami T (2010) Notch 4 overexpression in ameloblastoma correlates with the solid/multicystic phenotype. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 110: 224-33.

Siar CH, Nakano K, Han PP, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (2010) Differential expression of Notch receptors and their ligands in desmoplastic ameloblastoma. J Oral Pathol Med 39: 552-8.

Siar CH, Ha KO, Aung LO, Nakano K, Tsujigiwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (2010) Immunolocalization of Notch signaling protein molecules in a maxillary chondrosarcoma and its recurrent tumor. Eur J Med Res 15: 456-60.

Muraoka R, Nakano K, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (2010) Immunohistochemical expression of heat shock proteins in the mouse periodontal tissues due to orthodontic mechanical stress. Eur J Med Res 15: 475-82.

Nakano K, Siar CH, Tomida M, Matsuura S, Tsujigiwa H, Nagatsuka H and Kawakami T (2010) Immunohistochemical observation of Notch signaling in a case of calcifying cystic odontogenic tumor. *J Hard Tissue Biol* **19** : 147-52.

Matsuda H, Nakano K, Muraoka R, Tomoda M, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (2010) BMPs and related factors appearing in the mouse periodontal tissue due to orthodontic mechanical stress. *J Hard Tissue Biol* **19** : 153-60.

Siar CH, Chuah KS, Nakano K, Rivera RS, Tsujigiwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (2010) Immunohistochemical study of Notch signaling proteins in the calcifying epithelial odontogenic tumor (Pindborg tumor). *J Hard Tissue Biol* **19** : 167-74.

Naruse K, Fukuda M, Hasegawa H, Yagami K and Udagawa N (2010) Advanced alveolar bone resorption treated with implants, guided bone regeneration, and synthetic grafting : a case report. *Implant Dent* **19** : 460-7.

落合隆永, 中野敬介, 木村晃大, 相澤聡一, 福沢正人, 上松隆司, 古澤清文, 川上敏行, 長谷川博雅 (2010) 口腔粘膜病変における液状化細胞診の検討. *松本歯学* **36** : 193-8.

### 学会発表

日本薬理学会年会 (第83回) 2010年3月

モデル動物を用いたタバコ煙曝露が及ぼす齲蝕への影響 : 藤波義明, 中野敬介, 福井達也, 荒 敏昭, 今村泰弘, 服部敏己, 川上敏行, 王 宝禮 (*J pharmacol Sci* **112**(S) : 157, 2010)

日本病理学会総会 (第99回) 2010年4月

口腔粘膜上皮異形成症におけるデスマゾームタンパク質の変化 : 落合隆永, 中野敬介, 木村晃大, 川上敏行, 長谷川博雅 (*日病会誌* **99** : 309, 2010)

Squamous odontogenic tumor の1症例 : Notch とその関連因子の検討 : 中野敬介, 長塚 仁, 川上敏行 (*日病会誌* **99** : 313, 2010)

日本臨床口腔病理学会総会 (第21回) 2010年7月

石灰化嚢胞性歯原性腫瘍の1例-Notch の免疫組織学的検討- : 中野敬介, 辻極秀次, 長塚 仁, 長谷川博雅, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p133)

上顎歯肉に発生した Histiocytic sarcoma の1例 : 落合隆永, 相澤聡一, 木村晃大, 中野敬介, 川上敏行, 長谷川博雅 (プログラム・抄録集 p144)

International Association for Dental Research (88th), Barcelona, Spain, July, 2010

Notch expression patterns and ameloblastoma phenotypes : Siar CH, Nakano K, Chuah KS, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (*J Dent Res* **89**

(Sp Iss B) Abstract No. 3478, 2010)

Three regions in 1p36 are preferentially deleted in oral squamous cell carcinoma : Tsujigiwa H, Lefevre M, Gunduz M, Siar CH, Katase N, Tamamura R, Nakano K and Nagatsuka H (Program and Abstract book p154)

硬組織再生生物学会総会 (第19回) 2010年9月

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜組織における HSP の発現変化 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p 48 ; *J Hard Tissue Biol* **19** : 210, 2010)

メカニカルストレスにより惹起されるマウス歯根膜細胞における BMPs : 松田浩和, 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p 49 ; *J Hard Tissue Biol* **19** : 210, 2010)

Annual Scientific Congress of Malaysian Oncological Society (30th), Kota Bharu, Kelantan, Malaysia, September, 2010

Immunolocalization of Notch signaling protein molecules in a maxillary chondrosarcoma and its recurrent tumor : Siar CH, Ha KO, Aung LO, Nakano K, Tsujigiwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T

Biennial Conference of European Association of Oral Medicine (10th) Incorporating the World Workshop on Oral Medicine, London, September, 2010

Immunohistochemical expression of Notch signaling in calcifying cystic odontogenic tumor : Kawakami T, Siar CH, Nakano K, Tomida M, Matsuura S, Tsujigiwa H and Nagatsuka H (*Oral Dis* **16** : 517, 2010)

Guanylate-binding protein-I localization in non-neoplastic and neoplastic salivary glands : Hasegawa H and Ochiai T (*Oral Dis* **16** : 523, 2010)

Changes of salivary glands and components due to cigarette smoke : Fujinami Y, Nakano K, Ara T, Fukui T, Imamura Y, Hattori T, Kawakami T and Wang PL (*Oral Dis* **16** : 523, 2010)

HSP expression as recovery reaction in orthodontic periodontal tension sides : Muraoka R, Nakano K, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (*Oral Dis* **16** : 529, 2010)

Expression of Runx2 in dental root pulp cells due to orthodontic mechanical stress : Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (*Oral Dis* **16** : 529, 2010)

A case of histiocytic sarcoma localized in maxillary gingiva : Ochiai T, Nakano K, Kawakami T and Hasegawa H (*Oral Dis* **16** : 561, 2010)

日本矯正歯科学会大会 (第69回) 2010年10月

歯科矯正力が惹起する HSP27 のマウス歯根膜細胞における局在変化：村岡理奈，中野敬介，松田浩和，共田真紀，岡藤範正，栗原三郎，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集 p178）

メカニカルストレスにより惹起されるマウス歯根膜細胞における BMPs とその関連因子：松田浩和，村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集 p180）

Asian Science Seminar (6th), Taichung, Taiwan, November 2010

Role of Msx2 as an activator of Runx2 in periodontal tension side by orthodontic mechanical stress : Nakano K, Muraoka R and Kawakami T (Program & Abstract book p16)

Heat Shock Proteins (HSPs) appearing in orthodontic periodontal tissues : Muraoka R, Nakano K, Matsuda H, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (Program & Abstract book p17)

BMPs and related factors appearing in the orthodontic periodontal tension sides in mice : Matsuda H, Muraoka R, Nakano K, Okafuji N, Yamada K and Kawakami T (Program & Abstract book p33)

松本歯科大学学会（第71回）2010年11月

多形腺腫と腺様嚢胞癌におけるコンドロモジュリン I の発現：嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅（松本歯学 36 : 294, 2010）

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

川上敏行，長塚 仁，中野敬介：骨吸収を惹起する増殖性病変における細胞分化の分子調節機構（基盤研究 C）

中野敬介，岡藤範正，川上敏行：メカニカルストレスが惹起する細胞分化の分子調節機構（基盤研究 C）

岡藤範正，中野敬介，富田美穂子，川上敏行，辻極秀次：骨髄幹細胞を用いた歯科矯正学的リモデリングの促進とその分子調節機構の解明（基盤研究 C）

落合隆永：ヘッジホッグ伝達変異に関連する頭蓋底軟骨結合形成不全の分子機構の解明（若手研究 B）

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

川上敏行，中野敬介，富田美穂子，村木英司，前田初彦，Siar CH：歯原性腫瘍の細胞分化における形態形成調節因子の解析

村岡理奈，川上敏行，中野敬介，山田一尋，松田浩和：歯科矯正治療によるメカニカルストレスが歯根膜組織に及ぼす傷害とその回復反応，および骨芽細胞分化への影響

落合隆永，古澤清文，中野敬介，長谷川博雅：口

腔粘膜境界悪性病変における遺伝子発現に関する研究

#### 歯科理工学講座

#### 論文発表

Nagasawa S, Yoshida T, Tamura K, Yamazoe M, Hayano K, Arai Y, Yamada H, Kasahara E and Ito M (2010) Construction of database for three-dimensional human tooth models and its ability for education and research-Carious tooth models-. Dent Mater J 29 : 132-7.

江頭有三，丸藤雅義，前川修一郎，田村 郁，吉田貴光（2010）インプラント材としてのチタンの熱処理温度と疲労破壊の関係。日本口腔インプラント誌 23 : 220-8.

#### その他の学術著作物

永沢 栄（2010）有限要素法。歯科材料・器械 29 : 309-12.

#### 学会発表

第23回歯科チタン学会 2010年2月

インプラント材としての Ti-6Al-4V 合金の変態温度と機械的性質の関係：土井和弘，田村 郁，吉田貴光，永沢 栄，伊藤充雄，宮沢裕夫（チタンと歯科臨床 8 : 37, 2010）

日本歯科理工学会（第55回）2010年4月

急速加熱型埋没材の加熱温度コントロールによる鑄造精度の向上：竹内 賢，永沢 栄，吉田貴光，田村 郁，河瀬雄治，山添正稔，伊藤充雄（歯科材料・器械 29 : 133, 2010）

表面処理したジルコニアインプラント材の機械的性質と溶出について：吉田貴光，山添正稔，田村 郁，溝口利英，柏原建記，永沢 栄，伊藤充雄（歯科材料・器械 29 : 139, 2010）

日本歯科保存学会（第132回）2010年5月

チタン材に接着した歯科用セメントの接着強さと熱膨張量の関係：河瀬雄治，吉田貴光，佐藤将洋，永沢 栄，伊藤充雄，内山真紀子，山本昭夫，笠原悦男（日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集132回：104, 2010）

松本歯科大学学会（第70回）2010年7月

咬合力によるインプラント体の疲労解析：永沢 栄，吉田貴光，山添正稔（松本歯学 36 : 178）

IADR General Session, Barcelona, Spain 2010年7月

Mechanical Properties of 2-Piece-Type Zirconia

Implants : Kawase Y, Yoshida T, Tamura K, Nagasawa S, Yamazoe M, Mizoguchi T, Kashiwabara T, Kasahara E and Ito M (Abstract USB memory)

Corrosion of combinations of titanium, Ti-6Al-4V implants, and dental alloys : Yamazoe M, Anraku T, Horiguchi K, Yoshida T, Tamura K, Nagasawa S and Ito M (Abstract USB memory)

Mechanical Properties and Dissolutions of Surface-Treated Zirconia Implant Materials : Yoshida T, Yamazoe M, Tamura K, Kawase Y, Takeuchi K, Mizoguchi T, Kashiwabara T, Nagasawa S and Ito M (Abstract USB memory)

日本口腔インプラント学会 (第40回) 2010年9月  
2ピース型ジルコニアインプラントの機械的性質について: 河瀬雄治, 吉田貴光, 山添正稔, 永沢栄, 伊藤充雄 (日本口腔インプラント学会誌 **23**: 278, 2010)

表面処理したインプラント用ジルコニアの機械的性質と溶出傾向について: 山添正稔, 安楽照男, 堀口浩治, 吉田貴光, 伊藤充雄 (日本口腔インプラント学会誌 **23**: 284, 2010)

インプラントにおける作業模型製作法のちがいに  
よる3次元的寸法精度の比較検討: 汲田健, 三溝恒幸, 吉田貴光, 山下秀一郎 (日本口腔インプラント学会誌 **23**: 307, 2010)

日本歯科理工学会 (第56回) 2010年10月

咬合力によるインプラント体の疲労解析: 永沢栄, 吉田貴光, 山添正稔, 河瀬雄治, 竹内賢 (歯科材料・器械 **29**: 408, 2010)

日本歯科保存学会 (第133回) 2010年10月

SAICAS法による歯科用セメントの接着強さ:  
河瀬雄治, 吉田貴光, 佐藤将洋, 永沢栄, 伊藤充雄, 内山真紀子, 山本昭夫, 笠原悦男 (日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集133回 114, 2010)

## 講演会

インプラント研究発表会 2010年10月

インプラント材料研究の現状と将来: 永沢栄

## 松本歯科大学推進研究費

永沢栄, 吉田貴光, 八上公利, 黒岩昭弘, 高橋直之: セラミックインプラントの構造設計

## 口腔衛生学講座

### 著書

柳沢茂 (分担執筆) (2010) 新予防歯科学, 第4版, 293-299, 医歯薬出版, 東京.

### 論文発表

安藤宏, 田所治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二 (2010) カエル舌の茸状乳頭におけるサブスタンスP免疫陽性神経線維 (その起源と神経化学マーカー物質との共存関係) 日本味と匂学雑誌 **17**: 243-6.

### その他の学術著作物

川原一郎, 小澤英浩 (2010) 破骨細胞ミトコンドリア顆粒と骨吸収活性. The BONE **24**: 313-7.

### 学会発表

第64回日本口腔科学会 2010年6月25日

Active hexose correlated compoundは炎症性サイトカインによるNO産生を抑制し間葉系幹細胞の骨芽細胞への初期分化を維持する: 八上公利, 西澤幹雄, 代田達夫, 三浦健人, 定岡直, 柳沢茂, 中村浩志 (日本口腔科学会雑誌, 第60巻1号: p113)

第21回甲信越北陸口腔保健研究会総会 2010年7月

ニコチン曝露によるストレスとクロモグラニンAの関連性について: 定岡直, 笠原香, 八上公利, 中根卓, 小口久雄, 柳沢茂 (日本口腔衛生学会雑誌 **61**: 79, 2010)

第5回信州公衆衛生学会総会・学術総会 2010年8月

ニコチン曝露によるストレスとクロモグラニンAの関連性についての報告: 定岡直, 笠原香, 八上公利, 中根卓, 小口久雄, 柳沢茂 (信州公衆衛生学会雑誌 **5**: 72-3, 2010)

第59回日本口腔衛生学会・学術総会 2010年10月

ヒト歯根膜線維芽細胞組織傷害因子とChromogranin Aの関連性について: 定岡直, 笠原香, 八上公利, 中根卓, 柳沢茂 (日本口腔衛生学会雑誌 **60**: 415, 2010)

アセチル化 $\alpha$ -グルカンは細菌性炎症による活性酸素産生を抑制し骨芽細胞の分化を促進する: 八上公利, 定岡直, 中根卓, 笠原香, 柳沢茂 (口腔衛生学会雑誌 **60**: 378, 2010)

第28回日本骨代謝学会, 2010年7月1日

AHCCは炎症性サイトカインによるNO産生を抑

制し間葉系幹細胞の骨芽細胞への初期分化を維持する：八上公利，西澤幹雄，代田達夫，三浦健人，柳沢 茂（日本骨代謝学会プログラム集：218）

日本味と匂学会 2010年9月

ウシガエル舌の茸状乳頭におけるサブスタンスP陽性線維：安藤 宏，田所 治，井上勝博，川原一郎，富田美穂子，浅沼直和，金銅英二

日本矯正歯科学会 2010年9月

歯の移動に伴うCD34陽性血管系幹細胞の歯根セメント質への分布変化：川原良美，山田一尋，川原一郎

歯科基礎医学会学会大会・総会 2010年9月

ウシガエル舌におけるニューロンの免疫組織化学的特徴：田所 治，安藤 宏，川原一郎，松浦幸子，富田美穂子，浅沼直和，宇都野 創，金銅英二（歯基礎雑誌 **52**(Suppl)：163）

松本歯科大学学会 2010年11月

カエル舌の茸状乳頭に分布する神経の免疫組織化学的研究：安藤 宏，田所 治，井上勝博，川原一郎，富田美穂子，浅沼直和，金銅英二

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

柳沢 茂，定岡 直，笠原 香，中根 卓，小口久雄，八上公利：ヒト歯根膜線維芽細胞傷害因子とChromogranin Aとの関連性について。

八上公利，中村浩志，中村美どり，寺本祐二，定岡 直：幾何構造理論による骨誘導能と永続的維持能を持つチタニウム繊維体を用いたインプラント体の開発。

#### 日本学術振興会科学研究費による研究

八上公利，柳沢 茂，中根 卓，定岡 直：糖尿病骨粗鬆症合併症に対する新規骨再生療法の開発（基盤研究（C））

#### 歯科保存学第1講座

#### 著 書

横井磯子，吉成伸夫（分担執筆）（2010）こんな事故が起こったらポケットブックトラブルvsリカバリー，第1版，106-111，デンタルダイヤモンド社，東京。

#### 論文発表

Yamaoka M, Ishizuka M, Ishihama K, Takahashi M, Takahashi M, Yamada H, Teramoto Y, Yasuda K, Shiba T, Uematsu T and Furusawa K (2010)

Bone formation without lamina dura in the middle-aged and elderly: possible dependence on enamel. Clin Interv Aging **5**: 37-43.

Usui Y, Uematsu T, Uchihashi T, Takahashi M, Takahashi M, Ishizuka M, Doto R, Tanaka H, Komazaki Y, Osawa M, Yamada K, Yamaoka M and Furusawa K (2010) Inorganic polyphosphate induces osteoblastic differentiation. J Dent Res **89**: 504-9.

Takahashi N, Muto A, Arai A and Mizoguchi T (2010) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. Adv Exp Med Biol **658**: 21-30.

Hishikawa T, Izumi M, Naitoh M, Furukawa M, Yoshinari N, Kawase H, Matsuoka M, Noguchi T and Arijji E (2010) The effect of horizontal X-ray beam angulation on the detection of furcation defects of mandibular first molars in intraoral radiography. Dentomaxillofac Radiol **39**(2): 85-90.

Arijji E, Taguchi A, Sakuma S, Miki M, Asawa T, Uchida K, Yoshinari N, Hiraiwa Y, Kise Y, Izumi M, Naitoh M, Katsumata A and Arijji E (2010) MR T2-weighted IDEAL water imaging for assessing changes in masseter muscles caused by low-level static contraction. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod **109**: 908-16.

#### その他学術著作物

吉成伸夫，有田博一，奥田一博，林 丈一朗，若林健史，古市保志（2010）日本歯周病学会認定医申請症例報告書の作成方法について。日歯周誌 **50**: 191-200.

三木 学，内田啓一，河合 悠，吉成伸夫，杉野紀幸，黒岩博子，藤木知一，長内 秀，望月慎恭，山田真一郎，田口 明（2010）根尖病変の診断治療にCone-Beam CTが有用であった1例。松本歯学 **36**: 129-33.

西窪結香，中島靖子，窪川恵太，吉成伸夫（2010）ライフワークとしての歯科衛生士像を考える-セルフケアが困難でありながらSupportive Periodontal Therapy (SPT)により歯周組織の改善が得られた症例を通して-。顎咬合誌 **30**: 236-44.（最優秀論文賞受賞論文）

#### 学会発表

NPO 法人日本歯科放射線学会第210回関東地方会 2010年1月

パノラマエックス線写真による若年者における骨粗鬆症予備軍の早期スクリーニング：田口 明，杉野紀幸，三木 学，香西雄介，黒岩博子，藤木



知一, 内田啓一, 吉成伸夫, 鹿島 勇

日本歯科放射線学会総会 (第51回) 2010年4月

PBL (Problem-based learning) 実習で引用された教科書の検証: 内田啓一, 長内 秀, 三木 学, 山田真一郎, 望月慎恭, 杉野紀幸, 黒岩博子, 藤木知一, 吉成伸夫, 田口 明

松本歯科大学病院来院患者のパノラマエックス線写真による歯科実態調査: 現存歯数と歯の状態についての検討: 山田真一郎, 内田啓一, 三木 学, 長内 秀, 望月慎恭, 杉野紀幸, 黒岩博子, 藤木知一, 田口 明, 吉成伸夫

日本歯周病学会春季学術大会 (第53回) 2010年5月

松本歯科大学病院来院患者のパノラマエックス線写真による現在歯数および歯槽骨の検討: 三木 学, 内田啓一, 山田真一郎, 窪川恵太, 坂本 浩, 河谷和彦, 吉成伸夫, 田口 明

The IADR 84th General Session & Exhibition Barcelona, Spain, 2010

Cell processing system for bone regeneration : Teramoto Y, Uematsu T, Takahashi M, Doto R, Niwa T, Shimodaira S, Uemura T, Sato M, Tahara H, Wakitani S, Udagawa N and Furusawa K

Tetraspanin influences cell migration and DPP IV gene expression : Niwa T, Uematsu T, Takahashi M, Li X, Nakazawa T, Sugiura T, Shirasuna K, Yamaoka M and Furusawa K

Antitumoral Immunity by OK-432-conjugated Tumor Vaccine in Mice Cancer Model : Li X, Uematsu T, Yang J, Takahashi M, Uchihashi T, Marukawa K, Akita D, Nakazawa T, Teramoto Y and Furusawa K

Inorganic polyphosphate accelerates mineralization in chondrogenic precursor cells : Takada M, Uematsu T, Takahashi M, Akita D and Furusawa K

松本歯科大学学会総会 (第70回) 2010年7月

PBL (Problem-based learning) 実習で引用された教科書についての検証: 長内 秀, 内田啓一, 三木 学, 山田真一郎, 望月慎恭, 杉野紀幸, 黒岩博子, 藤木知一, 吉成伸夫, 田口 明

松本歯科大学病院来院患者の60歳以上におけるパノラマエックス線写真による歯科実態調査: 山田真一郎, 内田啓一, 三木 学, 長内 秀, 望月慎恭, 杉野紀幸, 黒岩博子, 藤木知一, 田口 明, 吉成伸夫

日本癌学会学術総会 (第69回) 2010年9月

テトラスパニンは細胞遊走とDPPIV遺伝子ファミリーの発現を制御する: 丹羽 崇, 上松隆司, 高橋美穂, 中澤高志, 杉浦 剛, 古澤清文

日本歯周病学会秋季学術大会 (第53回) 2010年9月

急性歯周膿瘍に対する排膿散乃湯の効果: 王

宝禮, 吉成伸夫

骨縁下欠損に対するエナメルマトリックスタンパク質を応用した歯周組織再生療法5年経過症例の臨床的検討: 高須英成, 三谷章雄, 堀部智進, 永坂太郎, 古田英豊, 倉地美貴子, 久野真由美, 岡本晶生, 杉浦進介, 吉成伸夫, 伊藤正満, 惣ト響子, 川瀬仁史, 稲垣幸司, 石川和弘, 森田一三, 中垣晴男, 野口俊英

日本口腔科学会中部地方部会 (第53回) 2010年10月

顎骨再生を目的としたPlatelet Rich Plasma (PRP) 療法の実験的検討: 中澤高志, 上松隆司, 高橋美穂, 丹羽 崇, 吉成伸夫, 古澤清文

日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会 (第5回) 2010年10月

インプラント埋入後の歯肉退縮に対して審美的回復に苦慮した1症例: 高橋美穂, 三木 学, 日垣孝一, 田口 明, 吉成伸夫

ブランクコントロールにより改善が見られた薬物性歯肉増殖症の2症例: 武藤昭紀, 西田英作, 佐藤哲夫, 吉成伸夫

松本歯科大学第4学年歯周病学模型実習の学生アンケート分析: 海瀬聖仁, 河合 悠, 横井磯子, 山下祐司, 日垣孝一, 吉成伸夫

2009年度松本歯科大学病院歯周病科来院患者の実態調査: 河合 悠, 蛭江由季, 三澤美幸, 関口迪子, 藤田宗輝, 吉成伸夫

日本口腔外科学会総会・学術大会 (第55回) 2010年10月

CD 82/KAI-1 発現細胞における DPP gene family の変動: 丹羽 崇, 上松隆司, 高橋美穂, 中澤高志, 杉浦 剛, 古澤清文

American academy of periodontology in collaboration with the Japanese society of periodontology. Hawaii, Honolulu, 2010

Effect of atherosclerogenesis by SAA in ApoE deficient mice : Kubokawa K, Nishida E, Kamijyou H, Taguchi A and Yoshinari N

Properties of lip-closing force in healthy elderly-people : Kawai Y, Ishihara I, Masuda Y, Oishi M, Yamaguchi M, Nakatsuka K, Takamura T and Yoshinari N

Plaque removal efficacy of a sonic toothbrush in periodontal disease : Misawa M, Muto A, Ikegami N, Ebie Y, Nishikubo Y, Sekiguchi M, Okamoto N, Komatsu T and Yoshinari N

日本口腔組織培養学会 (第47回) 2010年11月

ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法: 高橋美穂, 上松隆司, 寺本祐二, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 中澤高志, 秋田大輔, 吉成伸夫

松本歯科大学学会総会 (第71回) 2010年11月

上顎前歯部インプラント埋入後に歯肉退縮を起こ

した1症例：三木 学，高橋美穂，中塚佑介，堂東亮輔，植松賢治郎，高橋弘太郎，田口 明，山下秀一郎，植田章夫，吉成伸夫

歯周基本治療により改善が見られた薬物性歯肉増殖症の2症例：海瀬聖仁，武藤昭紀，西田英作，佐藤哲夫，吉成伸夫

日本口腔インプラント学会中部支部総会・学術大会（第31回）2010年11月

多血小板血漿（PRP）を併用した培養骨髄間葉系細胞移植による骨再生療法の確立-PRP中のサイトカイン量と細胞増殖に対する作用の検討-：丹羽崇，上松隆司，高橋美穂，寺本祐二，中澤高志

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

高橋美穂，中澤高志，上松隆司，八上公利，近藤隆行，丸川和也：血小板由来増殖因子を用いた骨再生医療の基礎的研究，50万円

西田英作，上松隆司，吉成伸夫，窪川恵太，藤田宗輝，高橋美穂：血管内皮細胞を用いたアテローム性動脈硬化発症におけるSAAの機能解析，85万円

武藤昭紀，荒井 敦，小出雅則，吉成伸夫，宇田川信之：歯周病モデルマウスにおける静止期破骨前駆細胞（QOP）の動態の解析，40万円

窪川恵太，川上敏行，中野敬介，吉成伸夫，西田英作，武藤昭紀：急性反応性タンパク血清アミロイドAを介した歯周病と動脈硬化症発症の検討，65万円

三木 学，田口 明，吉成伸夫，内田啓一，西田英作，窪川恵太：咬合性外傷のMRIによる評価のための基礎研究，30万円

田口 明，吉成伸夫，宇田川信之，杉野紀幸，三木 学：磁気共鳴撮像法（MRI）におけるIDEALを用いた成人の下顎骨骨髄信号の基準値策定に関する研究：40万円

柳沢 茂，定岡 直，八上公利，高橋直之，吉成伸夫：受動喫煙時の歯周組織細胞が産生するクロモグラニンAについて，40万円

中澤高志，高橋美穂，近藤隆行，八上公利，上松隆司，李 憲起：骨髄間葉系幹細胞を用いた末梢神経再生医療の基礎的研究，30万円

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

吉成伸夫：Serum amyloid Aを介した歯周病による動脈硬化症悪化程度の解明（基盤研究C）

高橋美穂：癌転移抑制因子CD82による癌細胞の細胞間接着機構の解析と臨床応用（若手研究B）

武藤昭紀：静止期破骨細胞前駆細胞（QOP）を用いた歯周病動態の解析（若手スタートアップ）

田口 明，吉成伸夫，東 幸仁：梗塞性心臓血管疾患リスク患者の早期スクリーニングのための口腔

衛生指標の開発（基盤研究C）

李 憲起，高橋美穂：口腔癌に対する腫瘍免疫療法法の確立-OK432重合腫瘍ワクチンによる抗腫瘍（基盤研究C）

#### 歯科保存学第2講座

#### 論文発表

Uchiyama M，Anzai M，Yamamoto A，Uchida K，Kawase U，Sato M，Utsuno H and Kasahara E（2010）Root canal anatomy of the 236 mandibular canines. *Matsumoto Shigaku* **36**：107-14.

佐藤将洋，河瀬雄治，齋藤喜久，鍋山篤史，内山真紀子，安西正明，音琴淳一，山本昭夫，笠原悦男（2010）アナターゼ型二酸化チタンの光触媒作用の解析. *日歯保誌* **53**：619-26.

秋山麻沙子，黒岩昭弘，松山雄喜，内山真紀子，溝上真也，谷内秀寿，山本昭夫，音琴淳一，藤森茂治，笠原悦男（2010）審美修復におけるレジシメントの色調の研究-試験片の厚さが色調に及ぼす影響-. *日本顎咬合学会誌* **30**：196-201.

鷹股哲也，橋井公三郎，山木貴子，中村貴美，加藤優美子，安西正明，正村正仁，岡田芳幸（2010）マウスガード材の粘弾性特性と衝撃減衰能に関する基礎的研究. *スポーツ歯学* **13**：60-9.

#### 学会発表

日本歯科保存学会・春季学会（第133回）2010年6月

アナターゼ型二酸化チタンの光触媒作用（第3報）：佐藤将洋，河瀬雄治，安西正明，山本昭夫，笠原悦男

日本歯科保存学会・春季学会（第133回）2010年6月

チタン材に接着した歯科用セメントの接着強さと熱膨張量の関係：河瀬雄治，佐藤将洋，内山真紀子，安西正明，山本昭夫，笠原悦男，吉田貴光，永沢栄，伊藤充雄

日本スポーツ歯科医学会・学術大会（第21回）2010年7月

マウスガード材の衝撃荷重時の反発性能に関する実験的研究-高速度カメラによる動体解析-：鷹股哲也，橋井公三郎，岡田芳幸，中村貴美，加藤優美子，安西正明，正村正仁

日本歯科保存学会・秋季学会（第134回）2010年10月

アナターゼ型二酸化チタンの光触媒作用（第4報）：佐藤将洋，河瀬雄治，内山真紀子，安西正明，山本昭夫，笠原悦男

日本歯科保存学会・秋季学会（第134回）2010年10月

SAICAS法による歯科用セメントの接着強さ：  
河瀬雄治，佐藤将洋，内山真紀子，安西正明，山本昭夫，笠原悦男，吉田貴光，永沢 栄

### 歯科補綴学第1講座

#### 論文発表

秋山麻沙子，黒岩昭弘，松山雄喜，内山真紀子，溝上真也，谷内秀寿，山本昭夫，音琴淳一，藤森茂治，笠原悦男：審美修復におけるレジンセメントの色調の研究 - 試験片の厚さが色調に及ぼす影響 - . 日本顎咬合学会誌 咬み合わせの科学 **30**：196-201.

谷内秀寿，黒岩昭弘，松山雄喜，内山真紀子，秋山麻沙子，溝上真也，音琴淳一，山本昭夫，藤森茂治，笠原悦男：各種人工歯が口蓋の容積に及ぼす影響。日本顎咬合学会誌 咬み合わせの科学 **30**：206-12.

#### 学会発表

日本歯科医学教育学会総会・学術大会（第29回）2010年7月

医療面接評価者養成方法によるスキル向上の比較：音琴淳一，倉澤郁文，岡藤範正，黒岩昭弘，山本昭夫（プログラム・抄録集 p85）

総合歯科医療に関する学術研究セミナー2010 2010年10月

松本歯科大学および松本歯科大学病院における一般歯科教育：音琴淳一，倉澤郁文，黒岩昭弘，山本昭夫，宮沢裕夫（プログラム・抄録集 p11）

日本補綴歯科学会学術大会・総会（第119回）2010年6月

パウンドラインにおける前方基準点が臼歯部人工歯の位置に及ぼす影響-：松山雄喜，黒岩昭弘，酒匂充夫，宇田 剛，高村貴仁，山口育子，加藤智行，才田真吾，中村雄貴，真野富士子，宮原大地，谷内秀寿，緒方 彰

歯科基礎医学会学術大会（第52回）2010年9月

空気曝露による *P. gingivalis* SOD の発現量の变化：小町谷美帆，平井 要，三原正志，大澤雅樹，菊池有一郎，黒岩昭弘，山田一尋，平岡行博（*J Oral Biosci* 第52巻 抄録集 p.185）

日本分子生物学会年会（第32回），日本生化学会大会（第83回）合同年会 2010年12月

歯周病原菌 SOD 発現量の酸化ストレスによる変化：三原正志，小町谷美帆，大澤雅樹，山倉文幸，平井 要，菊池有一郎，茂木真希雄，山田一尋，黒岩昭弘，平岡行博（学会プログラム p.329）

### シンポジウム

日本顎咬合学会学術大会・総会（第28回）2010年6月

人工歯の排列位置を再考する=脱 歯槽頂間線，顎堤の状態をどう捉えるか=：黒岩昭弘（第28回日本顎咬合学会学術大会・総会講演抄録集：30，2010）

#### 文部省科学研究費補助金による研究

山口正人：高齢者における口唇機能の重要性と補綴治療がこの機能に与える影響（若手研究B）

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

平岡行博，大澤雅樹，小町谷美帆，三原正志：*P. gingivalis* スーパーオキシドジスムターゼの金属寛容性を発現するアミノ酸残基の検討

### 歯科補綴学第2講座

#### 論文発表

Nakatsuka Y，Yamashita S，Nimura H，Mizoue S，Tsuchiya S and Hashii K（2010）Location of main occluding areas and masticatory ability in patients with reduced occlusal support. *Austr Dent J* **55**：45-50.

溝上真也，山下秀一郎，橋井公三郎，中塚佑介（2010）咀嚼側の違いが下顎の咀嚼運動経路に及ぼす影響。日補綴歯誌 **2**：78-87.

三溝恒幸，橋井公三郎，山下秀一郎（2010）6自由度顎運動測定機のクラッチの改良とその精度について。日口腔顔面技工誌 **10**：16-20.

山下秀一郎，中塚佑介，谷川雄一，吉田貴光（2010）チタン製インプラントにおけるアバットメントスクリュー破折の1症例。松本歯学 **36**：16-22.

野々田 太，内田啓一，藤崎 昇，土屋総一郎，浅輪貴行，上原大輔，長谷川順一，山下秀一郎（2010）歯科用デジタルエックス線撮影における背景の写りこみによるエラー像 - イメージングプレート取り扱い上の注意事項 - . 松本歯学 **36**：120-8.

山下秀一郎（2010）下顎臼歯部における咬合の再建にインプラントを用いた1症例。日口腔インプラント誌 **23**：757-8.

#### 学会発表

日本補綴歯科学会学術大会（第119回）2010年6月  
プロセスモデルにおける Stage II transport と咀嚼回数との関係：杉田乃亮，松尾浩一郎，山下秀一郎

International Association for Dental Research (88th General Session), July, 2010

Newly-designed gustatory test based on the progress of mastication : Kasahara T, Tomida M, Asanuma N and Yamashita S

Location of main occluding areas and masticatory ability : Nakatsuka Y, Tanigawa Y, Yamashita S, Hashii, K and Kasahara T

日本口腔インプラント学会学術大会 (第40回) 2010年9月

インプラントにおける作業模型製作法の違いによる3次元寸法精度の比較検討: 汲田 健, 三溝恒幸, 吉田貴光, 山下秀一郎

Biennial Conference of EAOM Incorporating the World Workshop on Oral Medicine (10th), September, 2010

Effects of oral function on pain perception : Nakamura T, Tomida M, Yamashita S, Otsuka T, Onozuka M, Ando H and Asanuma N

歯科基礎医学会学術大会 (第52回) 2010年9月

モルモットにおける睡眠中の咬筋・顎二腹筋バーストの特性: 中村典正, 加藤隆史, 足立忠文, 山下秀一郎, 森本俊文, 増田裕次

松本歯科大学学会 (第71回) 2010年11月

上顎前歯部インプラント埋入後に歯肉退縮を起こした1症例: 三木 学, 高橋美穂, 中塚佑介, 堂東亮輔, 植松賢治郎, 高橋弘太郎, 田口 明, 山下秀一郎, 植田章夫, 吉成伸夫

抜歯を余儀なくされた非定型歯痛の一例: 金銅英二, 山下秀一郎, 丹羽 萌, 澁谷 徹, 前島信也, 窪田裕一

平成22年度日本補綴歯科学会東海支部学術大会

睡眠時無呼吸患者の呼吸イベント後の覚醒応答に対する筋活動の発現様相について: 片瀬剛士, 加藤隆史, 谷口充孝, 杉田淑子, 山下秀一郎

MRIを用いた主機能部位の3次元的位置の測定: 加藤 潤, 山下秀一郎, 田口 明

日本顎顔面インプラント学会学術大会 (第14回) 2010年12月

再生不良性貧血患者のデンタルインプラントを除去した一例: 寺本祐二, 上松隆司, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 中澤高志, 秋田大輔, 山下秀一郎, 古澤清文, 植田章夫

三叉神経感覚-運動統合機能研究会 (第4回) 2010年11月

モルモットにおける睡眠中の開閉口筋バースト活動の特性について: 中村典正, 加藤隆史, 足立忠文, 金山隼人, 森本俊文, 増田裕次

永久前歯被蓋完成初期における多方位口唇閉鎖力-その口唇形態や前歯部被

蓋との関連: 大石めぐみ, 足立忠文, 中村典正, 金山隼人, 増田裕次

松本歯科大学推進研究費による研究

山下秀一郎: プロセスモデルにおける Stage II transport と咀嚼回数との関係について

笠原隼男: 咀嚼を指標とした新たな味覚検査法の検討

中村典正: モルモットにおける睡眠中の咬筋・顎二腹筋バーストと顎運動の定量的解析

加藤 潤: MRIを用いた主機能部位の三次元的位置に関する研究

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

片瀬志穂: 非機能的な口腔顔面運動の発生を変動させる要因とその相互作用の解明 (若手研究 B)

#### 口腔顎顔面外科学講座

#### 著 書

上松隆司, 古澤清文: 顎顔面の外傷. 白砂兼光, 古郷幹彦 (編), 口腔外科学, 第3版, pp85-124, 医歯薬出版, 東京, 2010

高橋昌宏, 古澤清文: 歯科におけるくすりの使い方 2011-2014. デンタルダイアモンド社. 金子明寛, 椎木一雄, 天笠光雄ら (編) (分担執筆 P156-8), 2010

#### 論文発表

Yamaoka M, Ishizuka M, Ishihama K, Takahashi M, Takahashi M, Yamada H, Teramoto Y, Yasuda K, Shiba T, Uematsu T and Furusawa K (2010) Bone formation without lamina dura in the middle-aged and elderly: possible dependence on enamel. Clin Interv Aging **5**: 37-43.

Usui Y, Uematsu T, Uchihashi T, Takahashi M, Takahashi M, Ishizuka M, Doto R, Tanaka H, Komazaki Y, Yamada K, Yamaoka M and Furusawa K (2010) Inorganic polyphosphate induces osteoblastic differentiation. J Dent Res **89**: 504-9.

Zhao E, Li X, Wang J, Yang J, Uematsu T and Furusawa K (2010) Immunohistochemical localization of aquaporin-6 and aquaporin-5 in the human submandibular gland. J Modern Stomatol **24**: 370-2.

小笠原慶一, 石濱孝二, 岡山政樹, 安田浩一, 澁谷 徹, 内藤幸子, 宮沢裕夫, 古澤清文 (2010) 松本歯科大学病院における夜間・休日緊急歯科診療の現状. 松本歯学 **36**: 87-92.

丹羽 崇, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 高田

匡基, 丸川和也, 松尾浩一郎, 武田龍太郎, 前島信也, 古澤清文 (2010) 下顎歯肉と食道に発生した同時性重複癌の1例. 松本歯学 36: 7-15.

李憲起, 王金濤, 趙二軍, 楊靜, 上松隆司, 古澤清文 (2010) 導管嚢胞を伴った耳下腺組織におけるアクアポリンの局在. 松本歯学 36: 115-9.

岸本英子, 薄井陽平, 駒崎佑介, 上松隆司, 古澤清文, 山田一尋 (2010) 松本歯科大学病院矯正歯科における顎変形症患者の臨床統計的検討. Orthodontic Waves-Japanese Edition 69: 118-25.

落合隆永, 中野敬介, 木村晃大, 相澤聡一, 福沢正人, 上松隆司, 古澤清文, 川上敏行, 長谷川博雅 (2010) 口腔粘膜病変における液状化細胞診の検討. 松本歯学 36: 193-8.

宮下みどり, 石濱孝二, 山田由紀, 古澤清文 (2010) 外傷を契機に診断された埋伏過剰歯を伴う鼻口蓋管嚢胞の1例. 日本口腔診断学会雑誌 第23巻 第23号.

丹羽 崇, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 高田匡基, 丸川和也, 松尾浩一郎, 武田龍太郎, 前島信也, 古澤清文 (2010) 下顎歯肉と食道に発生した同時性重複癌の1例. 松本歯学 36: 115-9.

### 学会発表

第14回口腔顔面神経機能学会 (大阪)

上顎骨に対する外科手術後の感覚異常について: 伊藤香那, 中山洋子, 小笠原慶一, 梅村哲弘, 安田浩一, 古澤清文

第9回日本再生医療学会総会 (広島) 3月19日

Cell Processing Center を利用した骨再生療法の確立: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 下平滋隆, 脇谷滋之, 中村美どり, 八上公利, 宇田川信之, 古澤清文

第64回日本口腔科学会学術集会 (札幌) 6月24-25日

三叉神経中脳路核におけるサブスタンス P 陽性軸索終末の超微細構造の検討: 伊藤香那, 中山洋子, 小笠原慶一, 石濱孝二, 安田浩一, 古澤清文

第64回日本口腔科学会学術集会 (札幌) 6月24-25日

下顎智歯抜去における下歯槽神経臼歯枝損傷の可能性について: 山田高久, 石濱孝二, 安田浩一, 中山洋子, 梅村哲弘, 山田秀史, 宮下みどり, 伊藤香那, 古澤清文

The IADR 84th General Session & Exhibition Barcelona, Spain

Alpha-N-acetylgalactosaminidase is a candidate immunosuppressive factor in cancer patients: Uematsu T, Doto R, Ishizuka M, Niwa T, Marukawa K and Furusawa K

The IADR 84th General Session & Exhibition Barcelona, Spain

Cell processing system for bone regeneration: Teramoto Y, Uematsu T, Takahashi M, Doto R, Niwa T, Shimodaira S, Uemura T, Sato M, Tahara H, Wakitani S, Udagawa N and Furusawa K

The IADR 84th General Session & Exhibition Barcelona, Spain

Tetraspanin influences cell migration and DPP IV gene expression: Niwa T, Uematsu T, Takahashi M, Li X, Nakazawa T, Sugiura T, Shirasuna K, Yamaoka M and Furusawa K

The IADR 84th General Session & Exhibition Barcelona, Spain

Antitumoral Immunity by OK-432-conjugated Tumor Vaccine in Mice Cancer Model: Li X, Uematsu T, Yang J, Takahashi M, Uchihashi T, Marukawa K, Akita D, Nakazawa T, Teramoto Y and Furusawa K

The IADR 84th General Session & Exhibition Barcelona, Spain

Inorganic polyphosphate accelerates mineralization in chondrogenic precursor cells: Takada M, Uematsu T, Takahashi M, Akita D and Furusawa K

The IADR 84th General Session & Exhibition Barcelona, Spain

Therapeutic potential of inorganic polyphosphate in periodontitis: Ishizuka M, Uematsu T, Tanaka H, Iguchi K and Furusawa K

第83回日本整形外科学会学術総会 (東京)

臨床への橋渡し研究の現況 関節軟骨・骨・椎間板 (ヒト幹細胞指針以前) 骨髄間葉系細胞移植による骨軟骨修復: 脇谷滋之, 堀部秀二, 加藤博之, 大串 始, 上松隆司, 宇田川信之

第27回日本骨代謝学会学術集会 (大阪)

ポリリン酸は骨芽細胞前駆細胞と軟骨前駆細胞の分化を誘導し石灰化を促進する: 内橋隆行, 上松隆司, 高田匡基, 薄井陽平, 道上敏美, 山岡 稔, 古澤清文

第70回松本歯科大学学会 (総会) NEURO (神戸) 9月3日

松本歯科大学における10年間の初診患者の推移: 宮下みどり, 安田浩一, 石濱孝二, 中山洋子, 古澤清文

NEURO (神戸) 9月3日

胎生期における NMDA, non-NMDA 受容体拮抗薬投与と生後ラットの顎口腔機能の行動学的影響について: 岡山政樹, 石濱孝二, 安田浩一, 中山洋子, 梅村哲弘, 山田秀史, 下地茂弘, 山田高久, 伊藤香那, 古澤清文

第40回日本口腔インプラント学会学術大会総会

(北海道) 9月18日  
培養骨髄間葉系細胞を骨再生療法に適用するための基礎的研究：寺本祐二，上松隆司，丹羽 崇，八上公利，宇田川信之

第53回日本口腔科学会中部地方部会（富山）10月2日

下顎智歯抜去時の下歯槽神経臼歯枝損傷の可能性：山田高久，石濱孝二，安田浩一，中山洋子，梅村哲弘，山田秀史，宮下みどり，伊藤香那，古澤清文

顎骨再生を目的とした Platelet Rich Plasma (PRP) 療法の実験的検討：中澤高志，上松隆司，高橋美穂，丹羽 崇，吉成伸夫，古澤清文

第55回日本口腔外科学会（幕張）10月16-17日

口腔扁平上皮癌患者の頸部リンパ節転移の評価：秋田大輔，上松隆司，田中三貴子，高田匡基，中澤高志，丹羽 崇，長谷川博雅，古澤清文

第55回日本口腔外科学会（幕張）10月16-17日

CD82/KAI-1 発現癌細胞における DPP4 gene family の変動：丹羽 崇，上松隆司，高橋美穂，中澤高志，杉浦 剛，古澤清文

第55回日本口腔外科学会（幕張）10月16-17日

ポリリン酸の軟骨前駆細胞に対する作用：高田匡基，上松隆司，秋田大輔，古澤清文

培養自己骨髄間葉系細胞移植による上顎洞底挙上術を行った2症例：寺本祐二，上松隆司，丹羽 崇，高田匡基，丸川和也，中澤高志，秋田大輔，古澤清文

第55回日本口腔外科学会（幕張）10月16-17日

シンバスタチンによるインプラント体周囲の骨形成作用：李 憲起，上松隆司，古澤清文

第55回日本口腔外科学会（幕張）10月16-17日

Prevotella nigrescence のヘモグロビンからの鉄獲得の可能性について：宮下みどり，安田浩一，古澤清文

第55回日本口腔外科学会（幕張）10月16-17日

ラット三叉神経運動核におけるシナプス関連タンパクの発現について：岡山政樹，石濱孝二，安田浩一，中山洋子，梅村哲弘，山田秀史，下地茂弘，山田高久，伊藤香那，古澤清文

第48回日本癌治療学会学術集会（京都）

頸部リンパ節に洞組織球症を伴った口腔・食道重複癌の1例：丹羽 崇，上松隆司，高田匡基，丸川和也，秋田大輔，近藤隆行，中澤高志，松尾浩一郎，武田龍太郎，前島信也，長谷川博雅，古澤清文

第69回日本癌学会学術総会（大阪）

テトラスパニンは細胞遊走と DPPIV 遺伝子ファミリーの発現を制御する：丹羽 崇，上松隆司，高橋美穂，中澤高志，杉浦 剛，古澤清文

第11回信州口腔外科談話会 11月

口腔乾燥症に対するポリリン酸含有口腔保湿剤の有用性：小野裕輔，上松隆司，上田青海，李 憲起，石塚正英，高田匡基，丹羽 崇，丸川和也，秋田大輔，中澤高志，古澤清文

第14回日本顎顔面インプラント学会（浦安）12月5日

再生不良性貧血患者のデンタルインプラントを除去した1例：寺本祐二，上松隆司，堂東亮輔，高橋美穂，丹羽 崇，高田匡基，丸川和也，古澤清文

第14回日本顎顔面インプラント学会（浦安）12月5日

ヒト培養自己骨髄間葉系細胞を用いた骨造成：上松隆司

第47回日本口腔組織培養学会（高知）

ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法：高橋美穂，上松隆司，寺本祐二，丹羽 崇，高田匡基，丸川和也，中澤高志，秋田大輔，吉成伸夫

第31回日本口腔インプラント学会 中部支部総会・学術大会（四日市）

多血小板血漿（PRP）を併用した培養骨髄間葉系細胞移植による骨再生療法の確立-PRP 中のサイトカイン量と細胞増殖に対する作用の検討-：丹羽 崇，上松隆司，高橋美穂，寺本祐二，中澤高志

日本口腔科学会学会賞優秀発表賞 第64回日本口腔科学会

三叉神経中脳路核におけるサブスタンス P 陽性軸索終末の超微細構造の検討：伊藤香那，中山洋子，小笠原慶一，石濱孝二，安田浩一，古澤清文

下顎智歯抜去における下歯槽神経臼歯枝損傷の可能性について：山田高久，石濱孝二，安田浩一，中山洋子，梅村哲弘，山田秀史，宮下みどり，伊藤香那，古澤清文

## その他

上松隆司：学術投稿/睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome：SAS）：松歯 **367**：7-9，2010.

上松隆司：学術投稿/口腔癌：松歯 **368**：5-6，2010.

上松隆司：学術投稿/金属アレルギー：松歯 **369**：4-6，2010

上松隆司：学術投稿/口腔乾燥症：松歯 **370**：5-7，2010

上松隆司：学術投稿/抗血栓療法患者に対する歯科処置：松歯 **371**：5-7，2010

上松隆司：学術投稿/歯科用小照射野エックス線CTの応用：松歯 **372**：5-7，2010

上松隆司：学術投稿/PK/PD 理論による抗菌薬の使い方：松歯 **373**：5-7，2010

上松隆司：学術投稿/歯の移植：松歯 **377**：5-7，2010

上松隆司：学術投稿/下顎埋伏智歯の抜去：松歯 **378**：6-7，2010.

## 歯科矯正学講座

## 著 書

山田一尋 (分担執筆) (2010) 矯正治療患者の機能評価のガイドライン In: 顎口腔機能評価のガイドライン, 111-44, 日本顎口腔機能学会, 東京

Kawakami T, Nakano K, Shimizu T, Watanabe T, Muraoka R, Kimura A and Hasegawa H (2010) Immunohistochemical basis for orthodontic treatment. Fuchs S and Auer M ed. *Biochemistry and Histochemistry Research Developments*. Chapter 6 · 117-141, Nova Science Publishers, Inc, New York, USA.

## 論文発表

Usui Y, Uematsu T, Uchihashi T, Takahashi M, Takahashi M, Ishizuka M, Doto R, Tanaka H, Komazaki Y, Osawa M, Yamada K, Yamaoka M and Furusawa K (2010) Inorganic polyphosphate induces osteoblastic differentiation, *J Dent Res* **89** : 504-9.

Yashin H, Yamada K, Asahito T, Ono K, Saito T, Takagi R and Saito I (2010) The effects of timing of secondary alveolar bone graft on craniofacial morphology in patients with unilateral cleft lip and alveolus. *Niigata Dent J* **40** : 153-60.

Utsuno H, Kageyama T, Uchida K, Yoshino M, Oohigashi S, Miyazawa H and Inoue K (2010) Pilot study of facial soft tissue thickness differences among three skeletal classes in Japanese females. *Forensic Sci Int* **25** : 195(1-3) : 165.e1-5.

Utsuno H, Kageyama T, Uchida K, Yoshino M, Miyazawa H and Inoue K (2010) Facial soft tissue thickness in Japanese children. *Forensic Sci Int* **15** : 199(1-3) : 109.e1-6.

Kanayama H, Masuda Y, Adachi T, Arai Y, Kato T and Morimoto T (2010) Temporal alteration of chewing jaw movements after a reversible bite-raising in guinea pigs. *Arch Oral Biol* **55** : 89-94.

Kato T, Masuda Y, Kanayama H, Nakamura N, Yoshida A and Morimoto T (2010) Heterogeneous activity level of jaw-closing and-opening muscles and its association with arousal levels during sleep in the guinea pig. *Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol* **298** : R34-42.

Takahashi N, Muto A, Arai A and Mizoguchi T (2010) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. *Adv Exp Med Biol* **658** : 21-30.

Osawa M, Mihara M, Kikuchi Y, Okubo Y, Yamada K, Hirai K and B.Hiraoka Y (2010) Immunoassay based on a polyclonal antibody for the quantification of *Porphyromonas gingivalis* SOD : a preliminary report. *松本歯学* **36** : 1-6.

Osawa M, Yamakura F, Mihara M, Okubo Y, Yamada K and B.Hiraoka Y (2010) Conversion of the metal-specific activity of *Escherichia coli* Mn-SOD by site-directed mutagenesis of Gly 165 Thr. *Biochimica et Biophysica Acta* **1804** : 1775-9.

Muraoka R, Nakano K, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (2010) Immunohistochemical expression of Heat Shock Proteins in the mouse periodontal tissues due to orthodontic mechanical stress. *Eur J Med Res* **15** : 475-82.

Matsuda H, Nakano K, Muraoka R, Tomoda M, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (2010) BMPs and related factors appearing in the mouse periodontal tissues due to orthodontic mechanical stress. *J Hard Tissue Biol* **19** : 153-60.

Moriyama K, Watanabe S, Iida M and Sahara N (2010) Plate-like permanent dental laminae of upper jaw dentition in adult gobiid fish, *Sicyopterus japonicus*. *Cell Tissue Res* **340** : 189-200.

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Chong Huat Siar and Kawakami T (2010) Possibility of odontoblasts activity up-regulation due to orthodontic mechanical stress in mice. *J Hard Tissue Biol* **19** : 13-6.

岸本英子, 薄井陽平, 駒崎佑介, 上松隆司, 古澤清文, 山田一尋 (2010) 松本歯科大学病院矯正歯科における顎変形症患者の臨床統計的検討. *Orthodontic Waves-Japanese Edition* **29** : 118-25.

大石めぐみ, 足立忠文, 安富和子, 中塚久美子, 山田一尋, 増田裕次 (2010) 永久前歯被蓋完成初期における多方位口唇閉鎖力(I) その特性と体格・体力との関連. *日本顎口腔機能学会雑誌* **17** : 11-21.

時崎匡史, 奥村雅代, 大木絵美, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 宇都野 創, 田所 治, 金銅英二 (2010) 下歯槽神経切断モデルラットにおける三叉神経節非損傷神経の遺伝子発現動態解析 感覚異常発生との関連. *松本歯学* **36** : 93-106.

## その他の学術著作物

山田一尋 (2010) 研究室訪問 27. 市民タイムズ : 2010年10月7日号, 松本

山田一尋 (2010) 口蓋裂患者の口唇力「一般とほぼ同じ」医療タイムズ : 2010年4月20日2391号

影山 徹 (2010) 上下顎前歯の歯軸改善により頤部および口唇の著しい筋緊張を改善した上下顎前突症例. (セミナー報告) 甲北信越矯正歯科学会雑誌 **18**

(1) : 24-7.

堂東正輔 (2010) 前歯部反対咬合を伴う成人骨格性下顎前突を SMAP を用い非抜歯で治療した症例。アレキサンダー研究会誌 **25** : 34-9.

### 学会発表

The 2nd International Conference on Orthodontic Treatment 2010年4月

Morphological changes of the temporomandibular joint after SSRO in skeletal Class III with mandibular deviation. Kageyama T, Enami K, Komazaki Y and Yamada K (The 2nd International Conference on Orthodontic Treatment Program : 57, 2010)

日本口蓋裂学会 (第34回) 2010年5月

松本歯科大学病院矯正科における Goslon Yardstick を用いた上下顎歯列弓の咬合評価 : 荒井 敦, 倉田和之, 大澤雅樹, 富永憲俊, 金沢昌律, 朝日藤寿一, 渡邊直子, 斎藤 功, 山田一尋 (日口蓋裂誌 **35**(2) : 161, 2010)

片側性口唇口蓋裂患者における矯正歯科治療に関するアンケート調査 動的治療後の多施設共同研究 : 長濱浩平, 須佐美隆史, 朝日藤寿一, 幸地省子, 坂本輝雄, 倉田和之, 石渡靖夫, 高戸 毅, 齋藤 功 (日本口蓋裂学会雑誌 **35**(2) : 157, 2010)

甲北信越矯正歯科学会大会 (第25回) 2010年6月  
骨格性下顎前突症における下顎枝矢状骨切り術後の顎関節の形態変化について : 枝並宏治, 影山 徹, 田口 明, 古澤清文, 山田一尋 (第25回甲北信越矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 25, 2010)

甲北信越矯正歯科学会大会 (第25回) 2010年6月  
症例展示

上下顎前歯部叢生を伴う骨格性Ⅱ級症例 : 大澤雅樹 (第25回甲北信越矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 37, 2010)

The 88th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (Spain) 2010年7月

Quantitative analysis on effects of aging on orthodontic tooth movement. Kageyama T, Moriyama K, Shimizu M, Kageyama Y, Yamada K and Sahara N (The 88th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research Programbook : 71, 2010)

Effects of limitation to jaw movements on occlusal vertical dimension. Kanayama H, Kato T, Adachi T, Yamada K, Masuda Y and Morimoto T (The 88th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research Programbook : 165, 2010)

日本矯正歯科学会大会 (第69回) 2010年9月

加齢に伴う歯根膜組織の改造活性と矯正的歯の移動量との関係について : 影山 徹, 森山敬太, 清水麻里子, 影山康子, 山田一尋, 佐原紀行 (第69回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 189, 2010)

松本歯科大学病院における矯正治療に対する意識調査 : 影山康子, 大鶴次郎, 影山 徹, 倉田和之, 大澤雅樹, 山田一尋 (第69回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 219, 2010)

上下口唇閉鎖力のバランスと側面顎顔面形態との関連性 : 村上円郁, 中塚久美子, 金澤昌律, 水野瑠莉香, 増田裕次, 山田一尋 (第69回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 154, 2010)

口唇閉鎖力と正面顎顔面形態の関連 : 水野瑠莉香, 荒井 敦, 薄井陽平, 金澤昌律, 村上円郁, 中塚久美子, 増田裕次, 山田一尋 (第69回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 155, 2010)

慢性歯周炎患者におけるインターロイキン13遺伝子の一塩基多型解析 : 駒崎佑介, 今村泰弘, 王宝禮, 山田一尋 (第69回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 190, 2010)

口唇閉鎖力, 舌圧と顎顔面形態の関連性について [第2報] : 堂東正輔, 山田一尋 (第69回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 141, 2010)

偏位を伴う骨格性下顎前突患者における顎運動と筋活動の協調性 : 富永憲俊, 金澤昌律, 竹尾健吾, 金山隼人, 山田一尋 (第69回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 252, 2010)

ピーナッツを用いた咀嚼機能と顔面形態および口腔機能との関係 : 金澤昌律, 村上円郁, 富永憲俊, 金山隼人, 松尾浩一郎, 河野正司, 山田一尋 (第69回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 164, 2010)

歯科矯正力が惹起する HSP27 のマウス歯根膜細胞における局在変化 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (第69回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 178, 2010)

メカニカルストレスにより惹起されるマウス歯根膜細胞における BMPs とその関連因子 : 松田浩和, 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (第69回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 180, 2010)

歯科基礎医学会 (第52回) 2010年9月

空気暴露による *P.gingivalis* SOD の発現量の変化 : サンドイッチ型 ELISA 法の確立 : 小町谷美帆, 平井 要, 三原正志, 大澤雅樹, 菊池有一郎, 黒岩昭弘, 山田一尋, 平岡行博 (Journal of Oral Bioscience Volume **51** : 185, 2010)

硬組織再生生物学会学術大会・総会 (第19回) 2010年9月

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜組



織における HSP の発現変化：村岡理奈，中野敬介，松田浩和，岡藤範正，栗原三郎，山田一尋，川上敏行（硬組織再生生物学会学術大会・総会プログラム・抄録集：48，2010）

メカニカルストレスにより惹起されるマウス歯根膜細胞における BMPs：松田浩和，村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（硬組織再生生物学会学術大会・総会プログラム・抄録集：49，2010）

10th Congress of European Association of Oral Medicine 2010年9月

HSP expression as recovery reaction in orthodontic periodontal tension sides：Muraoka R, Nakano K, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (Oral Disease 16：529)

Runx2 expression in dental pulp due to orthodontic mechanical stress：Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar SH and Kawakami T (Oral Disease 16：529)

American Academy of Periodontology (Hawaii) 2010年11月

Properties of lip-closing force in healthy elderly-people：Kawai Y, Ishihara I, Masuda Y, Oishi M, Yamaguchi M, Nakatsuka K, Takamura T and Yoshinari N

The 6th Asian Science Seminar 2010年11月

Heat Shock Proteins (HSPs) appearing in orthodontic periodontal tissues：Muraoka R, Nakano K, Matsuda H, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (プログラム・抄録集：17，2010)

Role of Msx2 as an activator of Runx2 in periodontal tension side by orthodontic mechanical stress：Nakano K, Muraoka R and Kawakami T (プログラム・抄録集：16，2010)

BMPs and related factors appearing in the orthodontic periodontal tension sides in mice：Matsuda H, Muraoka R, Nakano K, Okafuji N, Yamada K and Kawakami T (プログラム・抄録集：33，2010)

日本生化学会大会（第83回）2010年12月

歯周病原菌 SOD 発現量の酸化ストレスによる変化：三原正志，小町谷美帆，大澤雅樹，山倉文幸，平井 要，菊池有一郎，茂木真希雄，山田一尋，黒岩昭弘，平岡行博（第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会合同大会プログラム・抄録集：329，2010）

平成22年度一般社団法人日本小児歯科学会秋季大会 2010年12月

骨格系の異なる日本人小児の顔面部軟組織厚に関する研究：大東史奈，宇都野 創，影山 徹，内田啓一，岩崎 浩，宮沢裕夫（平成22年度一般社団法人日本小児歯科学会秋季大会プログラム：18，2010）

## 特別講演

日本顎関節学会 レフレッシュセミナー 2010年7月

「矯正治療患者に顎関節症状を認めたら」：山田一尋（日本顎関節学会雑誌 22：58）

## 講演会

長野県矯正研究会，2010年3月，スタンダードエッジワイズ治療：山田一尋

松本歯科大学大学祭，2010年10月，大丈夫！子供の歯：山田一尋

## 松本歯科大学推進研究費による研究

山田一尋，山下秀一郎，田口 明，金山隼人，富永憲俊，竹尾健吾：側方滑走運動時の歯のガイドと顎関節への負荷の関連に関する研究 -CTを併用した解剖学的下顎頭点を用いて-

倉田和之，山田一尋，浅沼直和，上松隆司，富永憲俊，金澤昌律：顎矯正手術前後における三次元診断を用いた顎態評価と咀嚼・嚥下機能との関係についての検討

中塚久美子，村上円都，水野瑠莉香，足立忠文，増田裕次，上松 隆，山田一尋：顎変形症患者における多方位口唇閉鎖力について

高橋直之，吉成伸夫，武藤昭紀，荒井 敦，中村浩彰，小出雅則，溝口利英：歯周組織における破骨細胞形成機構の in vivo 解析

村岡理奈，松田浩和，中野敬介，川上敏行，山田一尋：歯科矯正治療によるメカニカルストレスが歯根膜組織に及ぼす傷害とその回復反応，および骨芽細胞分化への影響

## 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

山田一尋，増田裕次，松尾浩一郎：摂食嚥下機能に対する口腔軟組織，顎顔面形態と不正咬合の関わり（基盤研究 C）

影山 徹：加齢に伴う実験的歯の移動における歯根膜組織の改造活性能（若手研究 B）

金山隼人：咬合高径低下モデル動物の開発と生体変化の解明（若手研究 B）

荒井 敦：矯正力負荷により制御される破骨細胞ニッチの解析（若手研究 B）

## 歯科放射線学講座

### 著 書

田口 明 (分担執筆) (2010) かかりつけ医でみる骨粗鬆症 Q&A 顎のパノラマ X 線写真から骨粗鬆症は診断できますか? また, 骨粗鬆症と歯の喪失に関係があるか教えてください, 37-41. 先端医学社, 東京.

Taguchi A (分担) (2010) Etiology and Pathogenesis of Periodontal Disease. Chapter 7: Implications of systemic osteoporosis on oral health. p215-44, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, Germany.

田口 明 監修. 内田啓一, 長内 秀, 藤木知一, 黒岩博子, 杉野紀幸, 望月慎恭, 山田真一郎 編集 (2010) 画像診断のためのエックス線写真集. 株式会社 IDP 出版, 東京.

米田俊之, 荻野 浩, 杉本利嗣, 太田博明, 高橋俊二, 宗圓 聰, 田口 明, 豊澤 悟, 永田俊彦, 浦出雅裕 編著 (2010) ビスフォスフォネートの有用性と顎骨壊死. ビスフォスフォネート関連顎骨壊死検討委員会. 1-130, 大阪大学出版会, 大阪.

田口 明 (分担執筆) (2010) 医用画像ハンドブック (分担). 第 8 編 歯科領域の画像: 第 8 章 X 線画像による各種診断法. 石田隆行, 桂川茂彦, 藤田広志 監修. 1318-23, オーム社, 東京.

### 論文発表

Taguchi A (2010) Triage screening for osteoporosis in dental clinics using panoramic radiographs. Oral Dis 16: 316-27.

Yoneda T, Hagino H, Sugimoto T, Ohta H, Takahashi S, Soen S, Taguchi A, Toyosawa S, Nagata T and Urade M (2010) The Review Committee of the Bisphosphonate-related Osteonecrosis of the jaw: Bisphosphonate-Related Osteonecrosis of the Jaw: Position Paper from the Allied Task Force Committee of Japanese Society for Bone and Mineral Research, Osteoporosis Society Japan, Japanese Society of Periodontology, Japanese Society for Oral and Maxillofacial Radiology and Japanese Society of Oral and Maxillofacial Surgeons. J Bone Miner Metab 28: 365-83.

田口 明 (2010) 歯科医師の新たな役割- 歯科のパノラマ X 線写真を用いて早期に骨粗鬆症患者をスクリーニングする (連載第 1 回), 日顎咬合誌 30: 248-9.

Suei Y, Taguchi A, Nagasaki T and Tanimoto K (2010) Radiographic findings and prognosis of simple bone cysts of the jaws. Dentomaxillofac Radiol

39: 65-72.

林 孝文, 佐野 司, 庄司憲明, 末永重明, 田口 明, 筑井 徹, 中山英二, 村上秀明, 小林 馨, 西山秀昌 (2010) 顎関節症の画像診断ガイドラインの策定. 日歯医学会誌 29: 57-61.

Ariji Y, Taguchi A, Sakuma S, Miki M, Asawa T, Uchida K, Yoshinari N, Hiraiwa Y, Kise Y, Izumi M, Naitoh M, Katsumata A and Ariji E (2010) MR T2-weighted IDEAL water imaging for assessing changes in masseter muscles caused by low-level static contraction. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod 109: 908-16.

泉 佳範, 新庄勝之, 棟安実治, 浅野 晃, 田口 明 (2010) 輝度勾配に注目した歯科パノラマ X 線写真における石灰化領域自動検出手法の一手法. 信学技報 110: 13-8.

Kavitha MS, 李 亮, Samopo F, 浅野 晃, 田口 明 (2010) 骨粗鬆症診断のための歯科パノラマ X 線画像における皮質骨厚みの連続測定. 信学技報 110: 21-6.

泉 佳範, 新庄勝之, 棟安実治, 浅野 晃, 田口 明 (2010) 動脈硬化スクリーニングのための歯科パノラマ X 線写真における石灰化領域自動検出-輝度勾配に注目した自動領域検出-. 信学技報 110: 43-8.

三木 学, 内田啓一, 河合 悠, 吉成伸夫, 杉野紀幸, 黒岩博子, 藤木知一, 長内 秀, 望月慎恭, 山田真一郎, 田口 明 (2010) 根尖病変の診断治療に Cone-Beam CT が有用であった 1 例. 松本歯学 36: 129-33.

内田啓一, 黒岩博子, 内山真紀子, 宇都野 創, 藤木知一, 杉野紀幸, 長内 秀, 望月慎恭, 山田真一郎, 山本昭夫, 笠原悦男, 田口 明 (2010) 上顎右側過剰歯と第三大臼歯の融合歯の 1 例. 松本歯学 36: 134-38.

Uchiyama M, Kasahara E, Anzai M, Yamamoto A, Uchida K and Utsuno H (2010) Root canal anatomy of 236 mandibular canines. Matsumoto Shigaku 36: 107-14.

野久田 太, 内田啓一, 藤崎 昇, 土屋総一郎, 浅輪貴之, 上原大輔, 長谷川順一, 山下秀一郎 (2010) 歯科用デジタルエックス線撮影における背景の写りこみによるエラー像-イメージングプレート取り上の注意事項-. 松本歯学 36: 120-8.

### その他の学術著作物

Navastara DA, Arifin AZ, Asano A, Taguchi A and Nakamoto T (2010) Cortical bone width measurement based on active shape models (ASM) on dental panoramic radiograph. Proc. Sixteenth Korea Japan Joint Workshop on Frontiers of Com-

puter Vision (FCV 2010) 77-82.

Herumurti D, Arifin AZ, Sulaeman R, Asano A, Taguchi A and Nakamoto T (2010) Weighted fuzzy ARTMAP for osteoporosis detection. Proc. Sixteenth Korea-Japan Joint Workshop on Frontiers of Computer Vision (FCV 2010), 89-95.

田口 明 (2010) 歯科治療で骨粗しょう症発見-早期治療へX線写真活用. 信州市民タイムス

林 孝文, 佐野 司, 庄司憲明, 田口 明, 筑井 徹, 中山英二, 村上秀明 (2010) 日本歯科放射線学会・歯科放射線診療 GL 委員会. インプラントの画像診断ガイドライン (一般向け), 医療情報サービス Minds.

田口 明 (2010) 顎骨壊死と骨粗しょう症: 正しい知識の普及必要. 信州市民タイムス

Taguchi A (2010) Alveolar density measurement and bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaws. Osteoporos Int 5: 827.

米田俊之, 萩野 浩, 杉本利嗣, 太田博明, 高橋俊二, 宗園 聡, 田口 明, 豊澤 悟, 永田俊彦, 浦出雅裕 (2010) ビスフォスフォネート関連顎骨壊死検討委員会. ビスフォスフォネート関連顎骨壊死に対するポジションペーパー. 和文簡略版, 1-7.

田口 明 (2010) シンポジウムⅢ「Evidenced-Based Education のための歯科医学教育研究のデザインと手法について」歯学教育研究における量的・質的解析法について. 日歯教誌 26: 23-4.

Suei Y, Taguchi A and Tanimoto K (2010) Contents of the simple bone cyst cavity. J Oral Maxillofac Surg 68: 2033.

Kavitha MS, Li L, Samopa F, Asano A and Taguchi A (2010) Continuous measurement of the mandibular cortical bone in dental panoramic radiographs for the diagnosis of osteoporosis using a clustering algorithm on histograms. Proc. APSIPA Annual Summit and Conference, 560-7.

## 学会発表

日本歯科放射線学会関東地方会 (第210回) 2010年1月

パノラマエックス線写真による若年者における骨粗鬆症予備軍の早期スクリーニング: 田口 明, 杉野紀幸, 三木 学, 香西雄介, 黒岩博子, 藤木知一, 内田啓一, 吉成伸夫, 鹿島 勇

乳がん患者におけるパノラマエックス線写真所見-乳がん患者スクリーニングに有用か?: 田口 明, 大塚昌彦, 中元 崇, 末井良和, 谷本啓二

日本再生医療学, 2011年3月

培養ヒト自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生療法-上顎洞底挙上術への臨床応用-: 上松隆司, 寺本祐二, 高橋美穂, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川

和也, 秋田大輔, 中澤高志, 古澤清文, 下平滋隆, 脇谷滋之, 田原秀晃, 佐藤まりも, 田口 明, 中村美どり, 宇田川信之

日本歯周病学会中部地区大学・日本臨床歯周病学会中部支部合同研究会 (第4回) 2010年10月

糖尿病教育入院患者の歯周病, 糖尿病および糖尿病合併症との関係: 稲垣幸司, 野田貴弘, 永坂太郎, 菊池 毅, 山本弦太, 野口俊英, 森田一三, 中垣晴男, 足立守安, 田口 明, 浅野 晃, 成瀬桂子, 松原達昭, 吉田昌則, 中山誠子

The 8<sup>th</sup> Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Seoul, Korea, November, 2010

Detection of Japanese young adults with undetected low skeletal bone density using panoramic radiographs: Taguchi A, Sugino N, Osanai H and Uchida K

A case of vascular malformation of the masseter muscle. The 8th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology: Sugino N, Kitamura Y, Osanai H and Taguchi A

Bone mass of the mandible and the risk of breast cancer among Japanese postmenopausal women: Taguchi A, Suei Y, Tanimoto K and Kataoka T

APSIPA ASC 2010, Biopolis, Singapore, December, 2010

Automatic Detection Method for Carotid Artery Calcification in Dental Panoramic Radiographs: Shinjo K, Mitsuji M, Asano A and Taguchi A

Continuous Measurement of the Mandibular Cortical Bone in Dental Panoramic radiographs for the Diagnosis of Osteoporosis using a Clustering Algorithm on Histograms: Kavitha MS, Li L, Samopa F, Asano A and Taguchi A

日本歯科放射線学会関西・九州合同地方会 (第30回) 小倉, 2010年12月

開業歯科医による操作でのパノラマエックス線画像を用いた骨粗鬆症診断支援システムの診断精度と再現性: 中元 崇, 田口 明, 浅野 晃, MD Mahmud UZ Zaman, 谷本啓二

日本歯周病学会春季学術大会 (第53回) 2010年5月14日

松本歯科大学病院来院患者のパノラマエックス線写真による現在歯数および歯槽骨の検討: 三木 学, 内田啓一, 山田真一郎, 窪川恵太, 坂本 浩, 河谷和彦, 吉成伸夫, 田口 明

日本歯科放射線学会総会 (第51回) 鶴見, 2010年5月

PBL (Problem-based learning) 実習で引用された教科書の検証: 内田啓一, 長内 秀, 三木 学, 山田真一郎, 望月慎恭, 杉野紀幸, 黒岩博子, 藤木知一, 吉成伸夫, 田口 明

松本歯科大学病院来院患者のパノラマエックス線

写真による歯科実態調査：現存歯数と歯の状態についての検討：山田真一郎，内田啓一，三木学，長内秀，望月慎恭，杉野紀幸，黒岩博子，藤木知一，田口明，吉成伸夫

松本歯科大学学会総会（第70回）2010年7月

PBL（Problem-based learning）実習で引用された教科書についての検証：長内秀，内田啓一，三木学，山田真一郎，望月慎恭，杉野紀幸，黒岩博子，藤木知一，吉成伸夫，田口明

松本歯科大学病院来院患者の60歳以上におけるパノラマエックス線写真による歯科実態調査：山田真一郎，内田啓一，三木学，長内秀，望月慎恭，杉野紀幸，黒岩博子，藤木知一，田口明，吉成伸夫

平成22年度日本小児歯科学会秋季大会 2010年12月

骨格型に異なる日本人小児の顔面軟組織厚に関する研究：大東史奈，宇都野創，景山徹，内田啓一，宮沢裕夫

固有鼻腔内に異所萌出をみた過剰歯の1例：内田啓一，杉野紀幸，山田真一郎，長内秀，望月慎恭，黒岩博子，藤木知一，田口明

14th Meeting of the International Association of Craniofacial Identification. Chile, September, 2010

Pilot study of facial soft tissue thickness differences among three skeletal classes in Japanese females : Utsuno H, Oohigashi S, Kageyama T, Uchida K, Yoshino M, Miyazawa H and Inoue K

### 特別講演

信州骨粗鬆症セミナー（特別講演）2010年1月

田口明：パノラマX線写真から診る骨粗鬆症・ビスフォスフォネート系薬剤と顎骨壊死。

The 2<sup>nd</sup> International Workshop on BioDental Education & Research in Hiroshima University (Invited speaker) Hiroshima, February, 2010

Taguchi A : Individual Dental Diagnosis Course : Triage screening of osteoporosis by panoramic radiographs.

田口明（教育講演）2010年2月

ビスフォスフォネート製剤関連顎骨壊死・骨髄炎の画像診断。第29回日本画像医学会。

Taguchi A (Invited main speaker). ICOI (International Congress of Oral Implantologist) European Symposium, Istanbul, Turkey, April, 2010.

Evaluation of bone quantity and quality of the jaws—imaging modalities and biochemical markers of bone quality.

田口明（招待シンポジスト），日本学術会議主催（日本口腔科学会共催）2010年6月

顎骨骨髄炎・顎骨壊死の画像診断。市民公開シンポジウム「ビスホスホネート系薬剤に起因した顎骨

骨髄炎・顎骨壊死の現状と対策」。

田口明（教育講演）日本歯科放射線学会北日本関東合同地方会 2010年8月6-7日

骨粗鬆症とビスホスホネート関連顎骨骨髄炎の画像診断。

Taguchi A (Invited speaker) World Health Organization (WHO) International Symposium for Global Oral Health Science Niigata 2010, Niigata, October, 2010. Screening for osteoporosis in dental clinics by panoramic radiographs.

### 講演会

愛媛県歯科医師会講演会 2010年2月

田口明（招待講演）：パノラマX線写真による骨粗鬆症患者のトリアージスクリーニングとその将来。

神奈川県横浜市金沢区整形外科医会講演会（日本整形外科学会生涯研修認定講演会）2010年6月

田口明（招待講演）：ビスフォスフォネート製剤関連顎骨壊死・骨髄炎の現状とその問題点：口腔と骨粗鬆症との関連を含めて。

松本市歯科医師会主催，松本市医師会共催市民講座 2010年10月

田口明：歯のレントゲン写真から骨粗しょう症がわかりますか？第5回市民公開講座—大切な骨と歯の関係—。

松本市歯科医師会全員協議会 2010年12月

田口明（招待講演）：パノラマレントゲンからみる骨粗鬆症。

### 松本歯科大学推進研究費による研究

田口明：磁気共鳴画像撮像法（MRI）によるT2マッピング及びIdealを用いた咀嚼筋異常の定量的診断のための基準値策定に関する研究

### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

田口明：梗塞性心臓血管疾患リスク患者の早期スクリーニングのための口腔衛生指標の開発（基盤研究C）

### 小児歯科学講座

### 論文発表

Aoki H, Imamura Y, Ouryouji K, Miyazawa H and Wang PL (2010) Genetic polymorphism of the salivary mucin gene *MUC7* in severe caries in Japanese pediatric patients. *Ped Dent J* **20**: 152-

7.

高田里絵, 室伏菜緒, 古川智代, 中川克美, 中嶋美由貴, 副島之彦, 岩崎 浩 (2010) 生後11か月の乳児の外傷歯に整復固定を試みた一例. 小児歯誌 48: 454-9.

### 学会発表

日本小児歯科学会大会 (第48回) 2010年 5月  
中国人小児 (広東省佛山市幼稚園児) の歯科疾患調査: 楊 静, 李 憲起, 陳 彦呈, 水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

中国山西省小児の齲蝕に関わる環境要因の分析-口腔内診査およびアンケート結果から-: 張 楠, 陳 彦呈, 水谷智宏, 押領司 謙, 楊 静, 李 憲起, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

生体吸収性材料を応用した乳歯用スクリーポストの基礎研究: 水谷智宏, 中山 聡, 高梨 登, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

乳歯列期重度齲蝕症における MUC7 の遺伝子型解析: 青木伯永, 押領司 謙, 今村泰弘, 岩崎 浩, 宮沢裕夫, 王 宝禮

日本スポーツ歯科医学会学術大会 (第21回) 2010年 7月

マウスガード材の衝撃荷重時の反発性能に関する実験的研究 高速度カメラによる動体解析: 鷹股 哲也, 橋井公三郎, 岡田芳幸, 中村貴美, 加藤優美子, 安西正明, 正村正仁

硬性材の挿入とスペースはマウスガードの衝撃吸収能を向上させるか (第3報) スペース量および面積の影響: 半田 潤, 黒川勝英, 小澤卓充, 額賀英之, 長谷川 賢, 関口千栄子, 正村正仁, 中島一憲, 武田友孝, 宮沢裕夫, 石上惠一

歯科基礎医学会 (第52回) 2010年 9月

歯根膜におけるビタミンDレセプターの局在とビタミンD<sub>3</sub>の作用について: 陳 彦呈, 二宮 禎, 平賀 徹, 細矢明宏, 宮沢裕夫, 中村浩彰

Down 症候群歯周炎患者における MBL の遺伝子多型解析: 青木伯永, 今村泰弘, 岩崎 浩, 王 宝禮, 宮沢裕夫

子ども学会議 (第7回) 2010年10月

乳幼児期における歯磨き時の口腔内外傷防止効果を付与した歯ブラシ: 水谷智宏, 中山 聡, 伊藤三智子, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

歯ブラシに起因する口腔外傷についての調査: 伊藤三智子, 伊藤孝司, 水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

日本小児歯科学会近畿地方会 (第29回) 2010年10月

吸指癖を有する小児への習癖除去剤の効果: 室伏菜緒, 高田里絵, 副島之彦, 備 紗央里, 黒河奈緒美, 藤崎由美, 南出詩織, 岩崎 浩

日本小児歯科学会中部地方会 (第29回) 2010年10月

中国人小児 (広東省佛山市幼稚園児) の齲蝕に関わる環境要因の分析 -アンケート結果から-: 楊 静, 李 憲起, 陳 彦呈, 水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

バイターストップの使用感に関するアンケート結果: 金澤真亨, 木下友江, 田中丈也, 大東史奈, 桑原康生, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

日本小児歯科学会秋季大会 (平成22年度) 2010年12月

骨格型の異なる日本人小児の顔面部軟組織厚に関する研究: 大東史奈, 宇都野 創, 影山 徹, 内田啓一, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

Down 症候群歯周炎患者と MBL との関連: 青木伯永, 今村泰弘, 岩崎 浩, 王 宝禮, 宮沢裕夫

中国人小児 (広東省佛山市幼稚園児) の歯科疾患調査: 楊 静, 李 憲起, 陳 彦呈, 水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

### 講演

日本小児歯科学会中部地方会 (第29回) 2010年10月

「近未来の小児歯科臨床」: 水谷智宏

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

岩崎 浩, 中山 聡, 水谷智宏, 宮沢裕夫: カンボジア国シムリアップ州小児の歯科疾患調査と予防プログラム確立に向けて (基盤研究 B)

松本歯科大学推進研究費による研究

青木伯永: 小児期重度齲蝕症発症の遺伝的要因の解明と齲蝕治療・予防への応用

その他の研究補助金による研究

陳 彦呈: 歯根膜におけるビタミンDレセプターの局在とビタミンD<sub>3</sub>の作用について (財団法人富徳会2010年度研究者助成)

水谷智宏: 生体吸収性材料の小児歯科臨床への応用 (財団法人富徳会2010年度研究者助成)

特許申請 (HAN 10029)

水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫, 竹下重雄: 国際特許分類 A46B 9/04: 2010年10月25日

## 障害者歯科学講座

## 著 書

馬場 尊, 小笠原 正 編集, 才藤栄一, 椿原彰夫, 依田光政, 下堂 蘭恵, 松尾浩一郎, 薛克良, 藤島一郎, 野崎園子, 藤本保志, 植松 宏, 小口和代, 藤谷順子 (2010) 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会eラーニング対応, 第1分野 摂食・嚥下リハビリテーションの全体像, 第1版, 医歯薬出版, 東京.

山口秀紀, 辻本恭久, 坪田有史, 横尾 聡, 小笠原 正 (2010) こんな事故が起こったら ポケットブック, トラブルvsリカバリー, デンタルダイアモンド社, 東京.

## 論文発表

Matsuo K and Palmer JB (2010) Kinematic linkage of the tongue, jaw, and hyoid during eating and speech. *Arch Oral Biol* **55** : 325-31.

Matsuo K, Metani H, Mays KA and Palmer JB (2010) Soft palate movement in breathing and feeding. *J Dent Res* **89** : 1401-6.

Miller AJ and Matsuo K (2010) Strategies to treat swallowing disorders and dysphagia. *Jpn J Rehabil Med* **47**(7) : 463-9.

脇本仁奈, 松尾浩一郎, 河瀬聡一郎, 岡田尚則, 安東信行, 植松紳一郎, 藤井 航, 馬場 尊, 小笠原 正 (2010) 頸部回旋角度の変化が嚥下時の食塊通過へ及ぼす影響. *日摂食嚥下リハ会誌* **14** : 11-6.

安東信行, 小笠原 正, 河瀬聡一郎, 岡田芳幸, 松尾浩一郎 (2010) 歯科診療体位による気道狭窄への影響. *障害者歯科* **31** : 38-44.

小笠原 正, 岡田芳幸, 松尾浩一郎, 隅田佐知, 河瀬聡一郎, 小林博昭 他 (2010) スペシャルオリンピック・フロアホッケーのアスリートにおけるマウスガードの認知度と使用経験. *障害者歯科* **31** : 72-7.

小笠原 正, 緒方克也, 坪井信二, 福田 理 (2010) 障害者の口腔の加齢的特徴. *障害者歯科* **31** : 159-63.

隅田佐知, 小笠原 正, 岡田芳幸, 河瀬聡一郎, 松尾浩一郎, 江草正彦, 緒方克也 (2010) 発達年齢の高い自閉症児者の不適応要因. *障害者歯科* **31** : 193-219.

戸井尚子, 小笠原 正, 隅田佐知, 岡田芳幸, 松尾浩一郎, 緒方克也 (2010) 発達障害者のカウント法に対するレディネス. *障害者歯科* **31** : 199-203.

Shimoji S, Ishihama K, Yamada H, Okayama M,

Yasuda K, Shibutani T, Ogasawara T, Miyazawa H and Furusawa K (2010) Occupational safety among dental health-care workers, *Advances in Medical Education and Practice* **1** : 1-7.

丹羽 崇, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 高田匡基, 丸川和也, 松尾浩一郎, 武田龍太郎, 前島信也, 古澤清文 (2010) 下顎歯肉と食道に発生した同時性重複癌の1例. *松本歯学* **36** : 7-15.

鷹股哲也, 橋井公三郎, 山木貴子, 中村貴美, 加藤優美子, 安西正明, 正村正仁, 岡田芳幸 (2010) マウスガード材の粘弾性特性と衝撃減衰能に関する基礎的研究マウスガード材の粘弾性特性と衝撃減衰能に関する基礎的研究. *スポーツ歯学* **13** : 60-9.

## その他の学術著作物

小笠原 正 (2010) 無痛治療の実践 -局所麻酔, ここがポイント- 5. 表面麻酔の効かせ方, -うまく使いこなす, 聞かせる, 薬剤の使い分け-. *歯科医療* 2010年夏号 **24** : 25-33.

松尾浩一郎 (2010) 歯科医師による摂食・嚥下リハビリテーション 第4回 摂食・嚥下機能療法(2) -摂食・嚥下機能訓練. *日本歯科評論* **70**(9) : 89-97.

## 学会発表

18th Annual meeting of Dysphagia Research Society, San Diego, CA, USA 2010年3月

Effects of liquid viscosity on bolus transport and swallow initiation during feeding : Matsuo K, Kawase S, Wakimoto N, Iwatani K, Masuda Y and Ogasawara T

Stage I intraoral food transport : effects of bite size and consistency : Mikushi S, Seki S, Brodsky MB, Matsuo K and Palmer JB

Stage I intra-oral food transport : kinematics of jaw, tongue, and hyoid bone : Seki S, Mikushi S, Brodsky MB, Matsuo K and Palmer JB

88th annual meeting of the International Association of Dental Research, Barcelona, Spain 2010年7月.

Effects of chewing and liquid viscosities on swallow initiation : Matsuo K, Kawase S, Wakimoto N, Iwatani K, Okada Y, Masuda Y and Ogasawara T

20th Congress of International Association for Disability and Oral Health, Ghent, Belgium 2010年8月

Relationship between pre-swallow food entry to the hypopharynx and breathing pattern during eating : Matsuo K, Kawase S, Wakimoto N, Iwatani K, Okada Y, Masuda Y and Ogasawara T

Effects of head rotation on pre-swallow food

transport during feeding : Wakimoto N, Matsuo K, Kawase S, Iwatani K, Okada Y and Ogasawara T

Aging and status of oral health for cerebral palsy in Japan : Ogasawara T, Wakimoto N, Okada Y, Matsuo K, Tsuboi S, Fukuta O and Ogata K

第87回日本生理学会・学術大会 2010年5月

Increased incidence of sleep bruxism-induced pressor responses by hypoxia in humans : Okada Y, Kamijo Y, Masuki S, Okazaki K, Ikegawa S and Nose H (シンポジウム)

日本歯科医療福祉学会 (第17回) 2010年6月

地域開催のスペシャルオリンピックスに参加したボランティアの意識 : 小林博昭, 勝田 泉, 峯村伸児, 大井晃子, 中村 通, 隅田佐知, 小笠原 正, 福田 理, 永島康弘

要介護高齢者の口腔内で形成される膜の光顕的所見 : 川瀬ゆか, 隅田佐知, 河瀬聡一朗, 脇本仁奈, 岡田芳幸, 松尾浩一郎, 小笠原 正, 柿木保明

第21回日本スポーツ歯科医学会・学術大会 2010年7月

マウスガード材の衝撃荷重時の反発性能に関する実験的研究—高速度カメラによる動体解析— : 鷹股哲也, 橋井公三郎, 岡田芳幸, 中村貴美, 加藤優美子, 安西正明, 正村正仁

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 (第16回) 2010年8月

上気道狭窄が咀嚼と嚥下のタイミングに及ぼす影響 健常者での鼻クリップを用いた予備的検討 : 河瀬聡一朗, 松尾浩一郎, 小笠原 正, 岩谷和大, 脇本仁奈 (第16回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 : 477, 2010)

開口位が上気道狭窄へ及ぼす影響 : 岩谷和大, 小笠原 正, 松尾浩一郎, 河瀬聡一朗, 脇本仁奈, 安東信行 (第16回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 : 219, 2010)

第69回日本矯正歯科学会大会 2010年9月

ピーナッツを用いた咀嚼機能と顔面形態および口腔機能との関係 : 金澤昌律, 村上円郁, 富永憲俊, 金山隼人, 松尾浩一郎, 河野正司, 山田一尋 (日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 : 164)

第48回日本癌治療学会 2010年10月

頸部リンパ節に洞組織球症を伴った口腔・食道重複癌の1例 : 丹羽 崇, 上松隆司, 高田匡基, 丸川和也, 秋田大輔, 近藤隆行, 中澤高志, 松尾浩一郎, 武田龍太郎, 前島信也, 長谷川博雅, 古澤清文 (日本癌治療学会誌 45 : 866)

日本障害者歯科学会 (第27回) 2010年10月

多施設での使用を前提とした, 障害者における日帰り全身麻酔下での歯科治療に関するクリニカルパス : 森 貴幸, 前田 茂, 沼本庸子, 北 ふみ, 村田尚道, 有岡享子, 後藤拓朗, 梶原京子, 森田幸介, 住吉由季子, 梶谷明子, 内田堅一郎, 石田 瞭,

小笠原 正, 上山吉哉, 緒方克也, 宮脇卓也, 江草正彦 (第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集 : 376, 2010)

地方都市における障がい者歯科診療所開設までの経緯と現状 : 佐藤 厚, 稲吉直樹, 山田真右, 市川善三, 酒井寿泰, 山本浩司, 山本浩美, 安平琴美, 島 久恵, 小牧康子, 甲斐佐江, 長谷浩美, 河瀬聡一朗, 小笠原 正 (第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集 : 486, 2010)

発達障害者への口腔ケア指導 第1報 自閉症者へのモデリングを用いたブラッシング指導の効果 : 比嘉紀子, 砂川 恵, 津波みどり, 津嘉山早希, 小椋克子, 岡田尚則, 小笠原 正, 真喜屋睦子, 比嘉良喬 (第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集 : 567, 2010)

導入時の気道管理が困難と予想された歯肉増殖症の1例 : 中島 萌, 谷山貴一, 村田賢司, 鹿内恒樹, 長江麻帆, 脇本仁奈, 小笠原 正, 澁谷 徹 (第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集 : 585, 2010)

介助磨きにおける血液汚染の要因 正しい歯磨き法が手の汚染を防止するか? : 副島之彦, 脇本仁奈, 松尾浩一郎, 小笠原 正 (第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集 : 614, 2010)

一般開業歯科医院で起こった誤飲3症例 : 上田亜耶, 横田 誠, 藤崎美穂, 大西めぐみ, 木村香織, 岩崎香代, 小笠原 正 (第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集 : 687, 2010)

スペシャルオリンピックス日本・沖縄 第1報 ヘルシーアスリートプログラム参加者の歯科に関する生活習慣 : 岡田尚則, 真座 孝, 松島一夫, 砂川英樹, 伊波 徹, 小笠原 正, 真喜屋睦子, 比嘉良喬 (第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集 : 691, 2010)

スペシャルオリンピックス日本・沖縄 第2報 アスリート関係者の歯科についての関心度 : 島田茂, 長嶺 忍, 波平真樹, 城間 健, 玉城英人, 岡田尚則, 小笠原 正, 高橋久雄, 真喜屋睦子, 比嘉良喬 (第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集 : 692, 2010)

スペシャルオリンピックス日本・沖縄 第3報 ボランティアの意識調査 : 勝連義之, 島袋のぞみ, 川畑 剛, 上地智博, 岡田尚則, 小笠原 正, 真喜屋睦子, 比嘉良喬

発達障害者の歯科場面における特性と対応の検討 : 牧井覚万, 隅田佐知, 河瀬聡一朗, 伊沢正彦, 高井経之, 小島広臣, 松尾浩一郎, 緒方克也, 小笠原 正 (第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集 : 391, 2010)

障害者の咬合と年齢 : 星野正憲, 大槻征久, 大槻真理子, 副島之彦, 小柴慶一, 坪井信二, 福田 理, 緒方克也, 松尾浩一郎, 小笠原 正 (第27回障害者

歯科学会学術大会プログラム・抄録集：372, 2010)

堤状歯肉に対して歯肉切除術を施行した重症心身障害児の一症例：脇本仁奈，正田行穂，薦田 智，植松紳一郎，宮下展子，川瀬ゆか，穂坂一夫，中島 萌，澁谷 徹，松尾浩一郎，小笠原 正（第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集：552, 2010)

開口とラバーダム装着が咽頭腔の狭窄に及ぼす影響：岩谷和久，松尾浩一郎，脇本仁奈，河瀬聡一郎，安東信行，望月慎恭，福澤雄司，小笠原 正（第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集：394, 2010)

発達障害者への視覚支援によるブラッシング指導の有用性：小巻康子，甲斐佐江，長谷弘美，山本裕美，安平琴美，島 久恵，佐藤 厚，稲吉直樹，山田眞右，市川善三，酒井寿泰，山本浩司，河瀬聡一郎，小笠原 正（第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集：669, 2010)

笑気濃度差による吸入鎮静法の検証-自律神経系と外部行動より-：河瀬瑞穂，岡田芳幸，河瀬聡一郎，松村康平，三井貴信，清水直人，戸井尚子，塚田久美子，松尾浩一郎，小笠原 正（第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集：712, 2010)

障害者のう蝕と年齢：久野 喬，岩谷和久，野原智，涓東淳之，井上恭代，笠原 浩，坪井信二，福田 理，緒方克也，小笠原 正（第27回障害者歯科学会学術大会プログラム・抄録集：371, 2010)

中部歯科麻酔学会（第44回）2010年12月

笑気吸入濃度差による効果の検証-自律神経系より：河瀬瑞穂，小笠原 正，岡田芳幸，河瀬聡一郎，松尾浩一郎

### 特別講演

第25回 日本静脈経腸栄養学会サテライトセミナー 第4回摂食・嚥下リハビリテーション入門セミナー（幕張）2010年2月

摂食・嚥下リハビリテーション：評価と訓練の実際：松尾浩一郎

北信越障害者歯科臨床研究会（第1回）シンポジウム 2010年6月

松本歯科大学における障害者歯科医療の現状：河瀬瑞穂

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会（第16回）のもう会（新潟）2010年8月

アメリカにおける摂食・嚥下リハビリテーション：松尾浩一郎

長野県言語聴覚士会10周年記念事業 2010年9月  
食べるということの最近の考え方と臨床的アプローチ：松尾浩一郎

日本障害者歯科学会（第27回）教育講座 2010年10月

臨床研究デザインのポイント：松尾浩一郎

### 講演会

諏訪市歯科医師会救急医療講習会（諏訪市）2010年1月13日

（招待講演）救急医療：小笠原 正，戸井尚子，安東信行，岩谷和久，脇本仁奈，隅田佐知

岡谷下諏訪歯科医師会岡谷市・下諏訪町口腔衛生推進研修会（岡谷）2010年1月23日

（招待講演）口腔と健康～子どもから要介護高齢者まで～：小笠原 正

沖縄県歯科 SUN 会議大会（那覇市）2010年1月28日

（招待講演）地域における障害者歯科医療の取り組み-大学と地域医療機関との連携-：小笠原 正

東京医科歯科大学補綴勉強会（文京区，東京）2010年1月

摂食の最近の考え方と摂食・嚥下リハへの応用：松尾浩一郎

静岡県歯科医師会学術講演会（静岡市）2010年2月28日

（招待講演）障害者の口腔について～治療から予防まで～：小笠原 正

伊那中央病院学術勉強会（伊那市）2010年2月

急性期における口腔と摂食への関わり：松尾浩一郎

長野県歯科医師会 県民公開講座（長野市）2010年2月

口から食べること（摂食）に歯科はどう関わっていくか：松尾浩一郎

更級地区歯科医師会勉強会（更級）2010年2月

食べるということの最近の考え方と臨床的アプローチ：松尾浩一郎

松阪地区歯科医師会勉強会（松阪市）2010年2月

食べるということの最近の考え方と臨床的アプローチ：松尾浩一郎

第29回安曇総合病院地域連携懇話会（北安曇郡）

2010年3月12日

循環器疾患と歯科について：小笠原 正

三水会（長野地区歯科医師会）勉強会（長野市）

2010年4月

食べるということの最近の考え方と臨床的アプローチ：松尾浩一郎

茅野市諏訪郡歯科医師会学術講演会（茅野市）2010年6月30日

（招待講演）疾患の特性について：小笠原 正

沖縄県障害者歯科地域協力医研修会（那覇市）2010年7月11日

（招待講演）歯科診療と全身疾患 最近のトピックス：小笠原 正

静岡県歯科医師会障害者歯科研修会（静岡市）2010



年 8 月 8 日

(招待講演) 地域における障害者歯科: 小笠原 正  
広島県保険医協会研修会 (広島市) 2010年 8 月 21 日

(招待講演)「歯科救急医療セミナー」: 小笠原 正,  
河瀬聡一郎

広島県保険医協会研修会 (福山市) 2010年 8 月 22 日

(招待講演)「歯科救急医療セミナー」: 小笠原 正,  
河瀬聡一郎

福寿草 (松本市) 2010年 8 月

摂食嚥下障害者への食事介助: 河瀬聡一郎

富山県スペシャルオリンピックス (富山市) 2010 年 9 月 2 日

(招待講演) スペシャルオリンピックスとスペシャルスマイルズ: 小笠原 正

松本歯科大学校友会本部・東海 4 県共催学術講演会 (名古屋) 2010年 9 月 26 日

(招待講演) 在宅医療で困った時、どうするか?: 小笠原 正

宮崎県ペーパーミントの会 (宮崎市) 2010年 10 月

食べるということの最近の考え方と臨床的アプローチ: 松尾浩一郎

歯を守る市民の会 (長野市) 2010年 10 月

口から食べる 正常・異常と評価・対応: 松尾浩一郎

長野 NST 研究会 (松本市) 2010年 10 月

安全な経口摂取に結びつける 摂食・嚥下リハビリテーション: 松尾浩一郎

松本歯科大学校友会千葉県支部学術講演会 (千葉市) 2010年 10 月

食べるということの最近の考え方と臨床的アプローチ: 松尾浩一郎

松本歯科大学校友会北海道支部学術講演会 (札幌) 2010年 11 月 20 日

(招待講演) 在宅医療におけるリスク評価と緊急時対応: 小笠原 正

北九州ドライマウス研究会 平成 22 年度学術大会 (北九州市) 2010年 11 月 25 日

(招待講演) 要介護高齢者における口腔乾燥の診断と対応: 小笠原 正

松本歯科大学校友会本部・関東 4 県共催学術講演会 (東京) 2010年 11 月 28 日

(招待講演) 食に対する歯科医師の役割 摂食・嚥下障害: 小笠原 正

北佐久歯科医師会 学術セミナー (佐久市) 2010 年 11 月

食べるということの最近の考え方と臨床的アプローチ: 松尾浩一郎

第 14 回高知 NST 研究会 (高知市) 2010年 11 月

経口移行を成功させる摂食・嚥下リハビリテーション: 松尾浩一郎

平成 22 年度長野県歯科医師会 障害者・在宅歯科治療実技研修会 (松本歯科大学) 2010年 10 月, 11 月: 小笠原 正, 松尾浩一郎

飯水歯科医師会 (飯山市) 2010年 12 月

高齢者の歯科治療上の留意点: 河瀬聡一郎

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

小笠原 正: 経管栄養の要介護高齢者における肺炎起炎菌の制御に向けた臨床的研究

松尾浩一郎: 口腔ケアのための簡易式リップオープナー (開口唇器) の開発

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

柿木保明, 西原達次, 角館直樹, 柏崎晴彦, 小関健由, 佐藤裕二, 里村一人, 伊藤加代子, 小笠原 正, 岸本悦央: 高齢者のドライマウスの実態調査及び標準的ケア指針の策定に関する研究 (平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業)

宮脇卓也, 江草正彦, 小笠原 正, 上山吉哉, 石田 瞭: 障害者歯科における EBM 確立を目的としたクリニカルパス開発および利用に関する研究 (平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究事業))

江草正彦, 宮脇卓也, 森 貴幸, 武田則昭, 小笠原 正: 地域主導型の障害者歯科における地域連携クリニカルパスの開発過程 (基盤研究 C)

松尾浩一郎: 摂食・嚥下機能障害への呼吸調節機能障害の関与 (若手研究 B)

岡田芳幸: 睡眠時ブラキシズムが中枢性血圧調節機構に与える影響と低酸素による修飾 (若手研究 B; 海外留学のため 8 月をもって中断)

#### その他の研究補助金による研究

長野県科学振興会

隅田佐知: 静脈麻酔下における血圧維持機構に関する研究

#### 歯科麻酔学講座

#### 著 書

澁谷 徹 (分担執筆) (2010) できる! わかる! 歯科麻酔実践ガイド, 1 版, 26-48, 医歯薬出版, 東京.

#### 論文発表

村田賢司, 河合峰雄, 山下智章, 釜田 隆, 水野

誠, 住谷幸雄, 小谷順一郎 (2010) 認知症患者における静脈内鎮静法下歯科治療症例の検討. 日歯麻誌 **38**: 39-40.

鹿内恒樹 (2010) レボプロピバカインのラット眼窩下孔への伝達麻酔効果. 松本歯学 **36**(1): 23-30.

Shimoji S, Ishihama K, Yamada H, Okayama M, Yasuda K, Shibutani T, Ogasawara T, Miyazawa H and Furusawa K (2010) Occupational safety among dental health-care workers. Advan Med Edu Pract: 41-7.

小笠原慶一, 石濱孝二, 岡山政樹, 安田浩一, 澁谷 徹, 内藤幸子, 宮沢裕夫, 古澤清文 (2010) 松本歯科大学病院における夜間・休日緊急歯科診療の現状. 松本歯学 **36**: 87-92.

### 学会発表

第21回臨床モニター学会総会 2010年4月

デクスメトミジン塩酸塩による静脈内鎮静法の鎮静深度評価について: 谷山貴一, 村田賢司, 澁谷 徹

中部歯科麻酔研究会 (第43回) 2010年7月

小児患者における鼓膜温測定の有用性に関する検討: 村田賢司, 谷山貴一, 鹿内恒樹, 中島 萌, 大野忠男, 澁谷 徹

第38回日本歯科麻酔学会総会・学術大会 2010年10月

歯科口腔外科手術における鼓膜温測定の有用性に関する検討: 村田賢司, 谷山貴一, 鹿内恒樹, 中島 萌, 大野忠男, 鹿内理香, 長江麻帆, 澁谷 徹

ストレスに伴う自律神経活動の変化に対する鎮静薬の修飾作用-笑気吸入による影響-: 中島 萌, 谷山貴一, 村田賢司, 鹿内恒樹, 大野忠男, 鹿内理香, 長江麻帆, 澁谷 徹

長時間作用性局所麻酔薬を用いた伝達麻酔の小口腔外科手術後の疼痛管理における有用性について: 実藤信之, 谷山貴一, 村田賢司, 鹿内恒樹, 澁谷 徹

第27回日本障害者歯科学会総会および学術大会

導入時の気道管理が困難と予想された歯肉増殖症の1例: 中島 萌, 谷山貴一, 村田賢司, 鹿内恒樹, 長江麻帆, 脇本仁奈, 小笠原 正, 澁谷 徹

堤状歯肉に対して歯肉切除術を施行した重症心身障害児の一症例: 脇本仁奈, 正田行穂, 薦田 智, 植松伸一郎, 宮下展子, 川瀬ゆか, 穂坂一夫, 中島 萌, 澁谷 徹, 松尾浩一郎, 小笠原 正

第71回松本歯科大学学会 (例会) 2010年11月

抜歯を余儀なくされた非定型歯痛の一例: 金銅英二, 山下秀一郎, 丹羽 萌, 澁谷 徹, 前島信也, 窪田裕一

中部歯科麻酔研究会 (第44回) 2010年12月

脊髄性筋萎縮症患者の全身麻酔経験: 大野忠男,

谷山貴一, 村田賢司, 鹿内恒樹, 丹羽 萌, 澁谷 徹

### 社会歯科学

### 著 書

柳沢 茂 (分担執筆) (2010) 新予防歯科学, 第4版, 293-299, 医歯薬出版, 東京.

### 論文発表

Naruse K, Fukuda M, Hasegawa H, Yagami K and Udagawa N (2010) Advanced alveolar bone resorption treated with implants, guided bone regeneration, and synthetic grafting: a case report. Implant Dent **19**: 460-7.

Kuboki Y, Yagami K, Iku S, Kaku T, Terada M, Kitagawa Y, Takita H, Li D, Kimura M and Sammons R (2010) Geometry of Extracellular Matrix: Optimal Tunnel Size for Bone Formation in Disk-form Honeycomb  $\beta$ -TCP. Nano Biomed **2**: 107-13.

### 学会発表

第64回日本口腔科学会 2010年6月25日

Active hexose correlated compound は炎症性サイトカインによる NO 産生を抑制し間葉系幹細胞の骨芽細胞への初期分化を維持する: 八上公利, 西澤幹雄, 代田達夫, 三浦健人, 定岡 直, 柳沢 茂, 中村浩志 (日本口腔科学会雑誌, 第60巻1号: p113)

第28回日本骨代謝学会 2010年7月21日

AHCC は炎症性サイトカインによる NO 産生を抑制し間葉系幹細胞の骨芽細胞への初期分化を維持する: 八上公利, 西澤幹雄, 代田達夫, 三浦健人, 柳沢 茂 (日本骨代謝学会プログラム集: 218)

第21回甲信越北陸口腔保健研究会総会 2010年7月

ニコチン曝露によるストレスとクロモグラニン A の関連性について: 定岡 直, 笠原 香, 八上公利, 中根 卓, 小口久雄, 柳沢 茂 (日本口腔衛生学会雑誌 **61**: 79, 2010)

第5回信州公衆衛生学会総会・学術総会 2010年8月

ニコチン曝露によるストレスとクロモグラニン A の関連性についての報告: 定岡 直, 笠原 香, 八上公利, 中根 卓, 小口久雄, 柳沢 茂 (信州公衆衛生学会雑誌 **5**: 72-3, 2010)

第40回日本口腔インプラント学会 2010年9月18日

培養骨髄間葉系細胞を再生療法に適用するための

基礎的研究：寺本祐二，上松隆司，丹羽 崇，八上公利，宇田川信之（日本口腔インプラント学会誌，第23巻特別号：p287）

第59回日本口腔衛生学会・学術総会 2010年10月

ヒト歯根膜線維芽細胞組織傷害因子と Chromogranin A の関連性について：定岡 直，笠原 香，八上公利，中根 卓，柳沢 茂（日本口腔衛生学会雑誌 60：415，2010）

アセチル化  $\alpha$ -グルカンは細菌性炎症による活性酸素産生を抑制し骨芽細胞の分化を促進する：八上公利，定岡 直，中根 卓，笠原 香，柳沢 茂（口腔衛生学会雑誌 60：4：p378，2010）

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

柳沢 茂，定岡 直，笠原 香，中根 卓，小口久雄，八上公利：ヒト歯根膜線維芽細胞傷害因子と Chromogranin A との関連性について

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

八上公利，中村浩志，中村美どり，寺本祐二，定岡 直：幾何構造理論による骨誘導能と永続的維持能を持つチタニウム繊維体を用いたインプラント体の開発

#### 日本学術振興会科学研究費による研究

八上公利，柳沢 茂，中根 崇，定岡 直：糖尿病骨粗鬆症合併症に対する新規骨再生療法の開発（基盤研究（C））

#### 教育学習支援センター

#### 著 書

音琴淳一，栢 豪洋，編著（2011）歯周病学，クインテッセンス出版，東京。

#### 論文発表

Otsuka N, Okafuji N, Ochiai T, Kimura A, Hasegawa H and Kurihara S (2010) Measurement of enamel width diameter as basis of stripping in orthodontic treatment. *J Hard Tissue Biol* 19：51-6.

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (2010) Possibility of odontoblasts activity up-regulation due to orthodontic mechanical stress in Mice. *J Hard Tissue Biol* 19：13-6.

Matsuda H, Nakano K, Muraoka R, Tomoda M,

Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (2010) BMPs and related factors appearing in the mouse periodontal tissue due to orthodontic mechanical stress. *J Hard Tissue Biol* 19：153-60.

安東信行，小笠原 正，河瀬聡一朗，岡田芳幸，松尾浩一郎（2010）歯科診療体位による気道狭窄への影響。障害者歯科 31(1)：38-44.

時崎匡史，奥村雅代，大木絵美，岡藤範正，栗原三郎，山田一尋，宇都野 創，田所 治，金銅英二（2010）下歯槽神経切断モデルラットにおける三叉神経節非損傷神経の遺伝子発現動態解析-感覚異常発生との関連-。松本歯学 36：93-106.

山木貴子，山木 誠，清水由美，岡藤範正，鷹股哲也（2010）筋機能訓練装置を応用し長期安定性を得た側方開咬矯正治療症例。歯科審美 22：127-33.

佐藤将洋，河瀬雄治，齋藤喜久，鍋山篤史，内山真紀子，安西正明，音琴淳一，山本昭夫，笠原悦男（2010）アナターゼ型二酸化チタンの光触媒作用の解析。日歯保存誌 53：619-26.

#### その他学術著作物

岡藤範正（2010）アジア国際外傷歯学会が果たす役割。ザ・クインテッセンス 29(3)：181-3.

#### 学会発表

Biennial Conference of European Association of Oral Medicine (10<sup>th</sup>) Incorporating the World Workshop on Oral Medicine, London, September, 2010

HSP expression as recovery reaction in orthodontic periodontal tension sides : Muraoka R, Nakano K, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (*Oral Dis* 16：529, 2010)

Expression of Runx2 in dental root pulp cells due to orthodontic mechanical stress : Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (*Oral Dis* 16：529, 2010)

Asian Science Seminar (6<sup>th</sup>), Taichung, Taiwan, November, 2010

Heat Shock Proteins (HSPs) appearing in orthodontic periodontal tissues : Muraoka R, Nakano K, Matsuda H, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (Program & Abstract book p17)

BMPs and related factors appearing in the orthodontic periodontal tension sides in mice : Matsuda H, Muraoka R, Nakano K, Okafuji N, Yamada K and Kawakami T (Program & Abstract book p33)

日本歯科医学教育学会総会・学術大会（第29回）2010年7月

ファシリテータ養成講座事例紹介：歯科医学教育における一貫性のある医療コミュニケーションの試

み：音琴淳一，岡藤範正

医療面接評価者養成方法によるスキル向上の比較：音琴淳一，倉澤郁文，岡藤範正，黒岩昭弘，山本昭夫（プログラム・抄録集 p85）

歯学部初年次教育におけるリテラシー教育の実践 -「学ぶ」ためのレポート作成-：瀬村江里子，赤羽 仁，金井 優，志村美智子，田村愛結子，松下雅衣，岡藤範正（プログラム・抄録集 p105）

松本歯科大学大学院初年時大学院生の抱える諸問題分析：音琴淳一，倉澤郁文，岡藤範正，宮沢裕夫（プログラム・抄録集 p157）

平成22年度 教育改革 ICT 戦略大会2010年 9月

自己学習を促す学力強化システムの確立：富田美穂子，音琴淳一，倉澤郁文，岡藤範正，古川洋和，増田裕次，瀬村江里子，吉澤英樹，長谷川博雅

硬組織再生生物学会総会（第19回）2010年 9月

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜組織における HSP の発現変化：村岡理奈，中野敬介，松田浩和，岡藤範正，栗原三郎，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集 p48；J Hard Tissue Biol 19：210，2010）

メカニカルストレスにより惹起されるマウス歯根膜細胞における BMPs：松田浩和，村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集 p49；J Hard Tissue Biol 19：210，2010）

総合歯科医療に関する学術研究セミナー2010  
2010年10月

松本歯科大学および松本歯科大学病院における一般歯科教育：音琴淳一，倉澤郁文，黒岩昭弘，山本昭夫，宮沢裕夫（プログラム・抄録集 p11）

日本矯正歯科学会大会（第69回）2010年10月

歯科矯正力が惹起する HSP27 のマウス歯根膜細胞における局在変化：村岡理奈，中野敬介，松田浩和，共田真紀，岡藤範正，栗原三郎，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集 p178）

メカニカルストレスにより惹起されるマウス歯根膜細胞における BMPs とその関連因子：松田浩和，村岡理奈，中野敬介，岡藤範正，山田一尋，川上敏行（プログラム・抄録集 p180）

日本障害者歯科学会総会および学術大会（第27回）2010年10月

開口とラバーダム装着が咽頭腔の狭窄に及ぼす影響：岩谷和大，松尾浩一郎，脇本仁奈，河瀬聡一朗，安東信行，望月慎恭，福澤雄司，小笠原 正（プログラム・抄録集 p180；障害者歯科 第31巻第3号：394，2010）

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会（第16回）2010年 9月

開口位が上気道狭窄へ及ぼす影響：岩谷和大，小笠原 正，松尾浩一郎，河瀬聡一朗，脇本仁奈，安東信行（プログラム・抄録集 p 219；日摂食嚥下リハ会誌 14(3)：341-2，2010）

## 特別講演

産学協同ネットワーク2010 2010年 9月

現在の歯科臨床技術と歯科医学教育開発：音琴淳一（プログラム p75-7）

長野県歯科衛生士会・小諸支部研修会 2010年 9月

最新の歯周治療について：音琴淳一

日本外傷歯学会総会・学術大会（第10回）2010年 11月

外傷歯治療のガイドライン～歯科矯正学的見地から～：岡藤範正（プログラム・抄録集 p26）

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

岡藤範正，中野敬介，富田美穂子，川上敏行，辻橋秀次：骨髄幹細胞を用いた歯科矯正学的リモデリングの促進とその分子調節機構の解明（基盤研究 C）

中野敬介，岡藤範正，川上敏行：メカニカルストレスが惹起する細胞分化の分子調節機構（基盤研究 C）

## 総合診療科（初診）

## 論文発表

鷹股哲也，橋井公三郎，山木貴子，中村貴美，加藤優美子，安西正明，正村正仁，岡田芳幸（2010）マウスガード材の粘弾性特性と衝撃減衰能に関する基礎的研究。スポーツ歯学 13：60-9.

渡邊武寛，中野敬介，清水貴子，岡藤範正，栗原三郎，山田一尋，川上敏行（2010）歯科矯正学的牽引側における歯根膜線維芽細胞の免疫組織化学。J Hard Tissue Biology 18：175-80.

山木貴子，山木 誠，清水由美，岡藤範正，鷹股哲也（2010）筋機能訓練装置を応用した長期安定性を得た側方開咬矯正治療症例。歯科審美 2：127-33.

Nakatsuka Y, Yamashita S, Niimura H, Mizoue S, Tsuchiya S and Hashii K (2010) Location of main occluding areas and masticatory ability in patients with reduced occlusal support. Aust Dent J 55：45-50.

溝上真也，山下秀一郎，橋井公三郎，中塚佑介（2010）咀嚼側の違いが下顎の咀嚼運動経路に及ぼす影響。日補綴会誌 2：78-87.

## 学会発表

日本スポーツ歯科医学会・学術大会（第21回）2010年 7月

マウスガード材の衝撃荷重時の反発性能に関する

実験的研究-高速度カメラによる動体解析-：鷹股哲也，橋井公三郎，岡田芳幸，中村貴美，加藤優美子，安西正明，正村正仁

International Association for Dental Research, 88<sup>th</sup> General Session of the IADR, July, 2010

Location of main occluding areas and masticatory ability : Nakatsuka Y, Tanigawa Y, Yamashita S, Hashii K and Kasahara T

#### 学術講演会

鷹股哲也：「歯・健康・スポーツ」2010年1月21日  
松本歯科大学講義館202教室 高等教育コンソーシアム信州

鷹股哲也：「スポーツマウスガードの基礎」2010年11月5日 松本歯科医師会館 松本歯科医師会全員協議会

鷹股哲也：「スポーツと歯と健康について」2010年12月21日 長野県小諸高等学校音楽ホール 養護教諭部会・保健主事部会合同研修会

#### 口腔インプラント科

#### 学会発表

第71回松本歯科大学学会（例会）（塩尻市）11月13日

上顎前歯部インプラント埋入後に歯肉退縮を起した1症例：三木 学，高橋美穂，中塚佑介，堂東亮輔，植松賢治郎，高橋弘太郎，田口 明，山下秀一郎，植田章夫，吉成伸夫

第14回日本顎顔面インプラント学会学術大会（浦安市）12月4日，5日

再生不良性貧血患者のデンタルインプラントを除去した一例：寺本祐二，上松隆司，丹羽 崇，高田匡基，丸山和夫，中澤高志，秋田大輔，山下秀一郎，古澤清文，植田章夫

#### 病院歯科技工士室

#### 学会発表

日本口腔インプラント学会（第40回）2010年9月  
インプラントにおける作業用模型製作法の違いによる3次元的寸法精度の比較検討：汲田 健，三溝恒幸，吉田貴光，山下秀一郎

#### 講演会

新歯科医療応用機器研究会 2010年11月

歯科技工所の工程及びニーズ説明：汲田 健

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

汲田 健，三溝恒幸，吉田貴光，山下秀一郎：インプラントにおける作業用模型製作法の違いによる3次元的寸法精度の比較検討

#### 総合歯科医学研究所

#### 硬組織疾患制御再建学部門 硬組織形態解析学ユニット

#### 論文発表

Moriyama K, Watanabe S, Iida M and Sahara N (2010) Plate-like permanent dental laminae of upper jaw dentition in adult gobiid fish, *Sicyopterus japonicus*. *Cell Tissue Res* **340** : 189-200.

Aoki S, Honma M, Kariya Y, Nakamichi Y, Ninomiya T, Takahashi N, Udagawa N and Suzuki H (2010) Function of OPG as a traffic regulator for RANKL is crucial for controlled osteoclastogenesis. *J Bone Miner Res* **25** : 1907-21.

Tanaka K, Tanaka S, Sakai A, Ninomiya T, Arai Y and Nakamura T (2010) Deficiency of vitamin A delays bone healing process in association with reduced BMP2 expression after drill-hole injury in mice. *Bone* **47** : 1006-12.

Nakamura H, Yukita A, Ninomiya T, Hosoya A, Hiraga T and Ozawa H (2010) Localization of Thy-1-positive cells in the perichondrium during endochondral ossification. *J Histochem Cytochem* **58** : 455-62.

Hiraga T, Ninomiya T, Hosoya A and Nakamura H (2010) Administration of the bisphosphonate Zoledronic Acid during tooth development inhibits tooth eruption and formation, and induces dental abnormalities in rats. *Calcified Tissue Int* **56** : 502-10.

Hosoya A, Ninomiya T, Hiraga T, Yoshida K, Yoshida N, Kasahara E, Ozawa H and Nakamura H (2010) Potential of periodontal ligament cells to regenerate alveolar bone. *J Oral Biosci* **52** : 72-80.

#### その他の学術著作物

二宮 禎：海外文献紹介 (2010) *The BONE* **24** (1) : 82-3.

二宮 禎：歯根膜細胞の再生医療への有用性

(2010) 歯界展望 **115**(3) : 564-5.

### 学会発表

日本農芸化学会 (2010年度大会) 平成22年3月  
 卵巣摘出マウスの骨密度低下に対するホノキオール  
 の抑制効果: 浅井みどり, 李 順燕, 佐藤征子,  
二宮 禎, 小澤英浩, 山口宏二, 米澤貴之, 車  
 炳允, 照屋俊明, 大西素子, 永井和夫, 禹 濟泰

卵巣摘出マウスの骨密度低下に対するエピガロカ  
 テキンガレートの抑制効果: 李 順燕, 浅井みどり,  
二宮 禎, 小澤英浩, 山口宏二, 米澤貴之, 車  
 炳允, 照屋俊明, 永井和夫, 禹 濟泰

日本骨形態計測学会 (第30回) 平成22年5月

ラクトフェリンは細胞分化を制御し, 卵巣摘出  
 ラットの骨量減少を抑制する: 二宮 禎, 陳  
 彦呈, 細矢明宏, 平賀 徹, 中村浩彰, 小澤英浩 (第  
 30回日本骨形態計測学会抄録号 pS51)

日本骨代謝学会 (第28回) 平成22年7月

OPGによるRANKL細胞内選別輸送制御機構の解  
 析: 青木重樹, 本間 雅, 荻谷嘉顕, 中道裕子,  
二宮 禎, 高橋直之, 宇田川信之, 鈴木洋史 (抄録  
 集 p216)

骨芽細胞におけるRab27aおよびRab27bを介し  
 たRANKL放出制御: 荻谷嘉顕, 本間 雅, 青木  
 重樹, 二宮 禎, 中道裕子, 宇田川信之, 鈴木洋史  
 (抄録集 p244)

抗マウスRANKL中和抗体OYC1の単回投与によ  
 る4週間の持続的な骨量増加: 古屋優里子, 森  
 かおる, 富盛賀也, 二宮 禎, 保田尚孝 (抄録集  
 p190)

The 88<sup>th</sup> General Session & Exhibition of the In-  
 ternational Association for Dental Research, July,  
 2010

Quantitative analysis on effects of aging on or-  
 thodontic tooth movement. Kageyama T, Moriyama  
 K, Shimizu M, Kageyama Y, Yamada K and Sahara  
N (IADR Program book p71)

In-vivo micro CT forum (第2回) 平成22年8月

ラクトフェリンの骨に対する作用 -in vivo マイ  
 クロCTを用いた解析-: 二宮 禎

歯科基礎医学会 (第52回) 平成22年9月

歯根膜におけるビタミンDレセプターの局在とビ  
 タミンD<sub>3</sub>の作用について: 陳 彦呈, 二宮 禎,  
 平賀 徹, 細矢明宏, 宮沢裕夫, 中村浩彰 (J Oral  
 Biosci **52** Suppl : 122)

Thy-1陽性歯髓細胞の硬組織形成能に関する形態  
 学的研究: 細矢明宏, 平賀 徹, 二宮 禎, 雪田  
 聡, 中村浩彰 (J Oral Biosci **52** Suppl : 122)

日本矯正歯科学会大会 (第68回) 平成22年10月

加齢に伴う歯根膜組織の改造活性と矯正歯の移  
 動量との関係について: 影山 徹, 森山敬太, 清水

麻里子, 影山康子, 山田一尋, 佐原紀行 (第69回日  
 本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 p189)

32<sup>th</sup> American Society for Bone and Mineral Re-  
 search (ASBMR) Annual Meeting, October, 2010

Osteogenic potential of side population cells in  
 periodontal ligament : Ninomiya T, Hiraga T, Ho-  
 soya A and Nakamura H (ASBMR 2010, SU 0246)

A novel murine model of osteopetrosis by admini-  
 stration of a denosumab-like anti-murine RANKL  
 neutralizing monoclonal antibody : Yasuda H, Mori  
 K, Tomimori Y, Ninomiya T, Udagawa N and Fu-  
 ruya Y (ASBMR 2010, SU 0265)

OPG rather than RANKL regulates alveolar  
 bone loss : Koide M, Ninomiya T, Nakamura M, Ko-  
 bayashi Y, Yasuda H, Takahashi N and Udagawa  
 N (ASBMR 2010, MO 0151)

Rab27a and Rab27b are involved in stimulation-  
 dependent RANKL release from secretory ly-  
 sosomes in osteoblastic cells : Kariya Y, Honma M,  
 Hanamura A, Aoki S, Ninomiya T, Nakamichi Y,  
 Udagawa N and Suzuki H (ASBMR 2010, SU 0208)

Function of OPG as a traffic regulator for  
 RANKL is crucial for controlled osteoclastogenesis :  
 Aoki A, Honma M, Kariya Y, Nakamichi Y, Nino-  
 miya T, Takahashi N, Udagawa N and Suzuki H  
 (ASBMR 2010, MO 0201)

### 松本歯科大学推進研究費による研究

二宮 禎, 中村浩彰, 陳 彦呈: ラクトフェリン  
 による破骨細胞分化制御メカニズムの解明

中村浩彰, 二宮 禎, 陳 彦呈: 歯根膜細胞にお  
 けるビタミンDレセプター発現とビタミンDの作用  
 について

### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

二宮 禎, 平賀 徹, 小出雅則, 中村浩彰: 硬組  
 織形成における組織幹細胞微小環境の解明 (基盤研  
 究C)

平賀 徹, 細矢明宏, 二宮 禎, 小林泰浩: 骨髄  
 癌幹細胞を核とする癌骨転移の成立・進展メカニ  
 ズムの解明 (基盤研究B)

高橋直之, 溝口利英, 二宮 禎, 小林泰浩: Wnt  
 シグナルによる破骨細胞ニッチ制御機構の解明 (基  
 盤研究B)

山下照仁, 二宮 禎, 高橋直之: 抗癌剤アクチゲ  
 ニンの新しい骨吸収抑制機構の解明 (基盤研究C)

山下秀一郎, 平賀 徹, 二宮 禎: 骨折治癒メカ  
 ニズムを応用した歯科インプラントにおける新規骨  
 誘導法の開発 (基盤研究C)

溝口利英, 中道裕子, 山下照仁, 細矢明宏, 二宮

禎, 小出雅則: 骨代謝を調節するカーボンナノチューブの分子機構の解明 (新学術領域研究)

中村浩彰, 細矢明宏, 雪田 聡, 二宮 禎: 歯根膜組織幹細胞の誘導と再生歯科医療の可能性 (挑戦的萌芽)

硬組織疾患制御再建学部門  
硬組織機能解析学ユニット

論文発表

Takahashi N, Muto A, Arai A and Mizoguchi T (2010) Identification of cell cycle-arrested quiescent osteoclast precursors in vivo. *Adv Exp Med Biol* **658**: 21-30.

Aoki S, Honma M, Kariya Y, Nakamichi Y, Nino-miya T, Takahashi N, Udagawa N and Suzuki H (2010) Function of OPG as a traffic regulator for RANKL is crucial for controlled osteoclastogenesis. *J Bone Miner Res* **25**: 1907-21.

Lee JW, Kobayashi Y, Nakamichi Y, Udagawa N, Takahashi N, Im NK, Seo HJ, Jeon WB, Yonezawa T, Cha BY and Woo JT (2010) Alisol-B, a novel phyto-steroid, suppresses the RANKL-induced osteoclast formation and prevents bone loss in mice. *Biochem Pharmacol* **80**: 352-61.

Koide M, Kinugawa S, Takahashi N and Udagawa N (2010) Osteoclastic bone resorption induced by innate immune responses. *Periodontology* 2000 **54**: 235-46.

Naruse K, Fukuda M, Hasegawa H, Yagami K and Udagawa N (2010) Advanced alveolar bone resorption treated with implants, guided bone regeneration, and synthetic grafting: a case report. *Implant Dent* **19**: 460-7.

その他学術著作物

中村美どり, 中道裕子, 宇田川信之 (2010) 骨吸収と骨形成の調節機構の解明を目指す. *日本歯科評論* **70**: 9-11.

小出雅則, 高橋直之, 小澤英浩, 宇田川信之 (2010) カルシウムシグナルを介する骨吸収の制御. *THE BONE* **24**: 97-101.

中道裕子 (2010) 海外文献紹介: 野生型, TNAP欠損, NPP1欠損, または PHOSPHO1欠損マウスの骨芽細胞から単離した基質小胞による脱リン酸化反応の速度論的比較解析. *THE BONE* **24**: 398-9.

山下照仁 (2010) *Bone Journal Club*: 腸由来セロトニン合成の阻害薬は, 骨形成促進 (骨アナボリック作用) による骨粗鬆症治療の可能性がある. 骨粗

鬆症治療 **9**: 191.

山下照仁 (2010) *Bone Journal Club*: PGC1 $\beta$  は, 破骨細胞分化において PPAR $\gamma$  の活性化を介し, rosiglitazone による骨減少を誘導する. 骨粗鬆症治療 **9**: 281.

小林泰浩 (2010) *Bone Journal Club*: 骨芽細胞におけるインスリン受容体シグナルは, 骨形成と身体組成を調節する. 骨粗鬆症治療 **9**: 357.

特別講演

第26回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」2010年1月

歯髓細胞を用いた骨再生医療に関する橋渡し研究: 宇田川信之

第11回東葛リウマチ医会 2010年1月

破骨細胞による骨吸収の分子機構: 宇田川信之

奥羽大学歯学部歯科保存学講座医局総会講演会 2010年1月

歯槽骨の再生を目指した破骨細胞・骨芽細胞・歯髓細胞に関する基礎的研究: 宇田川信之

Korean Society of Osteoporosis 2010 Osteoporosis Expert Meeting 2010年2月

Osteoclasts. Role of osteoblasts in hormonal control of osteoclastic bone resorption: Udagawa N

Osteoimmunology Forum (第7回) 2010年2月

In vivo における破骨細胞前駆細胞の同定と分化機構の解析: 溝口利英

Bone Research Seminar (第4回) 2010年2月

Isolation and characterization of osteoclast precursors in vivo: Mizoguchi T

第327回脂溶性ビタミン総合研究委員会 2010年3月

活性型ビタミンD<sub>3</sub>による破骨細胞形成機構-M-CSF非依存的な破骨細胞形成におけるIL-34の役割-: 宇田川信之

2<sup>nd</sup> International Bone and Mineral Society Davos Workshop 2010年3月

Cell cycle-arrested osteoclast precursors: Takahashi N

International Congress of Endocrinology (第14回) 2010年3月

「JES-sponsored symposia」Osteoclasts and bone resorption. In vivo analysis of osteoclast precursors: Takahashi N (14<sup>th</sup> International Congress of Endocrinology プログラム集: p315)

第45回骨Ca代謝研究会 2010年6月

骨の再生を目指した破骨細胞・骨芽細胞・歯髓細胞に関する基礎研究: 宇田川信之

第1回歯髓細胞バンク学術フォーラム 2010年7月

再生医療の基礎と歯科領域の応用: 宇田川信之

日本骨代謝学会学術集会 (第28回) 2010年7月  
「ランチョンセミナー1」骨吸収を調節する RANKL-RANK 系: 高橋直之 (第28回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集: p142)

日本骨代謝学会学術集会 (第28回) 2010年7月  
「カレントコンセプト6 Osteoimmunology」破骨細胞形成における IL-34の役割: 中道裕子 (第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p140)

信州産学官連携機構新技術説明会 2010年8月  
骨量増加作用を有する RXR 受容体関連化合物の開発: 宇田川信之

日本炎症・再生学会 (第31回) 2010年8月  
「ミニシンポジウム: 骨免疫学と血管生物学の新展開」破骨細胞前駆細胞の起源と動態: 高橋直之 (第31回日本炎症・再生学会プログラム予稿集: p298)

Bone Biology Forum (第7回) 2010年8月  
Characteristics of osteoclast precursors in vivo : Takahashi N

岡山大学大学院セミナー 2010年9月  
骨の再生を目指した破骨細胞・歯髄細胞・骨髄細胞に関する研究: 宇田川信之

Meeting of Korean Society of Bone Metabolism (第22回) 2010年11月

「Satellite Symposium, New Molecules for osteoclast regulation」Noncanonical Wnt signaling and osteoclastogenesis : Takahashi N (22<sup>nd</sup> Meeting of Korean Society of Bone Metabolism プログラム集: p111)

骨・軟骨フロンティア (第4回) 2010年11月  
破骨細胞形成における IL-34の役割: 中道裕子  
九州歯科大学分子情報生化学セミナー 2010年11月

骨芽細胞・歯髄細胞に関する基礎研究: 宇田川信之

徳島 Bone Forum (第10回) 2010年12月  
破骨細胞形成を調節する骨芽細胞の新しい役割: 高橋直之

第10回 Dentistry, Quo Vadis? 2010年12月  
ヒト骨髄・歯髄由来細胞の骨再生への応用に関する課題: 宇田川信之

日本私立歯科大学協会第8回教務研修会 (シンポジウム) 2010年12月

ゆとり教育世代の歯学部教育改善を考える-専門教育への橋渡しを探る- : 宇田川信之

## 学会発表

2<sup>nd</sup> International Bone and Mineral Society Davos Workshop 2010年3月

Isolation and characterization of osteoclast precursors in vivo : Mizoguchi T

日本再生医療学会総会 (第9回) 2010年3月18-19

日  
Cell Processing center を利用した骨再生療法の確立: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 下平滋隆, 脇谷滋之, 中村美どり, 八上公利, 宇田川信之, 古澤清文 (日本再生医療学会雑誌増刊号: p232, 2010)

日本小児歯科学会大会 (第48回) 2010年5月19日  
BMP 誘導性異所性骨形成に関する大理石骨病マウスを用いた解析: 中村美どり, 中村浩志, 宇田川信之, 宮沢裕夫 (小児歯科学雑誌 48 : p211, 2010)

松本ボンフォーラム (第9回) 2010年5月21日  
破骨細胞前駆細胞の形成と供給における M-CSF と IL-34の役割: 中道裕子

3<sup>rd</sup> International Conference on Osteoimmunology : Interactions of the Immune and Skeletal systems 2010年6月20-25日

Ror2-mediated noncanonical Wnt signaling enhances RANKL-induced osteoclast formation in physiological and pathological conditions : Kobayashi Y, Maeda K, Ishihara A, Uehara S, Takada I, Kato S, Nishita M, Minami Y, Marumo K, Udagawa N and Takahashi N

松本歯科大学学会例会 (第70回) 2010年7月10日  
破骨細胞の分化と機能を抑制する天然化合物アルクテゲニンの作用機序の解明: 山下照仁, 李 峰, 上原俊介, 小林泰浩, 宇田川信之, 門田重利, 高橋直之

歯髄細胞の高い骨再生能力は, Annexin A8 ロングフォームを介して発揮される: 中道裕子, 萩原貴寛, 中村美どり, 今岡朝代, 安孫子宜光, 中村浩志, 高橋直之, 宇田川信之

日本骨代謝学会学術集会 (第28回) 2010年7月21-23日

Wnt5a は RANK の発現を亢進し, 破骨細胞分化を促進する: 小林泰浩, 前田和洋, 上原俊介, 高田伊知郎, 加藤茂明, 丸毛啓史, 宇田川信之, 高橋直之 (第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p168, 2010)

漢方牛蒡子由来のアルクテゲニンは破骨細胞の分化と機能を抑制する: 山下照仁, 上原俊介, 小林泰浩, 宇田川信之, 高橋直之 (第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p227, 2010)

簡便な破骨細胞の極性解析法の確立: 中山貴裕, 川原一郎, 上原俊介, 山下照仁, 溝口利英, 小林泰浩, 小澤英浩, 宇田川信之, 高橋直之 (第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p212, 2010)

OPG による RANKL 細胞内選別輸送機構の解析: 青木茂樹, 本間 雅, 荻谷嘉顕, 中道裕子, 二宮 禎, 高橋直之, 宇田川信之, 鈴木洋史 (第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p216, 2010)

骨芽細胞における Rab27a および Rab27b を介した RANKL 放出制御: 荻谷嘉顕, 本間 雅, 青木



茂樹, 二宮 禎, 中道裕子, 宇田川信之, 鈴木洋史 (第28回日本骨代謝学会プログラム抄録集: p244, 2010)

BMP 研究会 (第17回) 2010年 7月24日

大理石骨病マウスを用いた BMP 誘導性異所性骨形成の解析: 宇田川信之, 中村美どり, 溝口利英, 高橋直之 (抄録集: p5)

松本歯科大学推進研究報告会 2010年 8月17日

歯髄細胞の有する石灰化機能のメカニズム解明: 中道裕子, 萩原貴寛, 中村美どり, 細矢明宏, 山田一尋, 宮沢裕夫, 宇田川信之

純チタン板上における新バイオ界面の形成-各種足場材料の検討とその固定法-: 洞澤功子, 山下照仁, 上原俊介

第2回 in vivo Micro CT Forum 2010年 8月27日

骨吸収亢進マウスにおける歯槽骨吸収のマイクロCT解析: 小出雅則, 二宮 禎, 中村美どり, 新井嘉則, 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之

32<sup>nd</sup> American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) Annual Meeting 2010年10月15-19日

OPG rather than RANKL regulates alveolar bone loss: Koide M, Ninomiya T, Nakamura M, Kobayashi Y, Yasuda H, Takahashi N and Udagawa N (演題番号 MO 0151)

Function of OPG as a traffic regulator for RANKL is crucial for controlled osteoclastogenesis: Aoki S, Honma M, Kariya Y, Nakamichi Y, Ninomiya T, Takahashi N, Udagawa N and Suzuki H (演題番号 MO 0201)

Rab27a and Rab27b are involved in stimulation-dependent RANKL release from secretory lysosomes in osteoblastic cells: Kariya Y, Honma M, Hanamura A, Aoki S, Ninomiya T, Nakamichi Y, Udagawa N and Suzuki H (演題番号 SU 0208)

松本歯科大学学会例会 (第71回) 2010年11月13日

Wnt シグナルによる破骨細胞分化調節機構の解析: 小林泰浩, 溝口利英, 高橋直之, 上原俊介, 宇田川信之

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

高橋直之, 小林泰浩, 溝口利英, 二宮 禎: Wnt シグナルによる破骨細胞ニッチ制御機構の解明 (基盤研究 B)

宇田川信之, 小出雅則, 中村美どり, 中道裕子, 上原俊介: 歯槽骨破壊を阻止するための新規治療法開発の基礎研究 (基盤研究 B)

小林泰浩, 高橋直之, 平賀 徹, 山下照仁, 溝口利英: 矯正治療への応用を目指した Wnt5a による歯槽骨-骨代謝回転制御機構の解明 (基盤研究 B)

宮沢裕夫, 中村浩志, 中村美どり, 中道裕子,

宇田川信之: 歯髄細胞による硬組織再生機構の解明 (基盤研究 B)

山下照仁, 高橋直之, 二宮 禎: 抗癌剤アクチゲニンの新しい骨吸収抑制機構の解明 (基盤研究 C)

中村美どり, 宮沢裕夫, 中村浩志, 中道裕子, 宇田川信之: 歯髄・歯根膜細胞を用いた顎骨再生医療を目指した基礎研究 (基盤研究 C)

深澤加與子, 中道裕子, 上原俊介, 中村美どり, 宇田川信之: 歯髄細胞を用いた硬組織再生の試み (基盤研究 C)

二宮 禎, 平賀 徹, 小出雅則, 中村浩彰: 硬組織形成における組織幹細胞微小環境の解明 (基盤研究 C)

高橋直之, 小林泰浩, 上原俊介, 宇田川信之: 破骨細胞の波状縁形成を誘導する Wnt-Ror2 シグナル (挑戦的萌芽研究)

宇田川信之, 中道裕子, 小林泰浩, 上原俊介, 山下照仁: 破骨細胞が分泌する新規骨形成誘導因子の同定 (挑戦的萌芽研究)

小林泰浩, 中道裕子: 破骨細胞が分泌する Wnt は骨形成を誘導するか? (挑戦的萌芽研究)

中村浩志, 山下照仁, 中村美どり, 小出雅則, 宇田川信之, 宮沢裕夫: LPS シグナルを用いた口腔粘膜疾患モデルの開発 (挑戦的萌芽研究)

穴田貴久, 鈴木 治, 溝口利英: 破骨細胞培養系における非侵襲的細胞回収装置の開発と応用 (挑戦的萌芽研究)

溝口利英, 中道裕子, 山下照仁, 細矢明宏, 二宮 禎, 小出雅則: 骨代謝を調節するカーボンナノチューブの分子機構の解明 (新学術領域研究: 研究課題提案型)

溝口利英: 破骨細胞前駆細胞プールによる骨代謝調節機構の解析 (若手研究 B)

中道裕子: 破骨細胞前駆細胞の誕生および供給における新規サイトカイン IL-34 の役割 (若手研究 B)

小出雅則: 新規炎症性歯周病モデルの作製および治療薬の評価 (若手研究 B)

科学技術振興機構研究成果最適展開支援事業 (A-STEP) による研究

小林泰浩: Ror2 受容体シグナル遮断による骨破壊阻害薬の開発

山下照仁: NFATc1 を標的とした新しい作用機序の骨吸収抑制薬の開発

松本歯科大学推進研究費による研究

高橋直之, 吉成伸夫, 武藤昭紀, 荒井 敦, 中村浩彰, 小出雅則, 溝口利英: 歯周組織における破骨細胞形成機構の in vivo 解析

宇田川信之, 宮沢裕夫, 山田一尋, 細矢明宏, 中道

裕子, 中村美どり : 歯髄細胞の有する石灰化機構のメカニズム解明

洞澤功子, 宇田川信之, 山下照仁, 上原俊介 : 細胞接着性タンパク質にて修飾した純チタン板上での骨芽細胞の分化メカニズムについて

#### その他の研究助成

高橋直之 : 中外製薬株式会社との共同研究 (骨代謝に関する研究)

宇田川信之 : 株式会社ヨシオカとの協同研究 (医療用インプラントに関する研究)

小林泰浩 : 内藤記念特定研究助成金

溝口利英 : 内藤記念特定研究助成金

硬組織疾患制御再建学部門  
遺伝子・再生工学ユニット

#### 論文発表

Osawa M, Yamakura F, Mihara M, Okubo Y, Yamada K and Hiraoka BY (2010) Conversion of the metal-specific activity of *Escherichia coli* Mn-SOD by site-directed mutagenesis of Gly 165 Thr. *Biochim Biophys Acta* **1804** : 1775-9.

Fukasawa KM, Hirose J, Hata T and Ono Y (2010) In rat dipeptidyl peptidase III, His568 is essential for catalysis, and Glu507 or Glu512 stabilizes the coordination bond between His455 or His450 and zinc ion. *Biochim Biophys Acta* **1804** : 2063-9.

Osawa M, Mihara M, Kikuchi Y, Okubo Y, Yamada K, Hirai H and Hiraoka BY (2010) Immunoassay based on a polyclonal antibody for the quantification of *Porphyromonas gingivalis* SOD : a preliminary report. *松本歯学* **36** : 1-6.

廣瀬順造, 秦季之, 深澤加與子 (2010) 酵素反応速度論と計算化学の相補的利用による酵素反応機構の解析. *福山大学 薬学部研究年報* **28** : 1-22.

#### 学会発表

金属の関与する生体関連反応シンポジウム (第20回) 2010年6月

In Rat Dipeptidyl Peptidase III, Glu507 or Glu512 Stabilizes the Coordination Bond between His455 or His450 and Zinc Ion : Hirose J, Fukasawa KM, Hata T and Ono Y (プログラム : P 35)

松本歯科大学学会 (第71回) 2010年7月

黄色ブドウ球菌 V8 プロテアーゼの A549細胞への影響-IL-8の誘導を中心として : 平井 要, 菊池

有一郎, 上田青海, 柴田幸永, 木曾有紀子, 大石真太郎, 宮下みどり, 大久保裕一郎, 平岡行博, 加藤哲男, 石原和幸, 藤村節夫

歯科基礎医学会学術大会 (第52回) 2010年9月

空気曝露による *P. gingivalis* SOD の発現量の変化 : 小町谷美帆, 平井 要, 三原正志, 大澤雅樹, 菊池有一郎, 黒岩昭弘, 山田一尋, 平岡行博 (*J Oral Biosci* 第52巻 抄録集 p.185)

日本分子生物学会年会 (第32回), 日本生化学会大会 (第83回) 合同年会 2010年12月

歯周病原菌 SOD 発現量の酸化ストレスによる変化 : 三原正志, 小町谷美帆, 大澤雅樹, 山倉文幸, 平井 要, 菊池有一郎, 茂木真希雄, 山田一尋, 黒岩昭弘, 平岡行博 (学会プログラム p.329)

In rat dipeptidyl peptidase III, His568 is essential for catalysis, and Glu507 or Glu512 stabilizes the coordination bond between His455 or His450 and zinc ion : Fukasawa KM, Hirose J, Hata T and Ono Y (学会プログラム p.399)

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

平岡行博, 大澤雅樹, 小町谷美帆, 三原正志 : *P. gingivalis* スーパーオキシドジスムターゼの金属寛容性を発現するアミノ酸残基の検討

硬組織疾患制御再建学部門  
硬組織疾患病態解析学ユニット

#### 著書

Kawakami T, Nakano K, Shimizu T, Watanabe T, Muraoka R, Kimura A and Hasegawa H (2010) Chapter 6 : Immunohistochemical basis for orthodontic treatment. in Fuchs S and Auer M Ed : *Biochemistry and Histochemistry Research Development*. p117-41, Nova Science Publishers, New York, USA ; Hardcover, ISBN : 978-1-60876-283-5 ; ebook, ISBN : 978-1-61668-932-2

#### 論文発表

Siar CH, Nakano K, Chelvanayagam PI, Ng KH, Nagatsuka H and Kawakami T (2010) An unsuspected ameloblastoma in the subpontic region of the mandible with consideration of pathogenesis from the radiographic course. *Eur J Med Res* **15** : 153-8.

Siar CH, Nakano K, Ng KH, Tomida M, Nagatsuka H and Kawakami T (2010) Squamous odontogenic tumor of the mandible : A case report dem-

onstrating immunoexpression of Notch 1, 3, 4, Jagged 1, 2 and Delta 1. *Eur J Med Res* **15** : 180-4.

Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (2010) Possibility of odontoblasts activity up-regulation due to orthodontic mechanical stress in mice. *J Hard Tissue Biol* **19** : 13-6.

Murata M, Kawai T, Kawakami T, Akazawa T, Tazaki J, Ito K, Kusano K and Arisue M (2010) Human acid-insoluble dentin with BMP-2 accelerates bone induction in subcutaneous and intramuscular tissue. *J Ceram Soc Jpn* **118** : 438-41.

Siar CH, Nagatsuka H, Chuah KS, Rivera RS, Nakano K, Ng KH and Kawakami T (2010) Notch 4 overexpression in ameloblastoma correlates with the solid/multicystic phenotype. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod* **110** : 224-33.

Siar CH, Nakano K, Han PP, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (2010) Differential expression of Notch receptors and their ligands in desmoplastic ameloblastoma. *J Oral Pathol Med* **39** : 552-8.

Siar CH, Ha KO, Aung LO, Nakano K, Tsujigiwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (2010) Immunolocalization of Notch signaling protein molecules in a maxillary chondrosarcoma and its recurrent tumor. *Eur J Med Res* **15** : 456-60.

Muraoka R, Nakano K, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (2010) Immunohistochemical expression of heat shock proteins in the mouse periodontal tissues due to orthodontic mechanical stress. *Eur J Med Res* **15** : 475-82.

Nakano K, Siar CH, Tomida M, Matsuura S, Tsujigiwa H, Nagatsuka H and Kawakami T (2010) Immunohistochemical observation of Notch signaling in a case of calcifying cystic odontogenic tumor. *J Hard Tissue Biol* **19** : 147-52.

Matsuda H, Nakano K, Muraoka R, Tomoda M, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (2010) BMPs and related factors appearing in the mouse periodontal tissue due to orthodontic mechanical stress. *J Hard Tissue Biol* **19** : 153-60.

Siar CH, Chuah KS, Nakano K, Rivera RS, Tsujigiwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (2010) Immunohistochemical study of Notch signaling proteins in the calcifying epithelial odontogenic tumor (Pindborg tumor). *J Hard Tissue Biol* **19** : 167-74.

落合隆永, 中野敬介, 木村晃大, 相澤聡一, 福沢正人, 上松隆司, 古澤清文, 川上敏行, 長谷川博雅 (2010) 口腔粘膜病変における液状化細胞診の検討. *松本歯学* **36** : 193-8.

## 学会発表

日本薬理学会年会 (第83回) 2010年3月

モデル動物を用いたタバコ煙曝露が及ぼす齲蝕への影響: 藤波義明, 中野敬介, 福井達也, 荒敏昭, 今村泰弘, 服部敏己, 川上敏行, 王宝禮 (*J Pharmacol Sci* **112**(S) : 157, 2010)

日本病理学会総会 (第99回) 2010年4月

Squamous odontogenic tumorの1症例: Notchとその関連因子の検討: 中野敬介, 長塚仁, 川上敏行 (*日病会誌* **99** : 313, 2010)

口腔粘膜上皮異形成症におけるデスモゾームタンパク質の変化: 落合隆永, 中野敬介, 木村晃大, 川上敏行, 長谷川博雅 (*日病会誌* **99** : 309, 2010)

日本臨床口腔病理学会総会 (第21回) 2010年7月

石灰化嚢胞性歯原性腫瘍の1例-Notchの免疫組織学的検討-: 中野敬介, 辻極秀次, 長塚仁, 長谷川博雅, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p133)

上顎歯肉に発生した Histiocytic sarcoma の1例: 落合隆永, 相澤聡一, 木村晃大, 中野敬介, 川上敏行, 長谷川博雅 (プログラム・抄録集 p144)

International Association for Dental Research (88<sup>th</sup>), Barcelona, Spain, July, 2010

Notch expression patterns and ameloblastoma phenotypes: Siar CH, Nakano K, Chuah KS, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T (*J Dent Res* **89** (Sp Iss B) Abstract No. 3478, 2010)

International Congress of Oral Pathology and Medicine (15<sup>th</sup>), Seoul, Korea, August, 2010

Wnt-antagonist sFRP-2 inhibits bone formation and promotes cell proliferation in ameloblastoma: Nagatsuka H, Ara SGS, Katase N, Siar CH, Kawakami T, Tamamura R, Hirata Y and Tsujigiwa H (Program and Abstract book p88)

Three regions in 1p36 are preferentially deleted in oral squamous cell carcinoma: Tsujigiwa H, Lefevre M, Gunduz M, Siar CH, Katase N, Tamamura R, Nakano K and Nagatsuka H (Program and Abstract book p154)

硬組織再生生物学会総会 (第19回) 2010年9月

メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜組織における HSP の発現変化: 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p48; *J Hard Tissue Biol* **19** : 210, 2010)

メカニカルストレスにより惹起されるマウス歯根膜細胞における BMPs: 松田浩和, 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p49; *J Hard Tissue Biol* **19** : 210, 2010)

Annual Scientific Congress of Malaysian Oncological Society (30<sup>th</sup>), Kota Bharu, Kelantan, Malaysia, September, 2010

Immunolocalization of Notch signaling protein molecules in a maxillary chondrosarcoma and its recurrent tumor : Siar CH, Ha KO, Aung LO, Nakano K, Tsuji giwa H, Nagatsuka H, Ng KH and Kawakami T

Biennial Conference of European Association of Oral Medicine (10<sup>th</sup>) Incorporating the World Workshop on Oral Medicine, London, September 2010

Immunohistochemical expression of Notch signaling in calcifying cystic odontogenic tumor : Kawakami T, Siar CH, Nakano K, Tomida M, Matsuura S, Tsuji giwa H and Nagatsuka H (*Oral Dis* **16** : 517, 2010)

Changes of salivary glands and components due to cigarette smoke : Fujinami Y, Nakano K, Ara T, Fukui T, Imamura Y, Hattori T, Kawakami T and Wang PL (*Oral Dis* **16** : 523, 2010)

HSP expression as recovery reaction in orthodontic periodontal tension sides : Muraoka R, Nakano K, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (*Oral Dis* **16** : 529, 2010)

Expression of Runx2 in dental root pulp cells due to orthodontic mechanical stress : Nakano K, Muraoka R, Tomida M, Matsuura S, Okafuji N, Siar CH and Kawakami T (*Oral Dis* **16** : 529, 2010)

A case of histiocytic sarcoma localized in maxillary gingiva : Ochiai T, Nakano K, Kawakami T and Hasegawa H (*Oral Dis* **16** : 561, 2010)

日本矯正歯科学会大会 (第69回) 2010年10月

歯科矯正力が惹起する HSP27 のマウス歯根膜細胞における局在変化 : 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p178)

メカニカルストレスにより惹起されるマウス歯根膜細胞における BMPs とその関連因子 : 松田浩和, 村岡理奈, 中野敬介, 岡藤範正, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p180)

Asian Science Seminar (6<sup>th</sup>), Taichung, Taiwan, November, 2010

Role of Msx2 as an activator of Runx2 in periodontal tension side by orthodontic mechanical stress : Nakano K, Muraoka R and Kawakami T (Program & Abstract book p16)

Heat Shock Proteins (HSPs) appearing in orthodontic periodontal tissues : Muraoka R, Nakano K, Matsuda H, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (Program & Abstract book p17)

BMPs and related factors appearing in the orthodontic periodontal tension sides in mice : Matsuda H, Muraoka R, Nakano K, Okafuji N, Yamada K and Kawakami T (Program & Abstract book p33)

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

川上敏行, 長塚 仁, 中野敬介 : 骨吸収を惹起する増殖性病変における細胞分化の分子調節機構 (基盤研究 C)

中野敬介, 岡藤範正, 川上敏行 : メカニカルストレスが惹起する細胞分化の分子調節機構 (基盤研究 C)

岡藤範正, 中野敬介, 富田美穂子, 川上敏行, 辻極秀次 : 骨髄幹細胞を用いた歯科矯正学的リモデリングの促進とその分子調節機構の解明 (基盤研究 C)

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

川上敏行, 中野敬介, 富田美穂子, 村木英司, 前田初彦, Siar CH : 歯原性腫瘍の細胞分化における形態形成調節因子の解析

村岡理奈, 川上敏行, 中野敬介, 山田一尋, 松田浩和 : 歯科矯正治療によるメカニカルストレスが歯根膜組織に及ぼす傷害とその回復反応, および骨芽細胞分化への影響

硬組織疾患制御再建学部門  
生体材料学ユニット

#### 論文発表

Nagasawa S, Yoshida T, Tamura K, Yamazoe M, Hayano K, Arai Y, Yamada H, Kasahara E and Ito M (2010) Construction of database for three-dimensional human tooth models and its ability for education and research - Carious tooth models - . *Dent Mater J* **29** : 132-7.

江頭有三, 丸藤雅義, 前川修一郎, 田村 郁, 吉田貴光 (2010) インプラント材としてのチタンの熱処理温度と疲労破壊の関係. *日本口腔インプラント誌* **23** : 220-8.

Yamazoe M (2010) Study of corrosion of combinations of titanium/Ti-6 Al-4 V implants and dental alloys. *Dent Mater J* **29** : 542-53.

#### その他の学術著作物

永沢 栄 (2010) 有限要素法. 歯科材料・器械 **29** : 309-12.

#### 学位論文

Yamazoe M (2010) Study of corrosion of combinations of titanium/Ti-6 Al-4 V implants and dental alloys. *Dent Mater J* **29** : 542-53.

新納 亨 (2010) 衝撃荷重によるチタンインプラントの疲労破壊. 松本歯学

### 学会発表

第23回歯科チタン学会 2010年2月

インプラント材としてのTi-6Al-4V合金の変態温度と機械的性質の関係: 土井和弘, 田村 郁, 吉田貴光, 永沢 栄, 伊藤充雄, 宮沢裕夫 (チタンと歯科臨床 **8**: 37, 2010)

日本歯科理工学会 (第55回) 2010年4月

急速加熱型埋没材の加熱温度コントロールによる鋳造精度の向上: 竹内 賢, 永沢 栄, 吉田貴光, 田村 郁, 河瀬雄治, 山添正稔, 伊藤充雄 (歯科材料・器械 **29**: 133, 2010)

表面処理したジルコニアインプラント材の機械的性質と溶出について: 吉田貴光, 山添正稔, 田村 郁, 溝口利英, 柏原建記, 永沢 栄, 伊藤充雄 (歯科材料・器械 **29**: 139, 2010)

日本歯科保存学会 (第132回) 2010年5月

チタン材に接着した歯科用セメントの接着強さと熱膨張量の関係: 河瀬雄治, 吉田貴光, 佐藤将洋, 永沢 栄, 伊藤充雄, 内山真紀子, 山本昭夫, 笠原悦男 (日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集132回: 104, 2010)

松本歯科大学学会 (第70回) 2010年7月

咬合力によるインプラント体の疲労解析: 永沢 栄, 吉田貴光, 山添正稔 (松本歯学 **36**: 178)

IADR General Session, Barcelona, Spain 2010年7月

Mechanical Properties of 2-Piece-Type Zirconia Implants: Kawase Y, Yoshida T, Tamura K, Nagasawa S, Yamazoe M, Mizoguchi T, Kashiwabara T, Kasahara E and Ito M (Abstract USB memory)

Corrosion of combinations of titanium, Ti-6Al-4V implants, and dental alloys: Yamazoe M, Anraku T, Horiguchi K, Yoshida T, Tamura K, Nagasawa S and Ito M (Abstract USB memory)

Mechanical Properties and Dissolutions of Surface-Treated Zirconia Implant Materials: Yoshida T, Yamazoe M, Tamura K, Kawase Y, Takeuchi K, Mizoguchi T, Kashiwabara T, Nagasawa S and Ito M (Abstract USB memory)

日本口腔インプラント学会 (第40回) 2010年9月

2ピース型ジルコニアインプラントの機械的性質について: 河瀬雄治, 吉田貴光, 山添正稔, 永沢 栄, 伊藤充雄 (日本口腔インプラント学会誌 **23**: 278, 2010)

表面処理したインプラント用ジルコニアの機械的性質と溶出傾向について: 山添正稔, 安楽照男, 堀口浩治, 吉田貴光, 伊藤充雄 (日本口腔インプラント学会誌 **23**: 284, 2010)

インプラントにおける作業模型製作法のちがいによる3次元的寸法精度の比較検討: 汲田 健, 三溝恒幸, 吉田貴光, 山下秀一郎 (日本口腔インプラント学会誌 **23**: 307, 2010)

日本歯科理工学会 (第56回) 2010年10月

咬合力によるインプラント体の疲労解析: 永沢 栄, 吉田貴光, 山添正稔, 河瀬雄治, 竹内 賢 (歯科材料・器械 **29**: 408, 2010)

日本歯科保存学会 (第133回) 2010年10月

SAICAS法による歯科用セメントの接着強さ: 河瀬雄治, 吉田貴光, 佐藤将洋, 永沢 栄, 伊藤充雄, 内山真紀子, 山本昭夫, 笠原悦男 (日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集133回 114, 2010)

### 講演会

インプラント研究発表会 2010年10月

インプラント材料研究の現状と将来: 永沢 栄

### 松本歯科大学推進研究費

永沢 栄, 吉田貴光, 八上公利, 黒岩昭弘, 高橋直之: セラミックインプラントの構造設計

硬組織疾患制御再建学部門  
臨床病態評価学ユニット

### 著書

上松隆司, 古澤清文 (2010) 顎顔面の外傷. 白砂兼光, 古郷幹彦 (編), 口腔外科学, 第3版, pp85-124, 医歯薬出版, 東京.

### 論文発表

Usui Y, Uematsu T, Uchihashi T, Takahashi M, Takahashi M, Ishizuka M, Doto R, Tanaka H, Komazaki Y, Osawa M, Yamada K, Yamaoka M and Furusawa K (2010) Inorganic polyphosphate induces osteoblastic differentiation. J Dent Res **89**: 504-9.

Zhao E, Li X, Wang J, Yang J, Uematsu T and Furusawa K (2010) Immunohistochemical localization of aquaporin-6 and aquaporin-5 in the human submandibular gland. J Modern Stomatol **24**(5): 370-2.

Yamaoka M, Ishizuka M, Ishihama K, Takahashi M, Takahashi M, Yamada H, Teramoto Y, Yasuda K, Shiba T, Uematsu T and Furusawa K (2010) Bone formation without lamina dura in the middle

-aged and elderly : possible dependence on enamel. Clin Interv Aging **5** : 37-43.

李 憲起, 王金濤, 趙 二軍, 楊 静, 上松隆司, 古澤清文 (2010) 導管嚢胞を伴った耳下腺組織におけるアクアポリンの局在. 松本歯学 **36**(2) : 115-9.

丹羽 崇, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 高田匡基, 丸川和也, 松尾浩一郎, 武田龍太郎, 前島信也, 古澤清文 (2010) 下顎肉肉と食道に発生した同時性重複癌の1例. 松本歯学 **36** : 7-15.

岸本英子, 薄井陽平, 駒崎佑介, 上松隆司, 古澤清文, 山田一尋 (2010) 松本歯科大学病院矯正歯科における顎変形症患者の臨床統計的検討. Orthodontic Waves-Japanese Edition **69** : 118-25.

落合隆永, 中野敬介, 木村晃大, 相澤聡一, 福沢正人, 上松隆司, 古澤清文, 川上敏行, 長谷川博雅 (2010) 口腔粘膜病変における液状化細胞診の検討. 松本歯学 **36** : 193-8.

安藤 宏, 田所 治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二 (2010) カエル舌の茸状乳頭におけるサブスタンスP免疫陽性神経線維(その起源と神経化学マーカー物質との共存関係). 日本味と匂学雑誌 **17** : 243-6.

#### その他の学術著作物

川原一郎, 小澤英浩 (2010) 破骨細胞ミトコンドリア顆粒と骨吸収活性. The BONE **24** : 313-7.

#### 学会発表

第48回日本小児歯科学会大会 (名古屋) 2010年5月

シンバスタチンによるインプラント周囲骨形成の促進効果: 楊 静, 李 憲起, 武 峰, 新井嘉則, 宮沢裕夫

第48回日本小児歯科学会大会 (名古屋) 2010年5月

中国山西省小児の齲蝕に関わる環境要因の分析-口腔内診査およびアンケート結果から-: 張 楠, 陳 彦呈, 水谷智宏, 押領司 謙, 楊 静, 李 憲起, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

The IADR 84th General Session & Exhibition, Barcelona, Spain, 2010

Alpha-N-acetylgalactosaminidase is a candidate immunosuppressive factor in cancer patients : Uematsu T, Doto R, Ishizuka M, Niwa T, Marukawa K and Furusawa K

The IADR 84th General Session & Exhibition, Barcelona, Spain, 2010

Antitumoral Immunity by OK-432-conjugated Tumor Vaccine in Mice Cancer Model : Li X, Ue-

matsu T, Yang J, Takahashi M, Uchihashi T, Marukawa K, Akita D, Nakazawa T, Teramoto Y and Furusawa K

The IADR 84th General Session & Exhibition, Barcelona, Spain, 2010

Tetraspanin influences cell migration and DPP IV gene expression : Niwa T, Uematsu T, Takahashi M, Li X, Nakazawa T, Sugiura T, Shirasuna K, Yamaoka M and Furusawa K

The IADR 84th General Session & Exhibition, Barcelona, Spain, 2010

Cell processing system for bone regeneration : Teramoto Y, Uematsu T, Takahashi M, Doto R, Niwa T, Shimodaira S, Uemura T, Sato M, Tahara H, Wakitani S, Udagawa N and Furusawa K

The IADR 84th General Session & Exhibition, Barcelona, Spain, 2010

Inorganic polyphosphate accelerates mineralization in chondrogenic precursor cells : Takada M, Uematsu T, Takahashi M, Akita D and Furusawa K

The IADR 84th General Session & Exhibition, Barcelona, Spain, 2010

Therapeutic potential of inorganic polyphosphate in periodontitis : Ishizuka M, Uematsu T, Tanaka H, Iguchi K and Furusawa K

第14回日本顎顔面インプラント学会 (浦安市) 2010  
再生不良性貧血患者のデンタルインプラントを除去した1例: 寺本祐二, 上松隆司, 堂東亮輔, 高橋美穂, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 古澤清文

第14回日本顎顔面インプラント学会 (浦安市) 2010  
ヒト培養自己骨髄間葉系細胞を用いた骨造成: 上松隆司

第83回日本整形外科学会学術総会 (東京) 2010  
臨床への橋渡し研究の現況 関節軟骨・骨・椎間板 (ヒト幹細胞指針以前) 骨髄間葉系細胞移植による骨軟骨修復: 脇谷滋之, 堀部秀二, 加藤博之, 大串 始, 上松隆司, 宇田川信之

第27回日本骨代謝学会学術集会 (大阪市) 2010  
ポリリン酸は骨芽細胞前駆細胞と軟骨前駆細胞の分化を誘導し石灰化を促進する: 内橋隆行, 上松隆司, 高田匡基, 薄井陽平, 道上敏美, 山岡 稔, 古澤清文

第55回日本口腔外科学会 (千葉幕張メッセ) 2010  
シンバスタチンによるインプラント体周囲の骨形成作用: 李 憲起, 上松隆司, 古澤清文

第55回日本口腔外科学会 (千葉幕張メッセ) 2010  
口腔扁平上皮癌患者の頸部リンパ節転移の評価: 秋田大輔, 上松隆司, 田中三貴子, 高田匡基, 中澤高志, 丹羽 崇, 長谷川博雅, 古澤清文

第55回日本口腔外科学会 (千葉幕張メッセ) 2010  
CD82/KAI-1 発現癌細胞における DPP4 gene

familyの変動：丹羽 崇，上松隆司，高橋美穂，中澤高志，杉浦 剛，古澤清文

第55回日本口腔外科学会（千葉幕張メッセ）2010  
ポリリン酸の軟骨前駆細胞に対する作用：高田  
匡基，上松隆司，秋田大輔，古澤清文

第55回日本口腔外科学会（千葉幕張メッセ）2010  
培養自己骨髄間葉系細胞移植による上顎洞底挙上  
術を行った2症例：寺本祐二，上松隆司，丹羽 崇，  
高田匡基，丸川和也，中澤高志，秋田大輔，古澤清文

第69回日本癌学会学術総会（大阪）2010  
テトラスパニンは細胞遊走とDPPIV遺伝子ファミ  
リーの発現を制御する：丹羽 崇，上松隆司，高橋  
美穂，中澤高志，杉浦 剛，古澤清文

第48回日本癌治療学会学術集会（京都）2010  
頸部リンパ節に洞組織球症を伴った口腔・食道  
重複癌の1例：丹羽 崇，上松隆司，高田匡基，丸川  
和也，秋田大輔，近藤隆行，中澤高志，松尾浩一郎，  
武田龍太郎，前島信也，長谷川博雅，古澤清文

第53回日本口腔科学会中部地方部会（富山）2010  
顎骨再生を目的としたPlatelet Rich Plasma  
（PRP）療法の実験的検討：中澤高志，上松隆司，  
高橋美穂，丹羽 崇，吉成伸夫，古澤清文

第47回日本口腔組織培養学会（高知）2010  
ヒト培養自己骨髄間葉系細胞移植による顎骨再生  
療法：高橋美穂，上松隆司，寺本祐二，丹羽 崇，  
高田匡基，丸川和也，中澤高志，秋田大輔，吉成伸夫

第31回日本口腔インプラント学会 中部支部総  
会・学術大会（四日市）2010

多血小板血漿（PRP）を併用した培養骨髄間葉系  
細胞移植による骨再生療法の確立-PRP中のサイト  
カイン量と細胞増殖に対する作用の検討-：丹羽  
崇，上松隆司，高橋美穂，寺本祐二，中澤高志

第29回日本小児歯科学会中部地方会大会（富山県  
富山市）2010

中国人小児（広東省佛山市幼稚園児）の齲蝕に関  
わる環境要因の分析 -アンケート結果から-：楊  
静，李 憲起，陳 彦呈，水谷智宏，中山 聡，  
岩崎 浩，宮沢裕夫

平成22年度日本小児歯科学会秋季大会（福島県郡  
山市）2010

中国人小児（広東省佛山市幼稚園児）の歯科疾患  
調査：楊 静，李 憲起，陳 彦呈，水谷智宏，  
中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫

日本味と匂学会 2010年9月  
ウシガエル舌の茸状乳頭におけるサブスタンスP  
陽性線維：安藤 宏，田所 治，井上勝博，川原  
一郎，富田美穂子，浅沼直和，金銅英二

日本矯正歯科学会 2010年9月  
歯の移動に伴うCD34陽性血管系幹細胞の歯根セ  
メント質への分布変化：川原良美，山田一尋，川原  
一郎

歯科基礎医学会学術大会・総会 2010年9月

ウシガエル舌におけるニューロンの免疫組織化学  
的特徴：田所 治，安藤 宏，川原一郎，松浦幸子，  
富田美穂子，浅沼直和，宇都野創，金銅英二（歯基  
礎雑誌 52（Suppl）：163）

松本歯科大学学会 2010年11月  
カエル舌の茸状乳頭に分布する神経の免疫組織化  
学的研究：安藤 宏，田所 治，井上勝博，川原  
一郎，富田美穂子，浅沼直和，金銅英二

#### 日本学術振興会科学研究費による研究

李 憲起：口腔癌に対する腫瘍免疫療法の確立 -  
OK432重合腫瘍ワクチンによる抗腫瘍効果-（基盤  
研究C）

#### 2010年度推進研究費

李 憲起：シンバスタチンによるインプラント周  
囲骨形成作用。

#### そ の 他

上松隆司：学術投稿/睡眠時無呼吸症候群（Sleep  
Apnea Syndrome：SAS）：松歯 367：7-9，2010。

上松隆司：学術投稿/口腔癌：松歯 368：5-6，  
2010。

上松隆司：学術投稿/金属アレルギー：松歯 369：  
4-6，2010。

上松隆司：学術投稿/口腔乾燥症：松歯 370：5-  
7，2010。

上松隆司：学術投稿/抗血栓療法患者に対する歯科  
処置：松歯 371：5-7，2010。

上松隆司：学術投稿/歯科用小照射野エックス線  
CTの応用：松歯 372：5-7，2010。

上松隆司：学術投稿/PK/PD理論による抗菌薬の  
使い方：松歯 373：5-7，2010。

上松隆司：学術投稿/歯の移植：松歯 377：5-7，  
2010。

上松隆司：学術投稿/下顎埋伏智歯の抜去：松歯  
378：6-7，2010。

#### 顎口腔機能制御学部門 咀嚼機能解析学ユニット

#### 著 書

増田裕次（分担執筆）（2010）全国歯科衛生士教育  
協議会（監）最新 歯科衛生士教本 人体の構造と  
機能1 解剖学・組織発生学・生理学，218-226，医  
歯薬出版株式会社，東京。

増田裕次，井上富雄（分担執筆）（2010）日本顎口

腔機能学会(編)顎口腔機能の評価, 59-65, 八木印刷, 徳島.

### 論文発表

Ono T, Hori K, Masuda Y and Hayashi T (2010) Recent advances in sensing oropharyngeal swallowing function in Japan. *Sensors* **10**: 176-202.

Haque T, Yamamoto S, Masuda Y, Kato T, Sato F, Uchino K, Oka A, Nakamura M, Takeda R, Ono T, Kogo M and Yoshida A (2010) Thalamic afferent and efferent connectivity to cerebral cortical areas with direct projections to identified subgroups of trigeminal premotoneurons in the rat. *Brain Res* **1346**: 69-82.

Kanayama H, Masuda Y, Adachi T, Arai Y, Kato T and Morimoto T (2010) Temporal alteration of chewing jaw movements after a reversible bite-raising in guinea pigs. *Arch Oral Biol* **55**: 89-94.

Kato T, Masuda Y, Kanayama H, Nakamura N, Yoshida A and Morimoto T (2010) Heterogeneous activity level of jaw-closing and -opening muscles and its association with arousal levels during sleep in the guinea pig. *Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol* **298**: R 34-42.

大石めぐみ, 足立忠文, 安富和子, 中塚久美子, 山田一尋, 増田裕次 (2010) 永久前歯被蓋完成初期における多方位口唇閉鎖力(I) その特性と体格・体力との関連. *顎機能誌* **17**: 11-21.

### 学会発表

日本物理学会年次大会(第65回)2010年3月  
大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築II: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次

大学初年次物理系教育のためのe-Learningコンテンツの開発II: 鍵山茂徳, 田中忠芳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次

日本顎口腔機能学会学術大会(第44回)2010年4月  
皮質誘発性臼磨様顎運動の発生に対する皮質運動野の関与: 戸井尚子, 足立忠文, 石原磯子, 加藤隆史, 森本俊文, 増田裕次

松本歯科大学学会総会(第70回)2010年7月  
歯学部初年次数物系教養科目における授業改善の試み: 田中忠芳, 大島和成, 増田裕次

The 88th annual meeting of the International Association of Dental Research, 2010

Reliability of Novel Multidirectional Lip-closing Force Measurement System: Adachi T, Nakatsuka K, Kato T, Oishi M, Murakami M and Masuda Y

Effects of chewing and liquid viscosities on swallow initiation: Matsuo K, Kawase S, Wakimoto N, Iwatani K, Okada Y, Masuda Y and Ogasawara T

The Effects of Experimental Limitation to Jaw Movements on Occlusal Vertical Dimension: Kanayama H, Kato T, Adachi T, Yamada K, Masuda Y and Morimoto T

Rhythmic Masseter Twiches In REM Sleep Of The Guinea Pig: Kato T, Nakamura N, Masuda Y, Adachi T, Yoshida A and Morimoto T

日本リメディアル教育学会全国大会(第6回)2010年8月

大学初年次物理系教育のための講義・実験モジュールの構築とe-Learningコンテンツの開発II: 田中忠芳, 鍵山茂徳, 江尻有郷, 並木雅俊, 大島和成, 増田裕次

歯科基礎医学会学術大会(第52回)2010年9月  
モルモットにおける睡眠中の咬筋・顎二腹筋バーストの特性: 中村典正, 加藤隆史, 足立忠文, 山下秀一郎, 森本俊文, 増田裕次

日本咀嚼学会学術大会(第21回)2010年10月  
小学校の給食における咀嚼回数について-主食の違いによる検討-: 安富和子, 中塚久美子, 大石めぐみ, 増田裕次

日本矯正歯科学会(第69回)2010年9月  
上下口唇閉鎖力のバランスと側面顎顔面形態との関連性: 村上円郁, 中塚久美子, 金澤昌律, 水野瑠莉香, 増田裕次, 山田一尋

口唇閉鎖力と正面顎顔面形態の関連: 水野瑠莉香, 荒井 敦, 薄井陽平, 金澤昌律, 村上円郁, 中塚久美子, 増田裕次, 山田一尋

American Academy of Periodontology, 2010  
Properties of lip-closing force in healthy elderly-people: Kawai Y, Ishihara I, Masuda Y, Oishi M, Yamaguchi M, Nakatsuka K, Takamura T and Yoshinari N

Oral presentation at 20th Congress of International Association for Disability and Oral Health, 2010

Relationship between pre-swallow food entry to the hypopharynx and breathing pattern during eating: Matsuo K, Kawase S, Wakimoto N, Iwatani K, Okada Y, Masuda Y and Ogasawara T

三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会(第4回)2010年11月

モルモットにおける睡眠中の開閉口筋バースト活動の特性について: 中村典正, 加藤隆史, 足立忠文, 金山隼人, 森本俊文, 増田裕次

永久前歯被蓋完成初期における多方位口唇閉鎖力 -その口唇形態や前歯部被蓋との関連-: 大石めぐみ, 足立忠文, 中村典正, 金山隼人, 増田裕次



## その他の学術著作物

- 増田裕次 (2010) 脳のしくみから考える口腔機能  
第1回 脳の構造と機能. 歯科衛生士 **34**(10): 80-3.
- 増田裕次 (2010) 脳のしくみから考える口腔機能  
第2回 脳への感覚入力. 歯科衛生士 **34**(11): 62-5.
- 増田裕次 (2010) 脳のしくみから考える口腔機能  
第3回 脳による運動制御. 歯科衛生士 **34**(12): 60-3.

## 松本歯科大学推進研究費による研究

増田裕次, 足立忠文, 山田一尋, 今村泰弘, 金山隼人: 咬合高径の変化と咀嚼筋活動の関係

## 日本学術振興会科学研究費による研究

増田裕次, 吉田 篤: 大脳皮質による複合的な咀嚼運動制御に関わる皮質-皮質間連絡の解明 (基盤研究C)

顎口腔機能制御学部門  
生体調節制御学ユニット

## 論文発表

Okumura M and Kondo E (2010) The effect of Gabapentin on the expression of genes in the trigeminal ganglia of inferior alveolar nerve-transected neuropathic pain model rats. PAIN RESEARCH **25**: 171-8.

Okumura M, Iwata K, Yasuda K, Inoue K, Shinoda M, Honda K, Shibuta K, Yasuda M and Kondo E (2010) Alternation of Gene Expression in Trigeminal Ganglion Neurons Following Complete Freund's Adjuvant or Capsaicin Injection into the Rat Face. J Mol Neurosci **42**: 200-9.

時崎匡史, 奥村雅代, 大木絵美, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 宇都野 創, 田所 治, 金銅英二 (2010) 下歯槽神経切断モデルラットにおける三叉神経節非損傷神経の遺伝子発現動態解析-感覚異常発生との関連-. 松本歯学 **36**: 93-106.

安藤 宏, 田所 治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二 (2010) カエル舌の茸状乳頭におけるサブスタンスP免疫陽性神経線維(その起源と神経化学マーカー物質との共存関係). 日本味と匂学会誌 **17**: 243-6.

## 特別講演

- 富山嚙下研究会 特別講演 2010年7月  
口腔顔面領域の機能と構造 -基礎編-: 金銅英二  
富山嚙下研究会 特別講演 2010年11月  
口腔顔面領域の機能と構造 -実践編-: 金銅英二

## 学会発表

International Association for Study of Pain (IASP) 13th World Congress on Pain, Montreal, Canada, August, 2010

Gene expression in rat trigeminal ganglion neurons after inferior alveolar nerve injury: Okumura M and Kondo E

日本味と匂学会 (第44回) 2010年8月

カエル舌の茸状乳頭におけるサブスタンスP免疫陽性神経線維(その起源と神経化学マーカー物質との共存関係): 安藤 宏, 田所 治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二 (日本味と匂学会第44回大会 プログラム・予稿集 p67)

歯科基礎医学会学術大会・総会 (第52回) 2010年9月

ウシガエル舌におけるニューロンの免疫組織化学的特徴: 田所 治, 安藤 宏, 川原一郎, 松浦幸子, 富田美穂子, 浅沼直和, 宇都野 創, 金銅英二 (歯基礎雑誌 **52**(Suppl): 163)

第12回 ORIGIN 夏の神経科学ワークショップ (奈良) 2010年9月

下歯槽神経切断モデルラットの三叉神経節における遺伝子発現動態: 奥村雅代, 金銅英二

松本歯科大学学会 (第71回) 2010年11月

カエル舌の茸状乳頭に分布する神経の免疫組織化学的研究: 安藤 宏, 田所 治, 井上勝博, 川原一郎, 富田美穂子, 浅沼直和, 金銅英二 (松本歯学 **36**(3): 295-6)

松本歯科大学学会 (第71回) 2010年11月

拔牙を余儀なくされた非定型歯痛の一例: 金銅英二, 山下秀一郎, 丹羽 萌, 澁谷 徹, 前島信也, 窪田裕一 (松本歯学 **36**(3): 293-4)

## その他

松本歯科大学推進研究発表会 2010年8月

三叉神経節神経細胞の侵害刺激に伴うマイクロRNAの発現上昇の解析: 金銅英二, 奥村雅代, 澁谷 徹, 山田一尋

## 日本学術振興会科学研究補助金による研究

奥村雅代: 三叉神経系神経因性疼痛モデル群の発症と治療のメカニズムの解析 (若手研究B)

顎口腔機能制御学部門  
臨床機能評価学ユニット

## 論文発表

Nakatsuka Y, Yamashita S, Nimura H, Mizoue S, Tsuchiya S and Hashii K (2010) Location of main occluding areas and masticatory ability in patients with reduced occlusal support. *Austr Dent J* **55** : 45-50.

Muraoka R, Nakano K, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (2010) Immunohistochemical expression of heat shock proteins in the mouse periodontal tissues due to orthodontic mechanical stress. *Eur J Med Res* **15** : 475-82.

Matsuda H, Nakano K, Muraoka R, Tomoda M, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (2010) BMPs and related factors appearing in the mouse periodontal tissue due to orthodontic mechanical stress. *J Hard Tissue Biol* **19** : 153-60.

溝上真也, 山下秀一郎, 橋井公三郎, 中塚佑介 (2010) 咀嚼側の違いが下顎の咀嚼運動経路に及ぼす影響. *日補綴歯誌* **2** : 78-87.

三溝恒幸, 橋井公三郎, 山下秀一郎 (2010) 6自由度顎運動測定機のクラッチの改良とその精度について. *日口腔顔面技工誌* **10** : 16-20.

山下秀一郎, 中塚佑介, 谷川雄一, 吉田貴光 (2010) チタン製インプラントにおけるアバットメントスクリュー破折の1症例. *松本歯学* **36** : 16-22.

野々田 太, 内田啓一, 藤崎 昇, 土屋総一郎, 浅輪貴行, 上原大輔, 長谷川順一, 山下秀一郎 (2010) 歯科用デジタルエックス線撮影における背景の写りこみによるエラー像 -イメージングプレート取り扱い上の注意事項-. *松本歯学* **36** : 120-8.

山下秀一郎 (2010) 下顎臼歯部における咬合の再建にインプラントを用いた1症例. *日口腔インプラント誌* **23** : 757-8.

## 学会発表

日本補綴歯科学会学術大会 (第119回) 2010年6月  
プロセスモデルにおける Stage II transport と咀嚼回数との関係: 杉田乃亮, 松尾浩一郎, 山下秀一郎

International Association for Dental Research (88th General Session), July, 2010

Newly-designed gustatory test based on the progress of mastication : Kasahara T, Tomida M, Asanuma N and Yamashita S

Location of main occluding areas and masticatory ability : Nakatsuka Y, Tanigawa Y, Yamashita S, Hashii, K and Kasahara T

日本口腔インプラント学会学術大会 (第40回) 2010年9月

インプラントにおける作業模型製作法の違いによる3次元寸法精度の比較検討: 汲田 健, 三溝恒幸, 吉田貴光, 山下秀一郎

Bienial Conference of EAOM Incorporating the World Workshop on Oral Medicine (10th), September, 2010

Effects of oral function on pain perception : Nakamura T, Tomida M, Yamashita S, Otsuka T, Onozuka M, Ando H and Asanuma N

硬組織再生生物学会総会 (第19回) 2010年9月  
メカニカルストレスが引き起こすマウス歯根膜組織における HSP の発現変化: 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p48; *J Hard Tissue Biol* **19** : 210, 2010)

歯科基礎医学会学術大会 (第52回) 2010年9月  
モルモットにおける睡眠中の咬筋・顎二腹筋バーストの特性: 中村典正, 加藤隆史, 足立忠文, 山下秀一郎, 森本俊文, 増田裕次

日本矯正歯科学会大会 (第69回) 2010年10月  
歯科矯正力が惹起する HSP 27 のマウス歯根膜細胞における局在変化: 村岡理奈, 中野敬介, 松田浩和, 共田真紀, 岡藤範正, 栗原三郎, 山田一尋, 川上敏行 (プログラム・抄録集 p178)

松本歯科大学学会 (第71回) 2010年11月  
上顎前歯部インプラント埋入後に肉肉退縮を起こした1症例: 三木 学, 高橋美穂, 中塚佑介, 堂東亮輔, 植松賢治郎, 高橋弘太郎, 田口 明, 山下秀一郎, 植田章夫, 吉成伸夫

抜歯を余儀なくされた非定型歯痛の一例: 金銅英二, 山下秀一郎, 丹羽 萌, 澁谷 徹, 前島信也, 窪田裕一

Asian Science Seminar (6<sup>th</sup>), Taichung, Taiwan, November, 2010

Heat Shock Proteins (HSPs) appearing in orthodontic periodontal tissues : Muraoka R, Nakano K, Matsuda H, Okafuji N, Kurihara S, Yamada K and Kawakami T (Program & Abstract book p 17)

平成22年度日本補綴歯科学会東海支部学術大会  
睡眠時無呼吸患者の呼吸イベント後の覚醒応答に対する筋活動の発現様相について: 片瀬剛士, 加藤隆史, 谷口充孝, 杉田淑子, 山下秀一郎

MRI を用いた主機能部位の3次元的位置の測定: 加藤 潤, 山下秀一郎, 田口 明

日本顎顔面インプラント学会学術大会 (第14回) 2010年12月

再生不良性貧血患者のデンタルインプラントを除去した一例: 寺本祐二, 上松隆司, 丹羽 崇, 高田匡基, 丸川和也, 中澤高志, 秋田大輔, 山下秀一郎, 古澤清文, 植田章夫

## 松本歯科大学推進研究費による研究

山下秀一郎：プロセスモデルにおける Stage II transport と咀嚼回数との関係について

健康増進口腔科学部門

口腔健康分析学ユニット

## 論文発表

Miyashita M, Oishi S, kiso A, kikuchi U, Ueda O, Hirai K, Shibata Y and Fujimura S (2010) Hemoglobin binding activity and hemoglobin-binding protein of *Prevotella nigrescens*. Eur J Med Res 15 : 314-8.

Oishi S, Miyashita M, kiso A, kikuchi U, Ueda O, Hirai K, Shibata Y and Fujimura S (2010) Cellular locations of proteinases and association with vesicles in *Porphyromonas gingivalis*. Eur J Med Res 15 : 397-402.

Aoki H, Imamura Y, Ouryouji K, Miyazawa H and Wang PL (2010) Genetic polymorphism of the salivary mucin gene *MUC7* in severe caries in Japanese pediatric patients. Ped Dent J 20(2) : 152-7.

高田里絵, 室伏菜緒, 古川智代, 中川克美, 中嶋美由貴, 副島之彦, 岩崎 浩 (2010) 生後11か月の乳児の外傷歯に整復固定を試みた一例. 小児歯誌 48 : 454-9.

## 学会発表

日本細菌学会総会 (第83回) 2010年3月  
ポルフィロモナス・ジンジバリスの ECF シグマ因子 PG1318はミューテーター形質を示す: 菊池有一郎, 大原直也, 上田青海, 平井 要, 柴田幸永, 中山浩次, 藤村節夫 (日本細菌学雑誌 65 : 168, 2010)

黄色ブドウ球菌 V8 プロテアーゼによる A549細胞からの IL-8 の誘導: 平井 要, 菊池有一郎, 上田青海, 柴田幸永, 大久保裕一郎, 平岡行博, 加藤哲男, 石原和幸, 藤村節夫 (日本細菌学雑誌 65 : 194, 2010)

20th European Congress of Clinical Microbiology and Infectious Diseases, April, 2010

Locations of proteases in cellular fractions and association with vesicles in *Porphyromonas gingivalis* : Oishi S, Miyashita M, Kiso A, Kikuchi Y, Ueda O, Hirai K, Shibata Y and Fujimura S (抄録: CD-ROM)

日本小児歯科学会大会 (第48回) 2010年5月

中国人小児 (広東省佛山市幼稚園児) の歯科疾患調査: 楊 静, 李 憲起, 陳 彦呈, 水谷智宏, 中山 聡, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

中国山西省小児の齲蝕に関わる環境要因の分析-口腔内診査およびアンケート結果から-: 張 楠, 陳 彦呈, 水谷智宏, 押領司 謙, 楊 静, 李 憲起, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

生体吸収性材料を応用した乳歯用スクリーポストの基礎研究: 水谷智宏, 中山 聡, 高梨 登, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

乳歯列期重度齲蝕症における *MUC7* の遺伝子型解析: 青木伯永, 押領司 謙, 今村泰弘, 岩崎 浩, 宮沢裕夫, 王 宝禮

BMP 誘導性異所性骨形成に関する大理石骨病マウスを用いた解析: 中村美どり, 中村浩志, 宇田川信之, 宮沢裕夫 (小児歯科学雑誌 48 : 211, 2010)

松本歯科大学学会 (第70回) 2010年7月

黄色ブドウ球菌 V8 プロテアーゼの A549細胞への影響-IL-8 の誘導を中心として: 平井 要, 菊池有一郎, 上田青海, 柴田幸永, 木曾有紀子, 大石真太郎, 宮下みどり, 大久保裕一郎, 平岡行博, 加藤哲夫, 石原和幸, 藤村節夫

歯髄細胞の高い骨再生能力は, Annexin A8 ロングフォームを介して発揮される: 中道裕子, 萩原貴寛, 中村美どり, 今岡 朝代, 安孫子宜光, 中村浩志, 高橋直之, 宇田川信之

日本スポーツ歯科医学会学術大会 (第21回) 2010年7月

硬性材の挿入とスペースはマウスガードの衝撃吸収能を向上させるか (第3報) スペース量および面積の影響: 半田 潤, 黒川勝英, 小澤卓充, 額賀英之, 長谷川 賢, 関口千栄子, 正村正仁, 中島一憲, 武田友孝, 宮沢裕夫, 石上恵一

松本歯科大学推進研究報告会 2010年8月

歯髄細胞の有する石灰化機能のメカニズム解明: 中道裕子, 萩原貴寛, 中村美どり, 細矢明宏, 山田一尋, 宮沢裕夫, 宇田川信之

歯科基礎医学会 (第52回) 2010年9月

歯根膜におけるビタミン D レセプターの局在とビタミン D<sub>3</sub> の作用について: 陳 彦呈, 二宮 禎, 平賀 徹, 細矢明宏, 宮沢裕夫, 中村浩彰

Down 症候群歯周炎患者における *MBL* の遺伝子多型解析: 青木伯永, 今村泰弘, 岩崎 浩, 王 宝禮, 宮沢裕夫

黄色ブドウ球菌 V8 プロテアーゼ刺激による A549細胞の IL-8 産生: 平井 要, 菊池有一郎, 上田青海, 柴田幸永, 平岡行博, 加藤哲夫, 石原和幸, 藤村節夫 (Japan Assoc Oral Biol 52 : Suppl 183)

子ども学会議 (第7回) 2010年10月

乳幼児期における歯磨き時の口腔内外傷防止効果を付与した歯ブラシ: 水谷智宏, 中山 聡, 伊藤三智子, 岩崎 浩, 宮沢裕夫

歯ブラシに起因する口腔外傷についての調査：  
伊藤三智子，伊藤孝司，水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫

日本小児歯科学会近畿地方会（第29回）2010年10月

吸指癖を有する小児への習癖除去剤の効果：室伏菜緒，高田里絵，副島之彦，備紗央里，黒河奈緒美，藤崎由美，南出詩織，岩崎 浩

日本小児歯科学会中部地方会（第29回）2010年10月

中国人小児（広東省佛山市幼稚園児）の齲蝕に関わる環境要因の分析 -アンケート結果から-：楊静，李 憲起，陳 彦呈，水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫

バイターストップの使用感に関するアンケート結果：金澤真亨，木下友江，田中丈也，大東史奈，桑原康生，岩崎 浩，宮沢裕夫

日本小児歯科学会秋季大会（平成22年度）2010年12月

骨格型の異なる日本人小児の顔面部軟組織厚に関する研究：大東史奈，宇都野 創，影山 徹，内田啓一，岩崎 浩，宮沢裕夫

Down症候群歯周炎患者とMBLとの関連：青木伯永，今村泰弘，岩崎 浩，王 宝禮，宮沢裕夫

中国人小児（広東省佛山市幼稚園児）の歯科疾患調査：楊 静，李 憲起，陳 彦呈，水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫

歯科大学病院小児歯科における口腔外傷患者の実態調査：溝畑亜紀子，犬塚勝昭，中村浩志，岩崎 浩，宮沢裕夫（日本小児歯科学会秋季大会）（小児歯科学雑誌 48：626，2010）

#### 日本学術振興会科学研究費補助金による研究

岩崎 浩，中山 聡，水谷智宏，宮沢裕夫：カンボジア国シェムリアップ州小児の歯科疾患調査と予防プログラム確立に向けて（基盤研究B）

宮沢裕夫，中村浩志，中村美どり，中道裕子，宇田川信之：歯髓細胞による硬組織再生機構の解明（基盤研究B）

中村美どり，宮沢裕夫，中村浩志，中道裕子，宇田川信之：歯髓・歯根膜細胞を用いた顎骨再生医療を目指した基礎研究（基盤研究C）

中村浩志，山下照仁，中村美どり，小出雅則，宇田川信之，宮沢裕夫：LPSシグナルを用いた口腔粘膜疾患モデルの開発（挑戦的萌芽研究）

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

宇田川信之，宮沢裕夫，山田一尋，細矢明宏，中道裕子，中村美どり：歯髓細胞の有する石灰化機構のメカニズム解明

#### 特許申請（HAN 10029）

水谷智宏，中山 聡，岩崎 浩，宮沢裕夫，竹下重雄：国際特許分類 A46B 9/04：2010年10月25日

健康増進口腔科学部門

口腔健康政策学ユニット

#### 著 書

柳沢 茂（分担執筆）（2010）新予防歯科学，第4版，293-9，医歯薬出版，東京。

#### 論文発表

Naruse K, Fukuda M, Hasegawa H, Yagami K and Udagawa N (2010) Advanced alveolar bone resorption treated with implants, guided bone regeneration, and synthetic grafting: a case report. *Implant Dent* 19: 460-7.

Kuboki Y, Yagami K, Iku S, Kaku T, Terada M, Kitagawa Y, Takita H, Li D, Kimura M and Sammons R (2010) Geometry of Extracellular Matrix: Optimal Tunnel Size for Bone Formation in Disk-form Honeycomb  $\beta$ -TCP. *Nano Biomedicine* 2: 107-13.

#### 学会発表

第64回日本口腔科学会 2010年6月25日

Active hexose correlated compoundは炎症性サイトカインによるNO産生を抑制し間葉系幹細胞の骨芽細胞への初期分化を維持する：八上公利，西澤幹雄，代田達夫，三浦健人，定岡 直，柳沢 茂，中村浩志（日本口腔科学会雑誌，第60巻1号：p113）

第28回日本骨代謝学会 2010年7月21日

AHCCは炎症性サイトカインによるNO産生を抑制し間葉系幹細胞の骨芽細胞への初期分化を維持する：八上公利，西澤幹雄，代田達夫，三浦健人，柳沢 茂（日本骨代謝学会プログラム集：218）

第21回甲信越北陸口腔保健研究会総会 2010年7月

ニコチン曝露によるストレスとクロモグラニンAの関連性について：定岡 直，笠原 香，八上公利，中根 卓，小口久雄，柳沢 茂（日本口腔衛生学会雑誌 61：79，2010）

第5回信州公衆衛生学会総会・学術総会 2010年8月

ニコチン曝露によるストレスとクロモグラニンAの関連性についての報告：定岡 直，笠原 香，八上公利，中根 卓，小口久雄，柳沢 茂（信州公衆衛

生学会雑誌 5:72-3, 2010)

第40回日本口腔インプラント学会 2010年9月18日

培養骨髄間葉系細胞をこる再生療法に適用するための基礎的研究:寺本祐二, 上松隆司, 丹羽 崇, 八上公利, 宇田川信之(日本口腔インプラント学会誌, 第23巻特別号:p287)

第59回日本口腔衛生学会・学術総会 2010年10月

ヒト歯根膜線維芽細胞組織傷害因子と Chromogranin A の関連性について:定岡 直, 笠原 香, 八上公利, 中根 卓, 柳沢 茂(日本口腔衛生学会雑誌 60:415, 2010)

アセチル化  $\alpha$ -グルカンは細菌性炎症による活性酸素産生を抑制し骨芽細胞の分化を促進する:八上公利, 定岡 直, 中根 卓, 笠原 香, 柳沢 茂(口腔衛生学会雑誌 60:4:p378, 2010)

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

柳沢 茂, 定岡 直, 笠原 香, 中根 卓, 小口久雄, 八上公利:ヒト歯根膜線維芽細胞傷害因子と Chromogranin A との関連性について

#### 松本歯科大学推進研究費による研究

八上公利, 中村浩志, 中村美どり, 寺本祐二, 定岡 直:幾何構造理論による骨誘導能と永続的維持能を持つチタニウム繊維体を用いたインプラント体の開発

#### 日本学術振興会科学研究費による研究

八上公利, 柳沢 茂, 中根 卓, 定岡 直:糖尿病骨粗鬆症合併症に対する新規骨再生療法の開発(基盤研究(C))